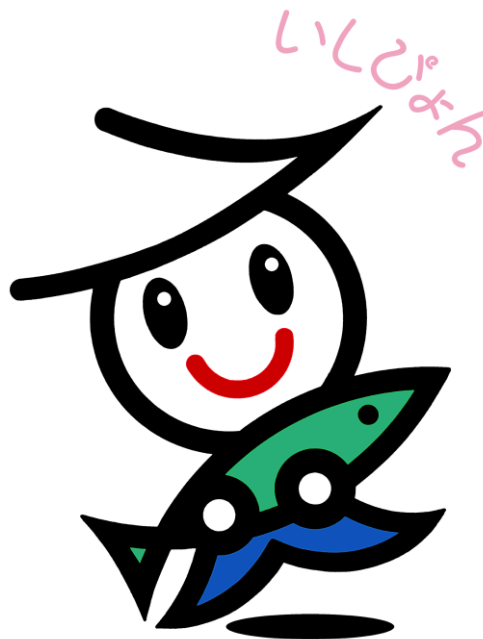


平成28年度

# 石巻市市民意識調査

## 集計結果報告書



食彩・感動 いしのみ

平成28年1月

石巻市

## 目 次

第1章	調査の概要	1
第2章	回答者の属性	2
第3章	単純集計結果	
1	東日本大震災に伴う復旧・復興事業について	7
2	男女共同参画について	9
3	子育て支援について	15
4	地域包括ケアについて	18
5	観光に関する意識について	22
6	広報事業について	24
第4章	結果の概要	
1	東日本大震災に伴う復旧・復興事業について	25
2	男女共同参画について	27
3	子育て支援について	38
4	地域包括ケアについて	43
5	観光に関する意識について	50
6	広報事業について	58
第5章	資料	
1	自由記述	59
2	アンケート調査票	71

# 第1章 調査の概要

## 1 調査の目的

市の施策の特定事項について、市民の関心、意向、要望等を調査し、意見を市政に反映させるための基礎資料を得ることを目的とする。

## 2 調査内容

### 【東日本大震災に伴う復旧・復興事業】

- (1) 東日本大震災に伴う復旧・復興事業について

### 【男女共同参画】

- (1) 男女共同参画について

### 【子育て支援】

- (1) 子育て支援事業について
- (2) ファミリーサポート事業について
- (3) 子育てタウンについて
- (4) 子育て支援について

### 【地域包括ケア】

- (1) 地域医療（かかりつけ医）について
- (2) 終末期（人生の最期の迎え方）について
- (3) 認知症について

### 【観光に関する意識】

- (1) 観光に関する意識について

### 【広報事業】

- (1) 「市報いしのまき」について

## 3 調査方法

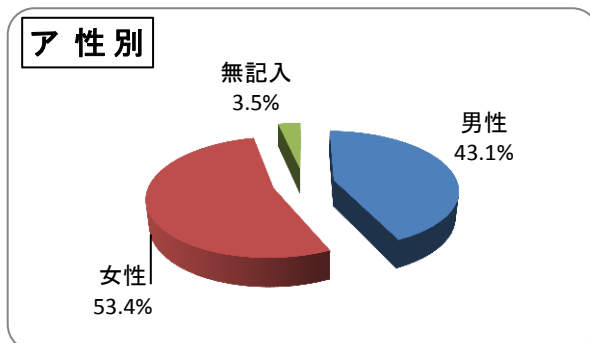
- (1) 調査対象者 市内に居住する無作為抽出した満18歳以上の男女2,700人
- (2) 標本数 2,700人
- (3) 抽出方法 平成28年8月31日現在の住民基本台帳から各地区、年齢及び男女別の人口比率に基づき無作為抽出
- (4) 調査方法 郵送による配布・回収
- (5) 調査期間 平成28年9月15日～10月7日

## 4 回収結果

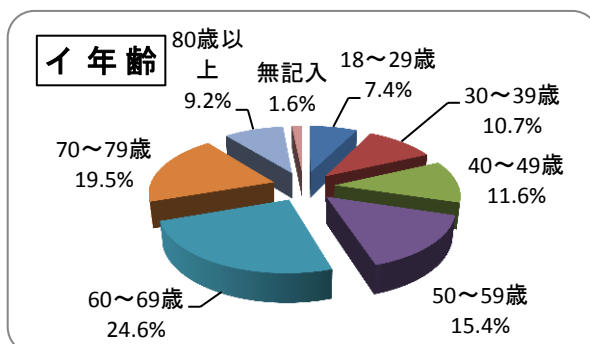
- (1) 配布数 2,700件
- (2) 回収数 1,029件（回収率38.1%）

## 第2章 回答者の属性

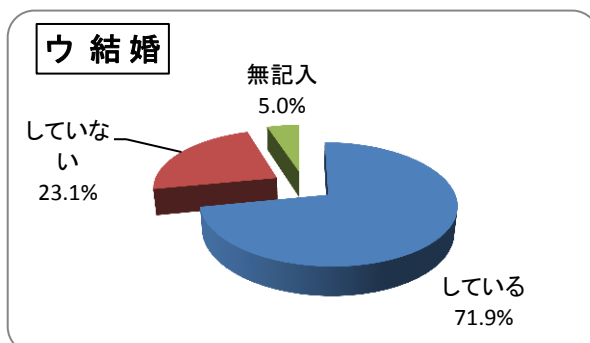
<b>ア 性別</b>		
男性	444名	43.1%
女性	549名	53.4%
無記入	36名	3.5%



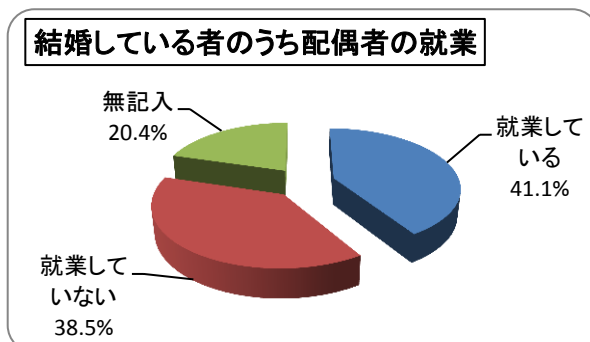
<b>イ 年齢</b>		
18～29歳	76名	7.4%
30～39歳	110名	10.7%
40～49歳	119名	11.6%
50～59歳	158名	15.4%
60～69歳	253名	24.6%
70～79歳	201名	19.5%
80歳以上	95名	9.2%
無記入	17名	1.6%



<b>ウ 結婚</b>		
している	740名	71.9%
していない	238名	23.1%
無記入	51名	5.0%

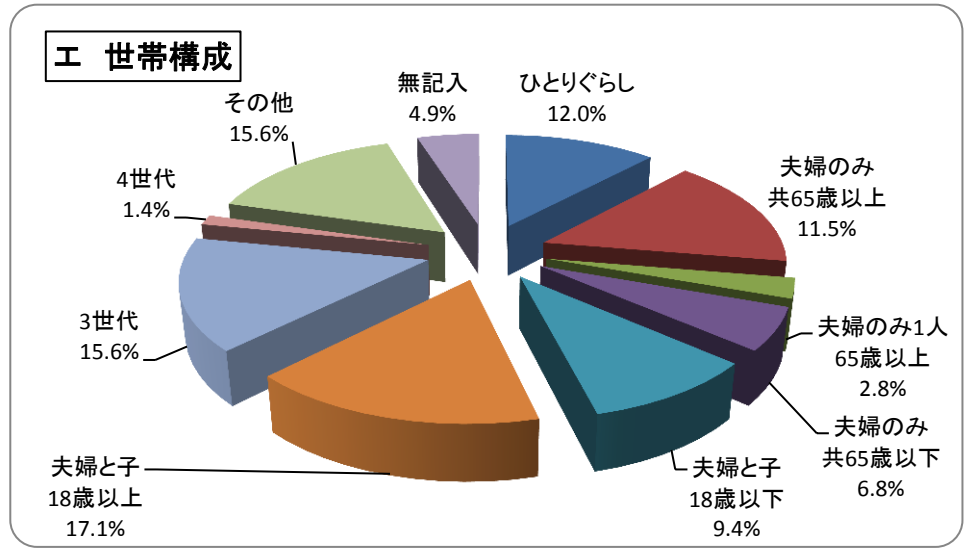


<b>結婚している者のうち配偶者は</b>		
就業している	304名	41.1%
就業していない	285名	38.5%
無記入	151名	20.4%



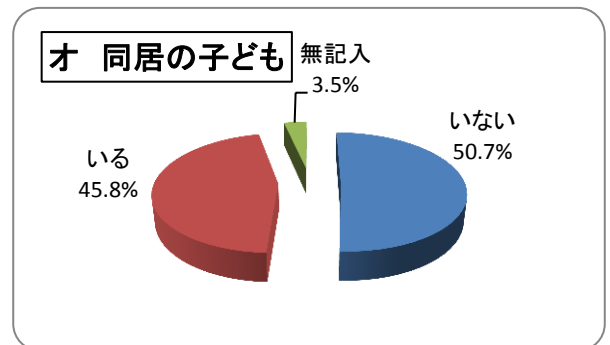
**エ 世帯構成**

ひとり暮らし	123名	12.0%
夫婦のみ共65歳以上	161名	15.6%
夫婦のみ1人65歳以上	29名	2.8%
夫婦のみ共65歳以下	61名	5.9%
夫婦と子18歳以下	101名	9.8%
夫婦と子18歳以上	169名	16.4%
3世代	160名	15.6%
4世代	14名	1.4%
その他	161名	15.6%
無記入	50名	4.9%



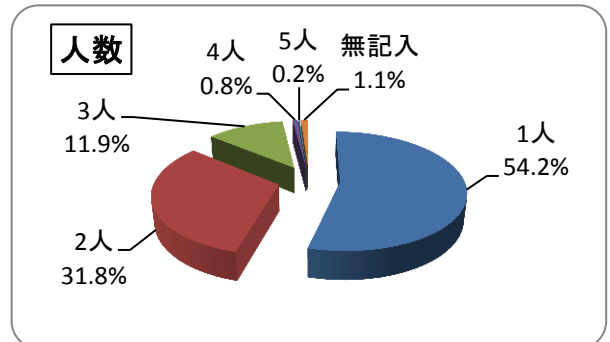
**オ 同居の子ども**

いない	522名	50.7%
いる	471名	45.8%
無記入	36名	3.5%



**人数**

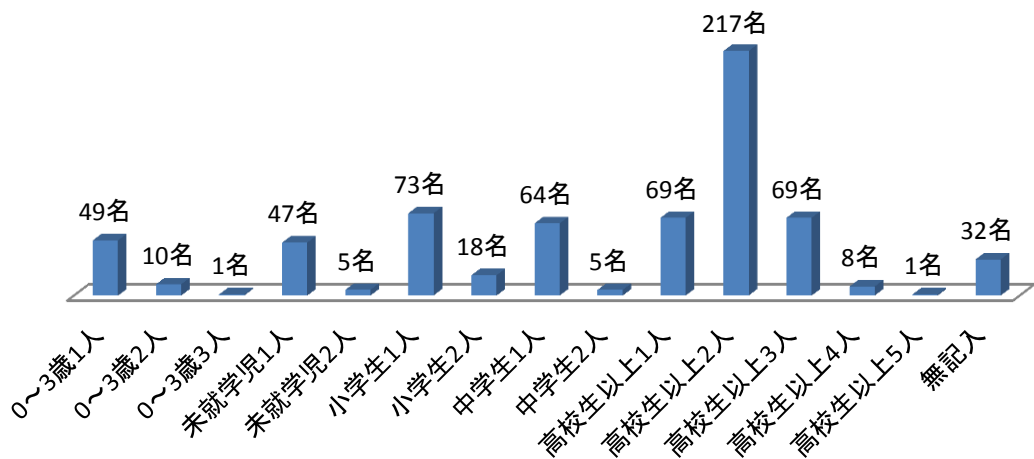
1人	255名	54.1%
2人	150名	31.8%
3人	56名	11.9%
4人	4名	0.8%
5人	1名	0.2%
無記入	5名	1.1%



年齢別人数(同居の子ども)

0～3歳1人	49名
0～3歳2人	10名
0～3歳3人	1名
未就学児1人	47名
未就学児2人	5名
小学生1人	73名
小学生2人	18名
中学生1人	64名
中学生2人	5名
高校生以上1人	69名
高校生以上2人	217名
高校生以上3人	69名
高校生以上4人	8名
高校生以上5人	1名
無記入	32名

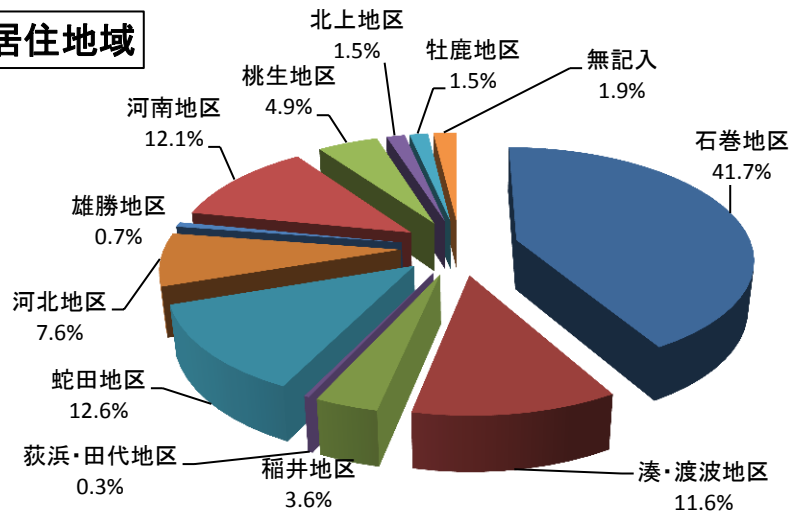
同居の子どもの年齢別人数



### 力 居住地域

石巻地区	429 名	41.7%
湊・渡波地区	119 名	11.6%
稲井地区	37 名	3.6%
荻浜・田代地区	3 名	0.3%
蛇田地区	130 名	12.6%
河北地区	78 名	7.6%
雄勝地区	7 名	0.7%
河南地区	125 名	12.1%
桃生地区	51 名	4.9%
北上地区	15 名	1.5%
牡鹿地区	15 名	1.5%
無記入	20 名	1.9%

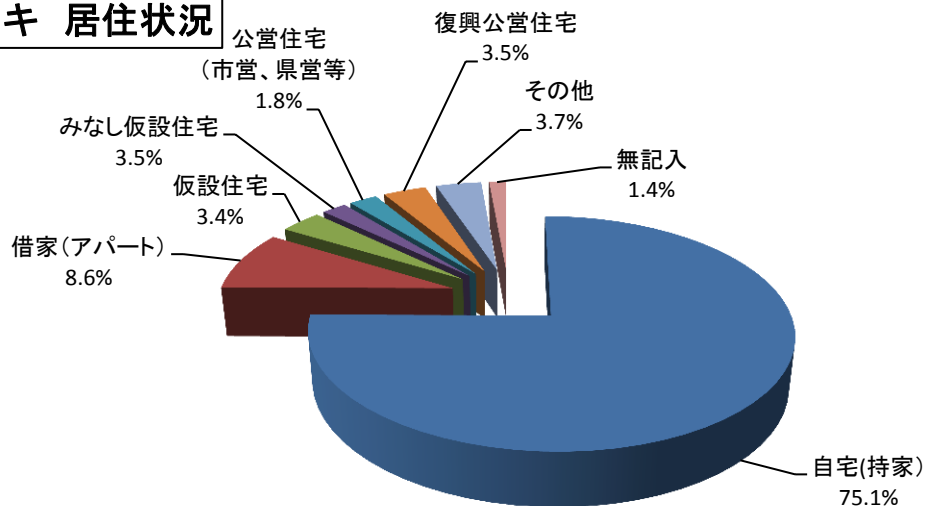
#### 力 居住地域



### キ 居住状況

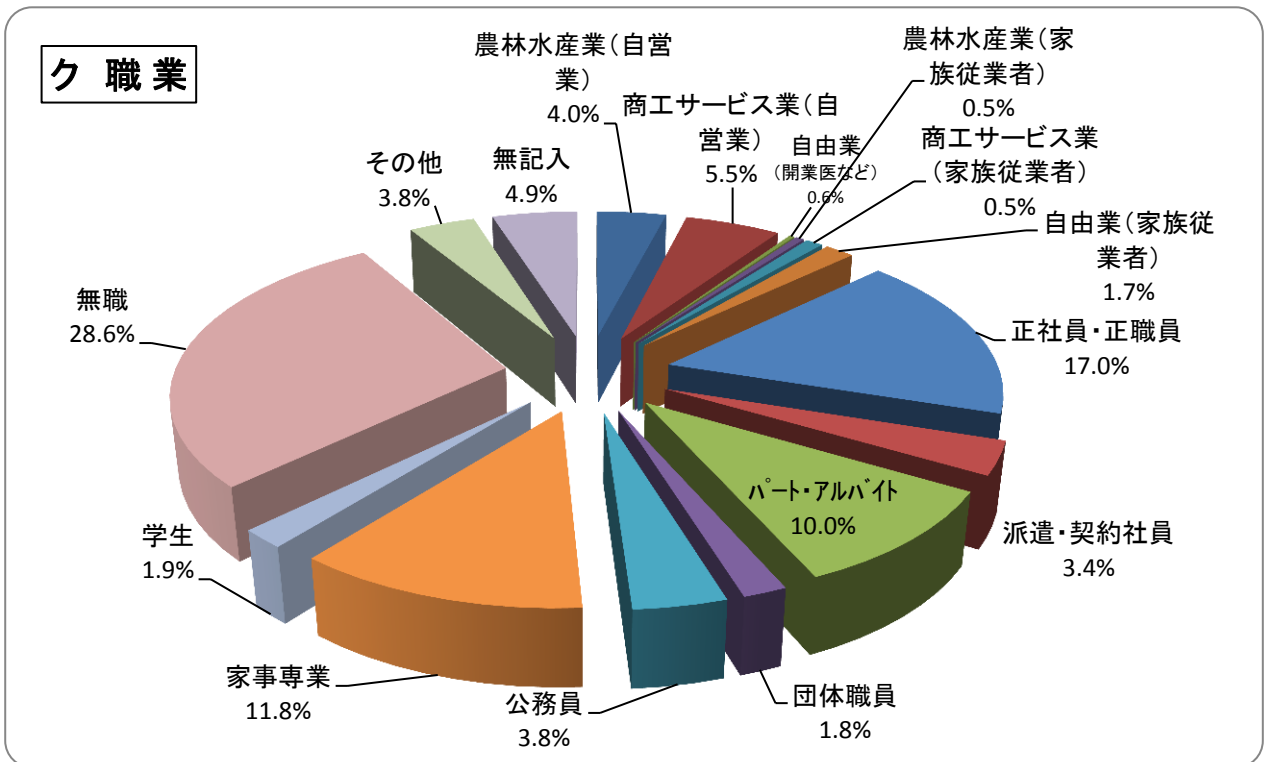
自宅(持家)	773 名	75.1%
借家(アパート)	88 名	8.6%
仮設住宅	35 名	3.4%
みなし仮設住宅	21 名	2.0%
公営住宅(市営、県営等)	24 名	2.3%
復興公営住宅	36 名	3.5%
その他	38 名	3.7%
無記入	14 名	1.4%

#### キ 居住状況



ク 職業

農林水産業（自営業）	41 名	4.0%
商工サービス業（自営業）	57 名	5.5%
自由業（開業医など）	3 名	0.3%
農林水産業（家族従業者）	5 名	0.5%
商工サービス業（家族従業者）	10 名	1.0%
自由業（家族従業者）	18 名	1.7%
正社員・正職員	175 名	17.0%
派遣・契約社員	35 名	3.4%
パート・アルバイト	103 名	10.0%
団体職員	19 名	1.8%
公務員	39 名	3.8%
家事専業	121 名	11.8%
学生	20 名	1.9%
無職	294 名	28.6%
その他	39 名	3.8%
無記入	50 名	4.9%





### 第3章 単純集計結果

※構成比は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計が100にならない場合があります。

## 1 東日本大震災に伴う復旧・復興事業について

問1 石巻市の復旧・復興が進んでいると感じていますか。1つ選んでください。

No.	項目	回答数	構成比
1	はい	536名	52.1%
2	いいえ	475名	46.2%
	無記入	18名	1.7%

問2 問1で「はい」と答えた方に質問します。  
進んでいると感じている主な事業は何ですか。当てはまるものを全て選んでください。

No.	項目	回答数	構成比
1	住宅再建	437名	81.5%
2	堤防、道路等の基盤整備	237名	44.2%
3	学校、保育所等の施設整備	91名	17.0%
4	医療体制の再構築	259名	48.3%
5	総合支所、公民館等の施設整備	38名	7.1%
6	交流や憩いの場となる公園整備	54名	10.1%
7	産業の再生・雇用の創出	61名	11.4%
8	地域コミュニティの再構築	39名	7.3%
9	公共交通機関の整備	142名	26.5%
10	その他	10名	1.9%
	無記入	3名	0.6%

問3 問1で「いいえ」と答えた方に質問します。  
遅れていると感じている主な事業は何ですか。当てはまるものを全て選んでください。

No.	項目	回答数	構成比
1	住宅再建	248名	52.2%
2	堤防、道路等の基盤整備	316名	66.5%
3	学校、保育所等の施設整備	91名	19.2%
4	医療体制の再構築	81名	17.1%
5	総合支所、公民館等の施設整備	65名	13.7%
6	交流や憩いの場となる公園整備	134名	28.2%
7	産業の再生・雇用の創出	175名	36.8%
8	地域コミュニティの再構築	84名	17.7%
9	公共交通機関の整備	104名	21.9%
10	その他	40名	8.4%
	無記入	9名	1.9%

問4 石巻市の将来の再生・発展のために望むまちづくりについてお聞かせください。  
特に重要と思うものを5つ選んでください。

No.	項 目	回答数	構成比
1	計画された道路網の整備	483 名	46.9%
2	魅力的な集客力のある中心部商店街の再生	349 名	33.9%
3	子どもから大人まで楽しめる多目的広場	282 名	27.4%
4	こころ安らぐ憩いの公園・緑地	245 名	23.8%
5	身近な医療施設	373 名	36.2%
6	高齢者にも優しいバリアフリー化	172 名	16.7%
7	安全で安心できる防災体制	439 名	42.7%
8	充実した教育の場と文化施設	243 名	23.6%
9	市内で多くの方が働く場の創出	461 名	44.8%
10	市内を循環する乗り降りしやすく、環境にやさしい公共交通機関	296 名	28.8%
11	太陽光発電や風力発電、バイオマスなどの自然エネルギーの活用	138 名	13.4%
12	互いに助け合う地域コミュニティの形成	167 名	16.2%
13	介護・医療が優先整備された医療・福祉モデル地区	448 名	43.5%
14	電力需要を調整する次世代送電網の導入など先駆的なまちづくり	56 名	5.4%
15	歴史や文化を有する美しい景観の再生	112 名	10.9%
16	中瀬などウォーターフロント周辺への新たな観光・集客施設の整備	124 名	12.1%
17	北上運河や松林など美しい景観の再生	125 名	12.1%
18	その他	52 名	5.1%
	無記入	67 名	6.5%

## 2 男女共同参画について

問5 あなたは、「男女共同参画社会」という言葉を知っていますか。(○は1つ)

No.	項目	回答数	構成比
1	内容も知っている	253名	24.6%
2	言葉は聞いたことがある	499名	48.5%
3	全く知らない	256名	24.9%
	無記入	21名	2.0%

問6 「男は外で働き、女は家庭を守るべき」という考え方についてどう思いますか。(○は1つ)

No.	項目	回答数	構成比
1	賛成	75名	7.3%
2	どちらかと言えば賛成	263名	25.6%
3	どちらかと言えば反対	311名	30.2%
4	反対	174名	16.9%
5	わからない	178名	17.3%
	無記入	28名	2.7%

問7 あなたの1日の家事(介護・看護・育児含む)時間はどのくらいですか。(○は1つ)

No.	項目	回答数	構成比
1	30分未満	229名	22.2%
2	30分～1時間未満	150名	14.6%
3	1時間～2時間未満	168名	16.3%
4	2時間～3時間未満	147名	14.3%
5	3時間～4時間未満	102名	9.9%
6	4時間以上	150名	14.6%
	無記入	83名	8.1%

問8 家庭での育児や家事は、誰の役割とご思いますか。(○は1つ)

No.	項目	回答数	構成比
1	妻の役割	58名	5.6%
2	基本的には妻の役割であり、夫はそれを手伝う程度	401名	39.0%
3	夫も妻も同様に行う	281名	27.3%
4	基本的には夫の役割であり、妻はそれを手伝う程度	1名	0.1%
5	夫の役割	1名	0.1%
6	どちらか、できる方がすればいい	218名	21.2%
7	わからない	26名	2.5%
8	その他	15名	1.5%
	無記入	28名	2.7%

問9 あなたは、男女の地位について、どちらが優遇されていると思いますか。ア～カのそれぞれについてお答えください。(それぞれ○は1つ)

ア 家庭生活では

No.	項目	回答数	構成比
1	男性	130名	12.6%
2	どちらかと言えば男性	276名	26.8%
3	平等	311名	30.2%
4	どちらかと言えば女性	148名	14.4%
5	女性	64名	6.2%
6	わからない	55名	5.4%
	無記入	45名	4.4%

イ 職場では

No.	項 目	回答数	構成比
1	男性	242 名	23.5%
2	どちらかと言えば男性	360 名	35.0%
3	平等	245 名	23.8%
4	どちらかと言えば女性	28 名	2.7%
5	女性	14 名	1.4%
6	わからない	69 名	6.7%
	無記入	71 名	6.9%

ウ 学校教育の場では

No.	項 目	回答数	構成比
1	男性	41 名	4.0%
2	どちらかと言えば男性	139 名	13.5%
3	平等	600 名	58.3%
4	どちらかと言えば女性	43 名	4.2%
5	女性	7 名	0.7%
6	わからない	121 名	11.7%
	無記入	78 名	7.6%

エ 町内会・地域では

No.	項 目	回答数	構成比
1	男性	121 名	11.8%
2	どちらかと言えば男性	324 名	31.5%
3	平等	379 名	36.8%
4	どちらかと言えば女性	39 名	3.8%
5	女性	9 名	0.9%
6	わからない	91 名	8.8%
	無記入	66 名	6.4%

オ 政治の場では

No.	項 目	回答数	構成比
1	男性	268 名	26.1%
2	どちらかと言えば男性	386 名	37.5%
3	平等	234 名	22.7%
4	どちらかと言えば女性	5 名	0.5%
5	女性	5 名	0.5%
6	わからない	68 名	6.6%
	無記入	63 名	6.1%

カ 社会全体では

No.	項 目	回答数	構成比
1	男性	186 名	18.1%
2	どちらかと言えば男性	436 名	42.4%
3	平等	242 名	23.5%
4	どちらかと言えば女性	22 名	2.1%
5	女性	4 名	0.4%
6	わからない	78 名	7.6%
	無記入	61 名	5.9%

問10 女性が働くことについて、あなたはどうかお考えですか。(○は1つ)

No.	項目	回答数	構成比
1	子どもができて、ずっと働き続ける方がよい	278名	27.0%
2	子どもができたなら仕事をやめ、育児が一段落したら再び働く方がよい	524名	50.9%
3	子どもができたなら仕事をやめ、家事・育児に専念する方がよい	54名	5.3%
4	結婚を機会に仕事をやめ、家事・育児に専念する方がよい	17名	1.7%
5	女性は働かない方がよい	8名	0.8%
6	わからない	61名	5.9%
7	その他	67名	6.5%
	無記入	20名	1.9%

問11 あなたは、女性が出産後も離職せずに同じ職場で働き続けるために、家庭・社会・職場において必要なことは何だと思えますか。(特に当てはまると思うものを3つまで○)

No.	項目	回答数	構成比
1	保育所や学童クラブなど、子どもを預けられる環境の整備	737名	71.6%
2	家事、育児、介護支援サービス等の充実	253名	24.6%
3	男性の家事参加への理解・意識改革	281名	27.3%
4	女性が働き続けることへの周囲の理解	357名	34.7%
5	女性が働き続けることへの女性自身の意識改革	79名	7.7%
6	男女双方の長時間労働の改善を含めた働き方の改善	208名	20.2%
7	職場における育児・介護との両立支援制度の充実	401名	39.0%
8	短期間勤務制度や在宅勤務制度などの導入	160名	15.5%
9	育児や介護による仕事への制約を理由とした昇進などへの不利益な取扱いの禁止	144名	14.0%
10	特になし	23名	2.2%
11	わからない	43名	4.2%
12	その他	18名	1.7%
	無記入	32名	3.1%

問12 政治や企業などにおいて、政策や方針を決定する立場や指導的地位に女性が少ないという状況があります。あなたは、その理由は何だと思えますか。(特に当てはまると思うものを3つまで○)

No.	項目	回答数	構成比
1	男性優位の組織運営になっているため	733名	71.2%
2	家族の支援や協力が得られないため	379名	36.8%
3	女性の積極性が十分でないため(男性の方が積極性があるため)	282名	27.4%
4	女性の人材育成や能力を向上させる機会が不十分なため	484名	47.0%
5	女性のロールモデル(働き方や生き方の見本となる存在)が少ないため	327名	31.8%
6	わからない	104名	10.1%
7	その他	35名	3.4%
	無記入	30名	2.9%

問13 あなたは今後、男性が家事・子育て・介護・地域活動などに積極的に参画していくためには、どのようなことが特に必要だと思えますか。(特に当てはまると思うものを3つまで○)

No.	項目	回答数	構成比
1	男性が家事などに参加することについて、男性自身の抵抗感をなくすこと	642名	62.4%
2	男性が家事などに参加することについて、女性の抵抗感をなくすこと	165名	16.0%
3	労働時間短縮や休暇制度の充実を進めること	522名	50.7%
4	男性が家事などの技能を高められるよう、講習会や情報提供を行うこと	216名	21.0%
5	仕事と生活の両立等の問題について、男性が相談しやすい窓口を設けること	202名	19.6%
6	家事などを男女で分担するような、しつけや育て方をすること	457名	44.4%
7	特に必要なことはない	51名	5.0%
8	わからない	53名	5.2%
9	その他	36名	3.5%
	無記入	35名	3.4%

問14 あなたは、DV（配偶者等からの暴力）の内容について正しく理解していますか。  
（○は1つ）

No.	項 目	回答数	構成比
1	内容について、5種類ともすべて理解している	375名	36.5%
2	内容について、一部は理解している	501名	48.7%
3	言葉は聞いたことがあるが、内容はわからない	93名	9.0%
4	全く知らない	25名	2.4%
	無記入	35名	3.4%

問15 あなたは、セクシャル・ハラスメントまたはDV（配偶者等からの暴力）被害にあった時の相談窓口（ア～カ）を知っていますか。ア～カのそれぞれについてお答えください。（それぞれ○は1つ）

ア 石巻警察署

No.	項 目	回答数	構成比
1	名称も支援内容も知っている	336名	32.6%
2	名称は聞いたことがある	401名	39.0%
3	全く知らない	193名	18.8%
	無記入	99名	9.6%

イ 石巻市市民相談センター

No.	項 目	回答数	構成比
1	名称も支援内容も知っている	149名	14.5%
2	名称は聞いたことがある	401名	39.0%
3	全く知らない	351名	34.1%
	無記入	128名	12.4%

ウ 石巻市虐待防止センター

No.	項 目	回答数	構成比
1	名称も支援内容も知っている	91名	8.8%
2	名称は聞いたことがある	265名	25.8%
3	全く知らない	546名	53.1%
	無記入	127名	12.3%

エ 宮城県東部保健福祉事務所

No.	項 目	回答数	構成比
1	名称も支援内容も知っている	74名	7.2%
2	名称は聞いたことがある	258名	25.1%
3	全く知らない	556名	54.0%
	無記入	141名	13.7%

オ 宮城県女性相談センター

No.	項 目	回答数	構成比
1	名称も支援内容も知っている	51名	5.0%
2	名称は聞いたことがある	254名	24.7%
3	全く知らない	590名	57.3%
	無記入	134名	13.0%

カ みやぎ男女共同参画相談室

No.	項 目	回答数	構成比
1	名称も支援内容も知っている	28名	2.7%
2	名称は聞いたことがある	211名	20.5%
3	全く知らない	651名	63.3%
	無記入	139名	13.5%

問16 東日本大震災時、男女のニーズの違いを踏まえた対策が十分に行われなかったという問題がありました。今後の災害に備えて、「性別による違い」に配慮した取り組みはどの程度必要だと思いますか。ア～キのそれぞれについてお答えください。（それぞれ○は1つ）

ア 防災計画の策定の場に男女がともに参画する

No.	項目	回答数	構成比
1	とても必要だと思う	603名	58.6%
2	どちらかと言えば必要だと思う	294名	28.6%
3	どちらかと言えば必要ないと思う	17名	1.6%
4	全く必要ないと思う	4名	0.4%
5	わからない	45名	4.4%
	無記入	66名	6.4%

イ 町内会や地域の自主防災組織の女性リーダーを増やす

No.	項目	回答数	構成比
1	とても必要だと思う	250名	24.3%
2	どちらかと言えば必要だと思う	513名	49.8%
3	どちらかと言えば必要ないと思う	82名	8.0%
4	全く必要ないと思う	15名	1.5%
5	わからない	81名	7.9%
	無記入	88名	8.5%

ウ 避難所の運営マニュアルに男女双方の視点を反映させる

No.	項目	回答数	構成比
1	とても必要だと思う	573名	55.7%
2	どちらかと言えば必要だと思う	296名	28.8%
3	どちらかと言えば必要ないと思う	24名	2.3%
4	全く必要ないと思う	1名	0.1%
5	わからない	49名	4.8%
	無記入	86名	8.3%

エ 避難所運営の責任者に男女がともに加わる

No.	項目	回答数	構成比
1	とても必要だと思う	526名	51.1%
2	どちらかと言えば必要だと思う	330名	32.1%
3	どちらかと言えば必要ないと思う	32名	3.1%
4	全く必要ないと思う	9名	0.9%
5	わからない	52名	5.0%
	無記入	80名	7.8%

オ 男女のニーズの違いに応じた相談や情報提供を行う

No.	項目	回答数	構成比
1	とても必要だと思う	493名	47.9%
2	どちらかと言えば必要だと思う	362名	35.2%
3	どちらかと言えば必要ないと思う	29名	2.8%
4	全く必要ないと思う	5名	0.5%
5	わからない	47名	4.6%
	無記入	93名	9.0%

カ 男女の違いに配慮した救援医療や健康支援を行う

No.	項目	回答数	構成比
1	とても必要だと思う	574名	55.8%
2	どちらかと言えば必要だと思う	298名	29.0%
3	どちらかと言えば必要ないと思う	31名	3.0%
4	全く必要ないと思う	3名	0.3%
5	わからない	38名	3.7%
	無記入	85名	8.2%

キ 復興まちづくりの内容などを決める場に男女がともに参画する

No.	項 目	回答数	構成比
1	とても必要だと思う	511 名	49.7%
2	どちらかと言えば必要だと思う	352 名	34.2%
3	どちらかと言えば必要ないと思う	26 名	2.5%
4	全く必要ないと思う	5 名	0.5%
5	わからない	48 名	4.7%
	無記入	87 名	8.4%

問17 男女共同参画社会(※)を実現するために、今後、石巻市はどのようなことに特に力を入れていくべきだと思いますか。(特に必要だと思うものを3つまで○)

No.	項 目	回答数	構成比
1	企業や団体等において、政策や意思決定の場への女性の登用を促進する	393 名	38.2%
2	労働時間の短縮や保育・介護サービスなど、男女ともに働きやすい環境を整える	646 名	62.8%
3	子育てや介護などで一度仕事を辞めた人への再就職を支援する	533 名	51.8%
4	ひとり親家庭の就業や生活自立に向けた支援を充実する	270 名	26.2%
5	男性の家事・育児・介護への参加を促進する	212 名	20.6%
6	DV・セクハラなど性暴力防止のための取り組みを被害者支援を行う	86 名	8.4%
7	男女の身体的な違いに配慮し、生涯を通じた健康支援を行う	170 名	16.5%
8	男女共同参画の視点からの震災復興・防災対策を推進する	177 名	17.2%
9	特にない	27 名	2.6%
10	わからない	52 名	5.1%
11	その他	16 名	1.6%
	無記入	46 名	4.5%



### 3 子育て支援について

問18 現在、子育てに関わる機会や、地域等で子どもに関わる機会がありますか。

No.	項目	回答数	構成比
1	はい	306名	29.7%
2	いいえ	679名	66.0%
	無記入	44名	4.3%

問19 次の子育て支援事業を知っていますか。当てはまるものを全て選んでください。

No.	項目	回答数	構成比
1	子育て支援センター（地域子育て支援拠点事業）	512名	49.8%
2	ファミリーサポート事業	102名	9.9%
3	子どもセンター（らいつ）	187名	18.2%
4	子育てタウン（子育てに関する行政サービス情報ガイド）	51名	5.0%
5	高等職業訓練促進給付金事業	98名	9.5%
6	自立支援教育訓練給付金事業	95名	9.2%
7	父子手帳配布事業	173名	16.8%
8	その他	7名	0.7%
	無記入	389名	37.8%

●ファミリーサポート事業についてお聞きします。

問20 ファミリーサポート事業をどこで知りましたか。当てはまるものを全て選んでください。

No.	項目	回答数	構成比
1	市の広報やホームページを見て	74名	72.5%
2	ファミリーサポートセンター発行の通信、パンフレットを見て	16名	15.7%
3	友人、知人からの紹介	8名	7.8%
4	その他	10名	9.8%
	無記入	4名	3.9%

問21 ファミリーサポート事業は協力会員（預かる人）と利用会員（預けたい人）の相互援助の事業ですが、どちらかの会員として事業を利用したことがありますか。

協力会員

No.	項目	回答数	構成比
1	はい	5名	4.9%
2	いいえ	93名	91.2%
	無記入	4名	3.9%

利用会員

No.	項目	回答数	構成比
1	はい	3名	2.9%
2	いいえ	89名	87.3%
	無記入	10名	9.8%

問22 ファミリーサポート事業の協力会員・利用会員になりたいと思いますか。

協力会員

No.	項目	回答数	構成比
1	はい	17名	16.7%
2	いいえ	75名	73.5%
	無記入	10名	9.8%

利用会員

No.	項目	回答数	構成比
1	はい	14名	13.7%
2	いいえ	71名	69.6%
	無記入	17名	16.7%

問23 ファミリーサポート事業をどのような時に利用できるとよいと思いますか。  
当てはまるものを全て選んでください。

No.	項 目	回答数	構成比
1	保育施設の保育開始前や保育終了後の子どもの預かり	51 名	50.0%
2	保育施設等までの送迎	29 名	28.4%
3	放課後児童クラブ終了後の子どもの預かり	36 名	35.3%
4	学校の放課後の子どもの預かり	49 名	48.0%
5	買い物等外出の際の子どもの預かり	18 名	17.6%
6	保護者の病気、急用等の場合	70 名	68.6%
7	学校、幼稚園、保育所の休みのときの預かり	51 名	50.0%
8	その他	5 名	4.9%
	無記入	8 名	7.8%

●子育てタウン（子育てに関する行政サービス情報ガイド）についてお聞きします。

問24 子育てタウンの情報を利用したことはありますか。

No.	項 目	回答数	構成比
1	はい	14 名	27.4%
2	いいえ	26 名	51.0%
	無記入	11 名	21.6%

問25 問24で「2、いいえ」と回答した方にお聞きします。  
それはなぜですか。当てはまるものを全て選んでください。

No.	項 目	回答数	構成比
1	ほしい情報がなかった	10 名	38.5%
2	情報が探しにくい	4 名	15.4%
3	より詳しい情報がほしい	5 名	19.2%
4	その他	8 名	30.8%
	無記入	2 名	7.7%

●子育て支援についてお聞きします。

問26 子育てに関する情報は何かから入手しますか。当てはまるものを全て選んでください。

No.	項 目	回答数	構成比
1	市報	581 名	56.5%
2	市のホームページ	95 名	9.2%
3	子育てに関する本	95 名	9.2%
4	インターネット	195 名	19.0%
5	家族や友達に聞く	366 名	35.6%
6	その他	28 名	2.7%
	無記入	251 名	24.4%

問27 子育てに関する悩みや困ったことの相談は誰に（どこに）していますか。  
当てはまるものを全て選んでください。

No.	項 目	回答数	構成比
1	悩んでも相談する人がいない	42 名	4.1%
2	家族に相談する	471 名	45.8%
3	友達や知り合いに相談する	368 名	35.8%
4	市の相談窓口相談する	83 名	8.1%
5	SNSを利用して相談する	19 名	1.8%
6	医療機関に相談する	73 名	7.1%
7	その他	62 名	6.0%
	無記入	349 名	33.9%

問28 男性が子育てに参加しやすくするためには、どのような取り組みをしたらよいと思いますか。当てはまるものを全て選んでください。

No.	項 目	回答数	構成比
1	育児について学ぶ男性向けセミナー等の開催	287 名	27.9%
2	利用しやすい相談窓口の充実	290 名	28.2%
3	子育てする父親同士で話ができる仲間作り	346 名	33.6%
4	参加しやすいイベント等の開催	402 名	39.1%
5	その他	49 名	4.8%
	無記入	248 名	24.1%

## 4 地域包括ケアについて

### 1 地域医療(かかりつけ医)についてお聞きします

問29 あなたにはかかりつけ医がいますか。1つ選んでください。

No.	項目	回答数	構成比
1	いる	672名	65.3%
2	いないがいると良いと思う	167名	16.2%
3	いない	160名	15.5%
4	わからない	14名	1.4%
	無記入	16名	1.6%

問30 問29で「1. いる」と回答した方にお聞きします。

あなたはどのようにしてかかりつけ医を決めましたか。1つ選んでください。

No.	項目	回答数	構成比
1	自宅や職場の近所	209名	31.1%
2	知人の紹介	38名	5.7%
3	最初に診てもらった	170名	25.3%
4	子どもの頃から診てもらっている	20名	3.0%
5	家族が診てもらっていた	46名	6.8%
6	相談しやすい・話しやすい雰囲気	44名	6.5%
7	説明や診察が丁寧	36名	5.4%
8	スタッフの対応が良い	8名	1.2%
9	待ち時間が少ない	14名	2.1%
10	専門医に紹介してくれる	19名	2.8%
11	往診をしてくれる	4名	0.6%
12	その他	20名	3.0%
	無記入	44名	6.5%

問31 同じく、問29で「1. いる」と回答した方にお聞きします。

あなたはかかりつけ医にどのような医療や体制を望んでいますか。

当てはまるものを全て選んでください。

No.	項目	回答数	構成比
1	どんな病気でもまずは診療できる	418名	62.2%
2	必要なときは、すぐに専門の医療機関に紹介する	427名	63.5%
3	患者情報を紹介先に適時適切に提供する	159名	23.7%
4	夜間休日の電話相談を行う	61名	9.1%
5	夜間休日の診療を行う	87名	12.9%
6	定期健診や検診	152名	22.6%
7	生活習慣病など予防のための助言	177名	26.3%
8	うつ病などを含むこころの病気のカウンセリング	56名	8.3%
9	不在時には別の医師が診療してくれる24時間体制	77名	11.5%
10	往診や訪問診療などの在宅医療	82名	12.2%
11	最期の看取りをする	46名	6.8%
12	その他	9名	1.3%
	無記入	14名	2.1%

問32 問29で「2. いないがいると良いと思う」「3. いない」と回答した方にお聞きします。あなたにかかりつけ医がいないのはどうしてですか。当てはまるものを全て選んでください

No.	項目	回答数	構成比
1	あまり医療機関に行かない	207名	63.3%
2	かかりつけ医を選ぶための情報が不足している	41名	12.5%
3	かかりつけ医をどう探して良いのかわからない	61名	18.7%
4	その都度、受診する医療機関を選びたい	70名	21.4%
5	いつも行く医療機関はあるが、受診する医師は決まっていない	48名	14.7%
6	わからない	8名	2.4%
	無記入	9名	2.8%

問33 同じく、問29 で「2. いないがいると良いと思う」「3. いない」と回答した方にお聞きします。

ご自身のかかりつけ医を探す場合、どのような情報が役立つと思いますか。当てはまるものを全て選んでください。

No.	項 目	回答数	構成比
1	医師や看護師などのスタッフの人数	33 名	10.1%
2	医師の得意分野、経歴、顔写真	114 名	34.9%
3	対応できる治療や検査、患者数	189 名	57.8%
4	医師の診療方針や医療への考え方	178 名	54.4%
5	連携している医療機関や介護施設	123 名	37.6%
6	往診や訪問診療などの在宅医療が可能かどうか	53 名	16.2%
7	その他	26 名	8.0%
	無記入	14 名	4.3%

## Ⅱ 終末期（人生の最期の迎え方）についてお聞きします

問34 あなたは人生の最期の過ごし方について考えたことがありますか。1つ選んでください。

No.	項 目	回答数	構成比
1	決めており、家族など身近な人にも伝えている	101 名	9.8%
2	身近な人には伝えていないが、自分の意思は決めている	126 名	12.2%
3	考えたことはあるが、まだ決めていない	528 名	51.3%
4	考えたことはない	237 名	23.0%
	無記入	37 名	3.6%

問35 万一、あなたが治る見込みがない病気になった場合、あなたは最期をどこで迎えたいですか。1つ選んでください。

No.	項 目	回答数	構成比
1	自宅	414 名	40.2%
2	兄弟姉妹など親族の家	8 名	0.8%
3	病院などの医療施設	321 名	31.2%
4	特別養護老人ホームなどの介護施設	44 名	4.3%
5	わからない	194 名	18.9%
6	その他	19 名	1.8%
	無記入	29 名	2.8%

問36 万一、あなたのご家族が治る見込みがない病気になった場合、あなたは最期をどこで迎えさせてあげたいですか。1つ選んでください。

No.	項 目	回答数	構成比
1	自宅	445 名	43.2%
2	兄弟姉妹など親族の家	7 名	0.7%
3	病院などの医療施設	322 名	31.3%
4	特別養護老人ホームなどの介護施設	34 名	3.3%
5	わからない	147 名	14.3%
6	その他	45 名	4.4%
	無記入	29 名	2.8%

問37 問35 で「1. 自宅」と回答した方にお聞きします。  
 自宅で最期まで療養するために必要だと思うことを3つ選んでください。

No.	項 目	回答数	構成比
1	介護してくれる家族	236 名	53.0%
2	往診・訪問診療をしてくれる医師	281 名	63.1%
3	訪問看護（看護師の訪問）体制	119 名	26.7%
4	訪問介護（ホームヘルパーの訪問）体制	102 名	22.9%
5	症状が急に悪くなった時に入院できる医療機関	161 名	36.2%
6	24時間相談にのってくれる専門家・機関	78 名	17.5%
7	経済的な支援	127 名	28.5%
8	居住環境の改修	24 名	5.4%
9	その他	1 名	0.2%
	無記入	15 名	3.4%

### Ⅲ 認知症についてお聞きします

問38 あなたは今まで認知症の人や認知症と思われる人と会話や声掛けなど関わりを持ったことがありますか。1つ選んでください。

No.	項 目	回答数	構成比
1	ある	626 名	60.8%
2	ない	309 名	30.0%
3	わからない	65 名	6.3%
	無記入	29 名	2.8%

問39 問38 で「1. ある」と回答した方にお聞きします。  
 あなたが認知症と思われる人と接した場面について、当てはまるものを全て選んでください

No.	項 目	回答数	構成比
1	家族の中に認知症の人がいる（いた）	283 名	45.2%
2	親戚の中に認知症の人がいる（いた）	229 名	36.6%
3	近所に認知症の人がいる（いた）	156 名	24.9%
4	医療・介護の現場で働いている（いた）	88 名	14.1%
5	医療・介護の現場以外の仕事を通じて	35 名	5.6%
6	偶然関わった	58 名	9.3%
7	その他	23 名	3.7%
	無記入	4 名	0.6%

問40 あなたご自身やあなたのご家族、知人等が認知症の疑いがあると感じた場合、  
 あなたは最初に誰に相談しますか。1つ選んでください。

No.	項 目	回答数	構成比
1	病院や診療所など医療機関	539 名	52.4%
2	地域包括支援センター	48 名	4.7%
3	市役所	9 名	0.9%
4	民生委員	8 名	0.8%
5	行政委員	0 名	0.0%
6	社会福祉協議会	8 名	0.8%
7	介護事業所	8 名	0.8%
8	親戚・家族	312 名	30.3%
9	ご近所の人	2 名	0.2%
10	警察・消防署	0 名	0.0%
11	わからない	29 名	2.8%
12	その他	6 名	0.6%
	無記入	60 名	5.8%

問41 認知症になった時の備えとして、あなたはどんな取り組みをしたいと思いますか。  
 当てはまるものを全て選んでください。

No.	項目	回答数	構成比
1	友達をたくさん作る	247名	24.0%
2	運動や食生活に気をつけ、健康づくりをする	613名	59.6%
3	趣味をもつ	542名	52.7%
4	地域行事に積極的に参加する	175名	17.0%
5	認知症の知識を得る	487名	47.3%
6	親戚付き合いを積極的にする	82名	8.0%
7	お金を貯める	149名	14.5%
8	何も準備はしない	81名	7.9%
9	その他	21名	2.0%
	無記入	48名	4.7%

問42 今後増加が予想される認知症の人を地域で支える取り組みとして、  
 必要だと思うものを全て選んでください。

No.	項目	回答数	構成比
1	認知症の正しい知識と理解を促進するための普及啓発	602名	58.5%
2	相談窓口の充実	472名	45.9%
3	早期の医療・介護サポートを利用できる仕組みづくり	700名	68.0%
4	介護者支援の充実	528名	51.3%
5	当事者支援の充実	327名	31.8%
6	経済的支援の取組	416名	40.4%
7	財産管理などへの支援の充実	123名	12.0%
8	介護施設の充実	533名	51.8%
9	その他	16名	1.6%
	無記入	45名	4.4%

## 5 観光に関する意識について

問43 観光客が石巻に多く訪れるようになることで、あなたの生活に変化があるとしたら、どのようなことが思い浮かびますか。当てはまるものを全て選んでください。

No.	項目	回答数	構成比
1	経済が活性化し、景気が良くなる	598名	58.1%
2	まちのにぎわいが増す	662名	64.3%
3	石巻の良いイメージが他の地域の人により伝わるようになる	440名	42.8%
4	市外・県外・海外からの来訪客と交流の機会が増える	343名	33.3%
5	交通が渋滞する	314名	30.5%
6	治安が悪化する	164名	15.9%
7	まちの美しさが損なわれる	52名	5.1%
8	その他	31名	3.0%
	無記入	53名	5.2%

問44 あなた自身が観光客をおもてなしできる素材はありますか（知っていますか）。当てはまるものを全て選んでください。

No.	項目	回答数	構成比
1	石巻の歴史施設や観光名所を案内する	332名	32.3%
2	自分の仕事を（農林水産業体験・製造工場）を見せる（体験させる）	87名	8.5%
3	まちのイベントについて開催時期に招待する	255名	24.8%
4	震災の語り部を行う	150名	14.6%
5	郷土芸能（神楽・太鼓・獅子舞）を見せる（体験させる）	117名	11.4%
6	アウトドア体験等を体験させる	58名	5.6%
7	その他	88名	8.6%
	無記入	352名	34.2%

問45 あなたは、市外からあなたの友人や知人が訪ねてきたら、石巻の何をおすすめしますか。当てはまるものを全て選んで、具体的に記載してください。

No.	項目	回答数	構成比
1	食	602名	58.5%
2	観光スポット	365名	35.5%
3	祭り・イベント	421名	40.9%
4	自然・景観	269名	26.1%
5	震災・防災・学び	198名	19.2%
6	お土産・商品	365名	35.5%
7	体験等	73名	7.1%
8	その他	54名	5.2%
	無記入	263名	25.6%

問46 あなたは、今より多くの外国人観光客に石巻にきてほしいと思いますか。当てはまるものを1つ選んでください。

No.	項目	回答数	構成比
1	もっと来てほしい	334名	32.5%
2	いまのままでよい	272名	26.4%
3	来てほしくない	57名	5.5%
4	どちらともいえない	278名	27.0%
	無記入	88名	8.6%

問47 問46 で選択した回答の理由をお聞かせください（54ページをご覧ください。）



問48 あなたは、石巻市を訪れた外国人観光客を、あなた自身でおもてなししたいと思いますか。

No.	項 目	回答数	構成比
1	はい	178 名	17.3%
2	いいえ	759 名	73.8%
	無記入	92 名	8.9%

問49 問48 で「1、はい」を選択した方にお聞きします。  
そのおもてなしの方法について当てはまるものを全て選んでください。

No.	項 目	回答数	構成比
1	自宅に宿泊（民泊も可）をさせておもてなししたい	49 名	27.5%
2	宿泊してもらうことは難しいが、食事を提供することでおもてなししたい	45 名	25.3%
3	石巻の観光案内をしておもてなししたい	77 名	43.3%
4	外国人観光客と石巻のこどもの交流を図るようなおもてなししたい	48 名	27.0%
5	石巻を訪れてもらった後も、交流を継続しておもてなししたい	56 名	31.5%
6	その他	11 名	6.2%
	無記入	13 名	7.3%

問50 外国人観光客に対して、石巻のどのようなところが魅力・強みになると思いますか。  
又はどんなものを観光資源として発信していく必要があると思いますか。  
当てはまるものを全て選んで、具体的に記載してください。

No.	項 目	回答数	構成比
1	食	333 名	32.4%
2	伝統文化	128 名	12.4%
3	祭り・イベント	192 名	18.7%
4	体験・学習	80 名	7.8%
5	地域との交流	47 名	4.6%
6	震災・防災・学び	160 名	15.5%
7	その他	70 名	6.8%
	無記入	563 名	54.7%

## 6 広報事業について

### 1 「市報いしのまき」についてお聞きします。

問51 「市報いしのまき」を読んでいますか。1つ選んでください。

No.	項 目	回答数	構成比
1	必ず読んでいる	518 名	50.3%
2	たまに読んでいる	331 名	32.2%
3	あまり読まない	69 名	6.7%
4	ほとんど読まない	36 名	3.5%
5	読んだことがない	25 名	2.4%
	無記入	50 名	4.9%

問52 問51 で「1. 必ず読んでいる」「2. たまに読んでいる」と回答した方にお聞きします。「市報いしのまき」は読みやすいですか。1つ選んでください。

No.	項 目	回答数	構成比
1	読みやすい	406 名	47.8%
2	どちらとも言えない	385 名	45.3%
3	読みにくい	53 名	6.2%
	無記入	5 名	0.6%

問53 問51 で「3. あまり読まない」「4. ほとんど読まない」「5. 読んだことがない」と回答した方にお聞きします。その理由はなんですか。当てはまるものを全て選んでください。

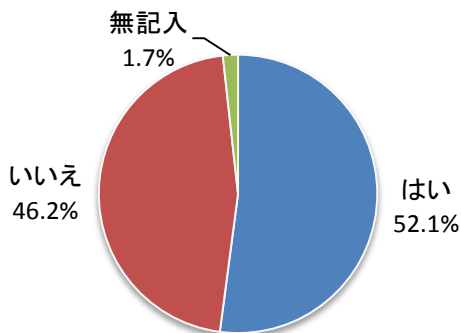
No.	項 目	回答数	構成比
1	興味がない	47 名	36.2%
2	読む暇がない	45 名	34.6%
3	内容がつまらない	24 名	18.5%
4	役に立たない	14 名	10.8%
5	市報が届かない	8 名	6.2%
6	その他	18 名	13.8%
	無記入	10 名	7.7%

## 第4章 結果の概要

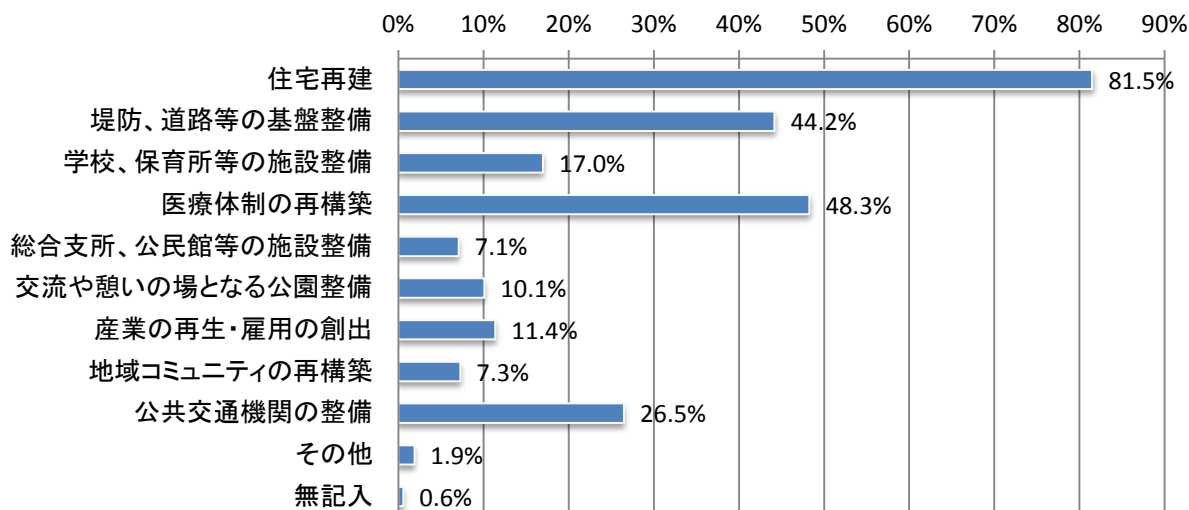
※構成比は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計が100にならない場合があります。

### 1 東日本大震災に伴う復旧・復興事業について

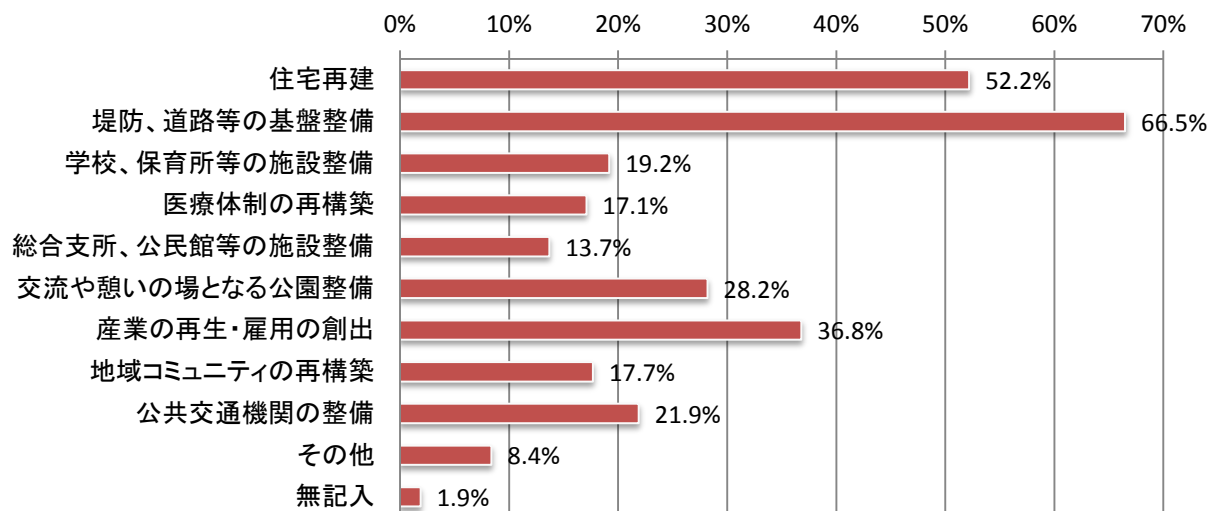
問1 石巻市の復旧・復興が進んでいると感じていますか。1つ選んでください。



問2 問1で「はい」と答えた方に質問します。進んでいると感じている主な事業は何ですか。当てはまるものを全て選んでください。

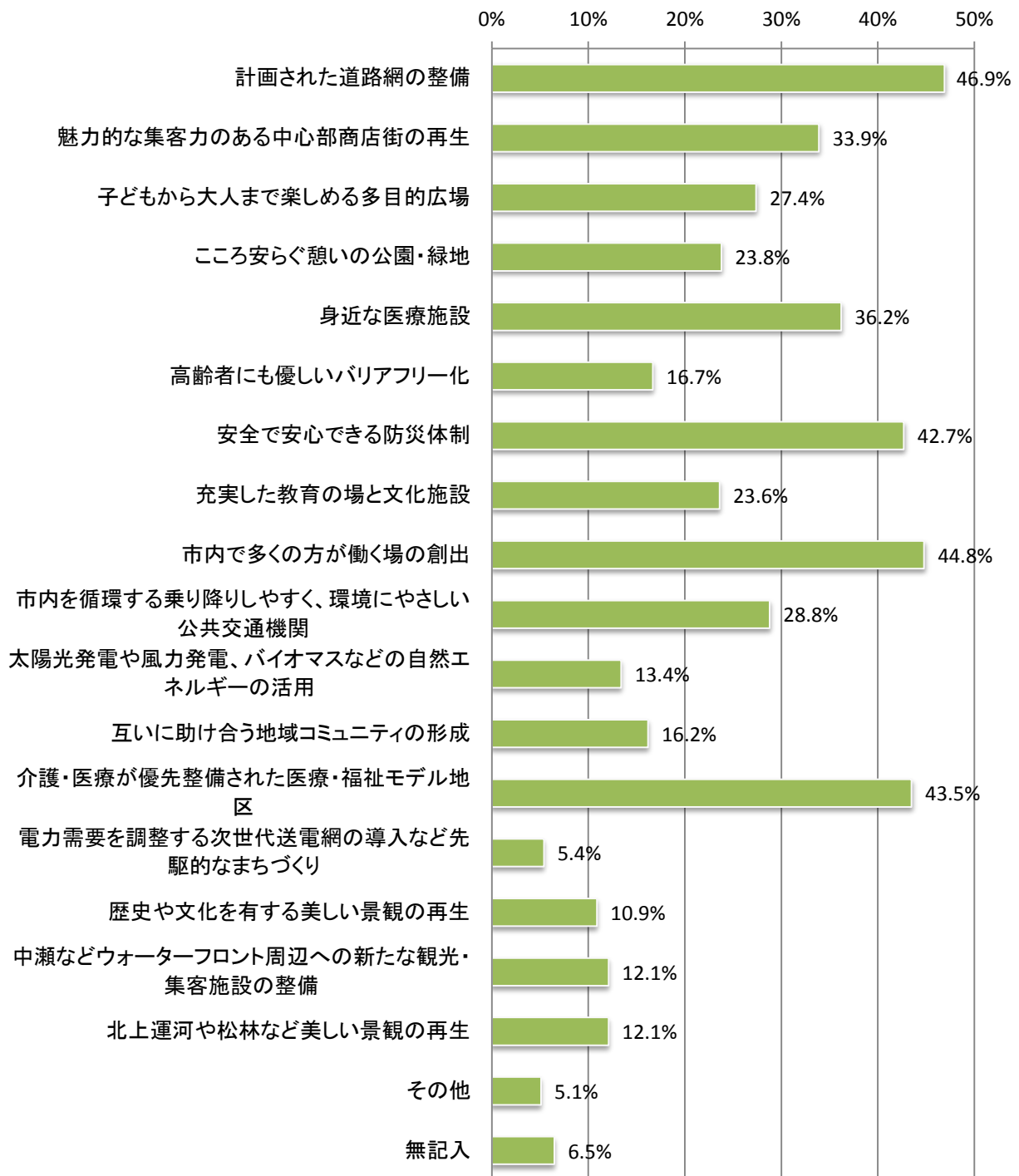


問3 問1で「いいえ」と答えた方に質問します。遅れていると感じている主な事業は何ですか。当てはまるものを全て選んでください。



復旧・復興が「進んでいる」と回答した方が前回（平成26年度）調査時（28.6%）より大きく上昇し全体の半数以上となりました。その主な理由として「住宅再建」を挙げる方が81.5%と多くを占めていますが、「遅れている」と感じている事業においても52.2%と前回調査時（56.3%）とほぼ横ばいで高い割合を占めています。また、今後本格化していく「堤防、道路等の基盤整備」などハード面の復興事業に対する関心が高い状況にあり、「産業の再生・雇用の創出」との相乗効果を図りながら安全・安心のまちづくりに取り組む必要があると考えます。

問4 石巻市の将来の再生・発展のために望むまちづくりについてお聞かせください。  
特に重要と思うものを5つ選んでください。



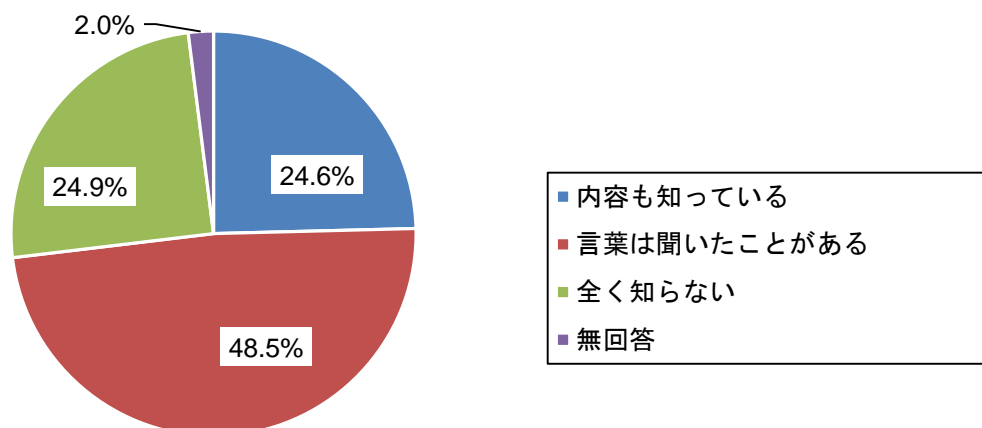
「計画された道路網の整備」「安全で安心できる防災体制」「市内で多くの方が働く場の創出」「介護・医療が優先整備された医療・福祉モデル地区」を望む回答が多く、石巻市の再生・発展のためには、主に道路、防災、雇用、医療・福祉が重要と考えられていることがうかがえます。

また、自由意見では、お年寄りや自転車利用者にとって安全な道路の整備、冠水対策や避難道路の整備、子どもやお年寄り、障がい者にとって住みやすい環境整備といった意見のほか、各地区の均衡ある発展、子どもから大人まで楽しめる文化・スポーツ・娯楽施設の整備・充実を求める声がありました。

## 2 男女共同参画について

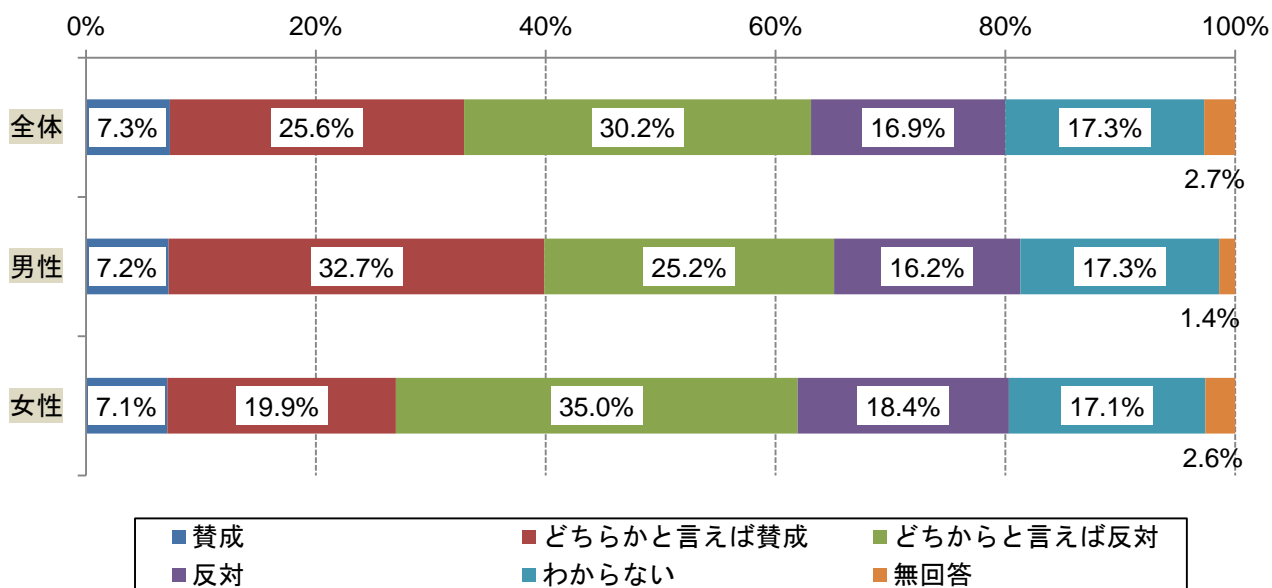
「男女共同参画」についてお聞きします。

問5 あなたは、「男女共同参画社会」という言葉を知っていますか。(〇は1つ)



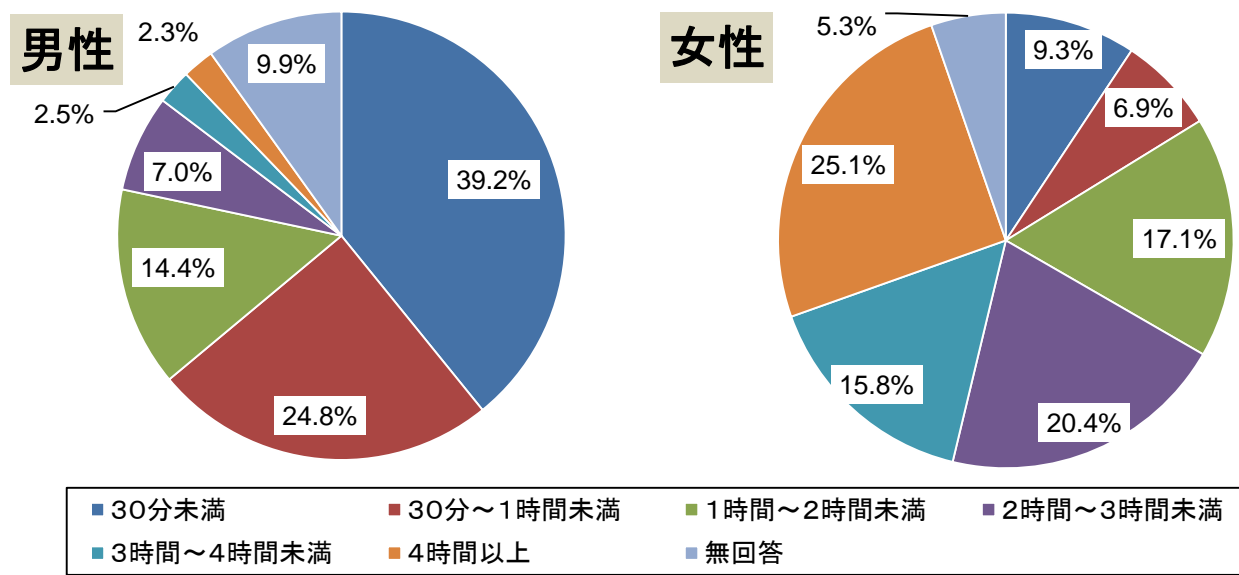
「男女共同参画社会」という言葉の認知度は、「言葉は聞いた事がある」が48.5%と最も多く、「内容も知っている」と合わせた認知度は、73.1%となっています。しかし、「全く知らない」と回答した方も24.9%となっているため、今後もさらに啓発に努めていく必要があると考えています。

問6 「男は外で働き、女は家庭を守るべき」という考え方についてどう思いますか。(〇は1つ)



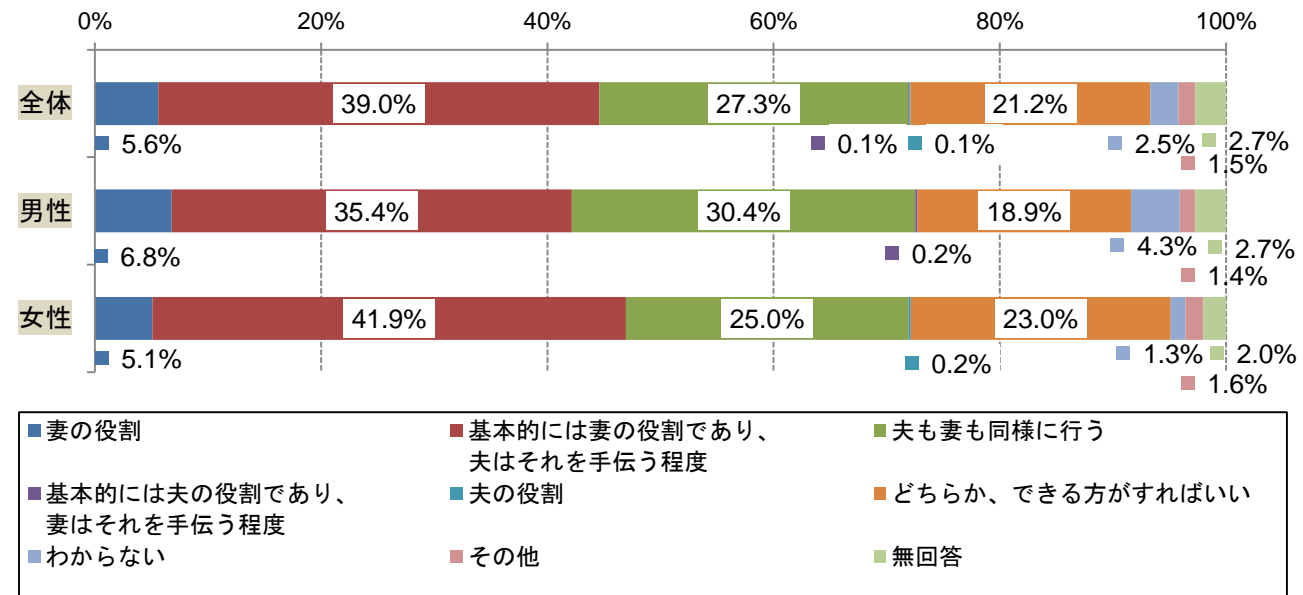
「男は外で働き、女は家庭を守るべき」という考え方については、「反対」「どちらかと言えば反対」が全体で47.1%と、約半数の回答があるものの、「賛成」「どちらかと言えば賛成」が全体で32.9%となっています。「反対」「どちらかと言えば反対」の意見について男女別に見ると、男性が41.4%に対し、女性が53.4%と12ポイントも多く、男女の考えに相違があることがうかがえます。

問7 あなたの1日の家事（介護・看護・育児含む）時間はどのくらいですか。（○は1つ）



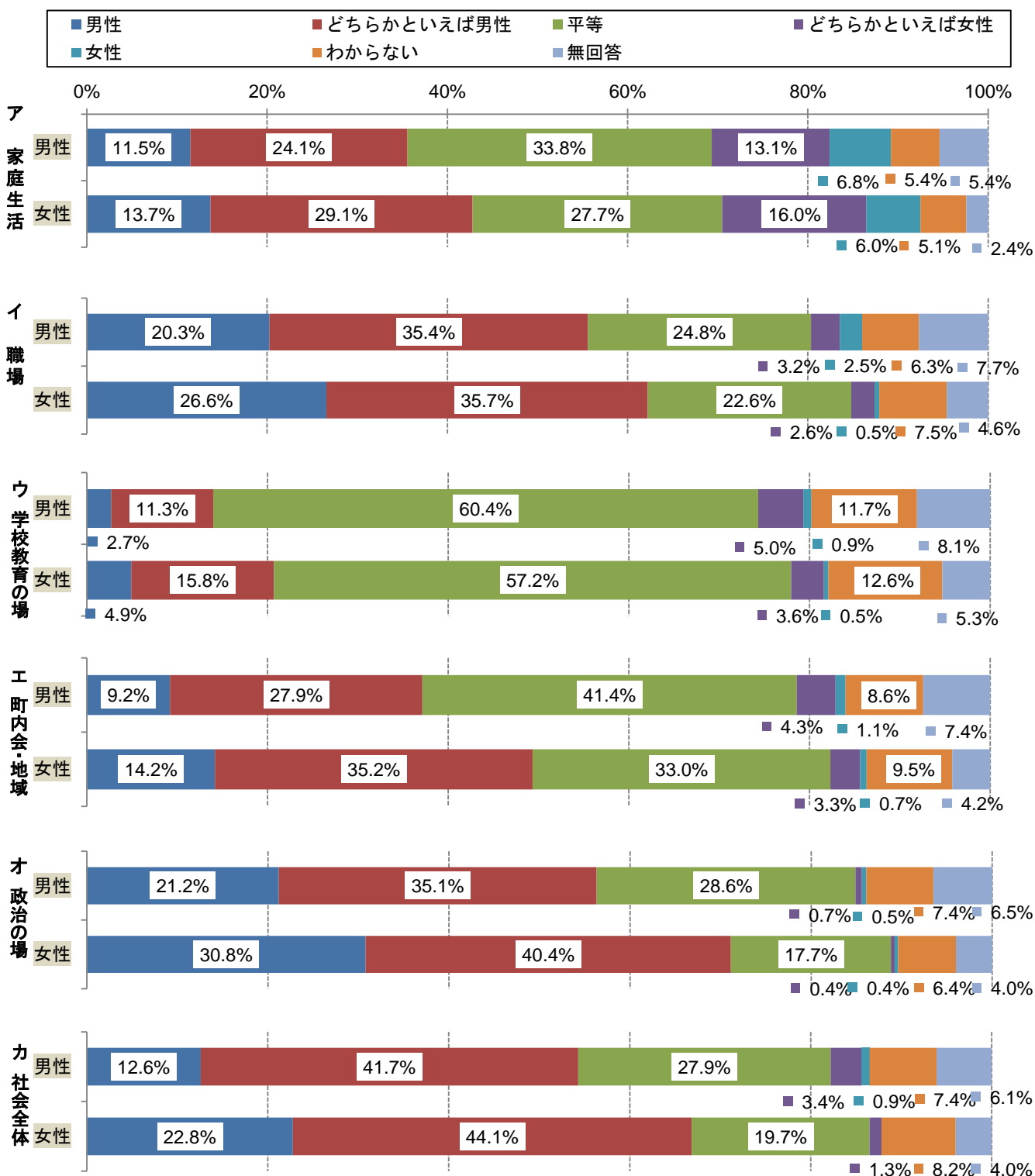
女性の家事時間は、1時間未満が16.2%に対し、男性では64.0%となっています。逆に、3時間以上の家事時間を見ると、女性は40.9%に対し、男性は、4.8%と非常に偏っています。この結果から家事時間については、いまだに女性の方が長いことがうかがえます。

問8 家庭での育児や家事は、誰の役割と思いますか。（○は1つ）



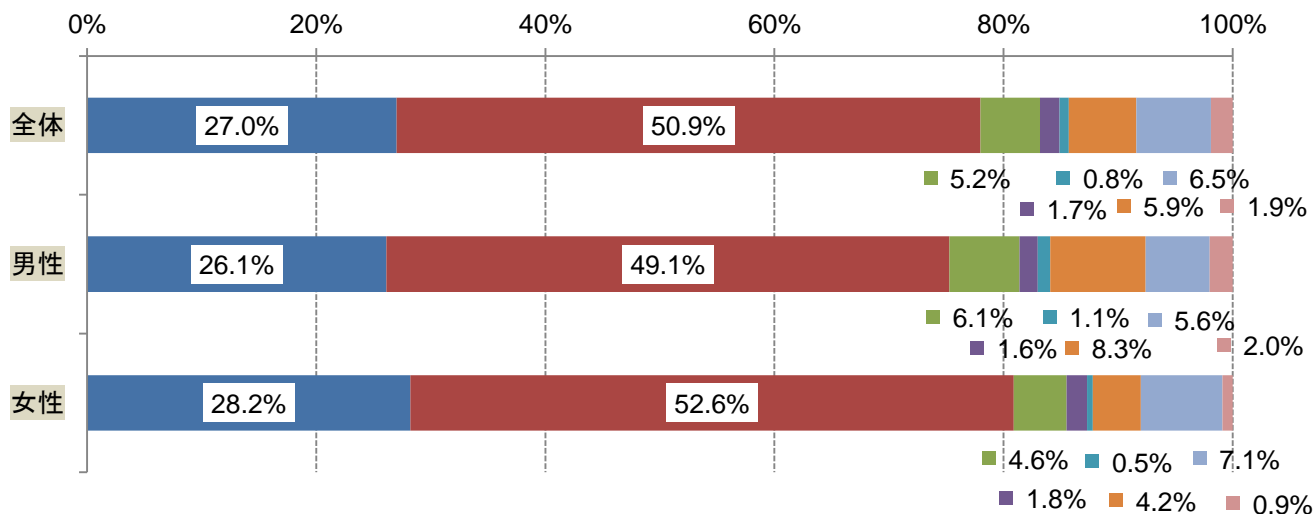
家庭での育児や家事の役割は、男女ともに「基本的には妻の役割であり、夫はそれを手伝う程度」との回答が39.0%と多く、未だに固定的役割分担意識（男性・女性という性別を理由に役割を固定的に分けること。）が根強く残っていることがうかがえます。しかし、「夫も妻も同様に言う」と回答した方も27.3%となっていることから、性別を問わず役割を決めることの意識を醸成する必要があると考えます。

問9 あなたは、男女の地位について、どちらが優遇されていると思いますか。(それぞれ○は1つ)



男女の地位について「学校教育の場」では、「平等」と回答している人の割合が男女共に50%を超えています。その他の項目では、男性が優遇されていると回答している割合が高く、また男性よりも女性でその実感が強くなっていることも示されています。

問10 女性が働くことについて、あなたはどうお考えですか。(○は1つ)

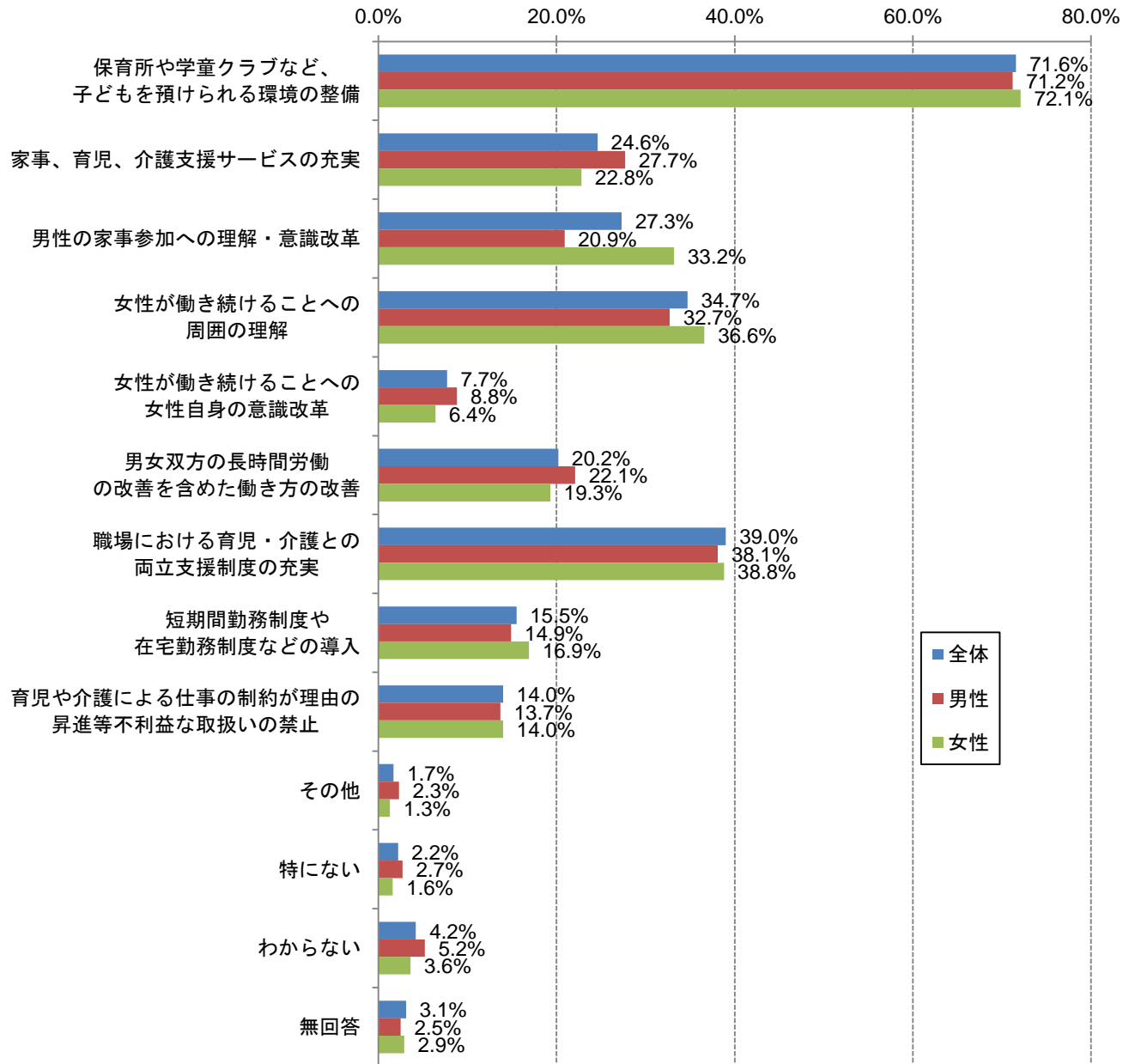


- 子どもができて、ずっと働き続ける方がよい
- 子どもができたなら仕事をやめ育児が一段落したら再び働く方がよい
- 子どもができたなら仕事をやめ、家事・育児に専念する方がよい
- 結婚を機会に仕事をやめ、家事・育児に専念する方がよい
- 女性は働かない方がよい
- わからない
- その他
- 無回答

女性が働くことについては、男女ともに「子どもができたなら仕事をやめ育児が一段落したら再び働く方がよい」と回答した方が最も多く、全体で50.9%となっています。また、子育ては女性の役割と考えている方が男性よりも女性に多くいることもうかがえます。一方で、「子どもができて、ずっと働き続ける方がよい」と回答している男女の割合も全体で27.0%となっており、女性の就業については、77.9%の方が賛成していることがうかがえます。

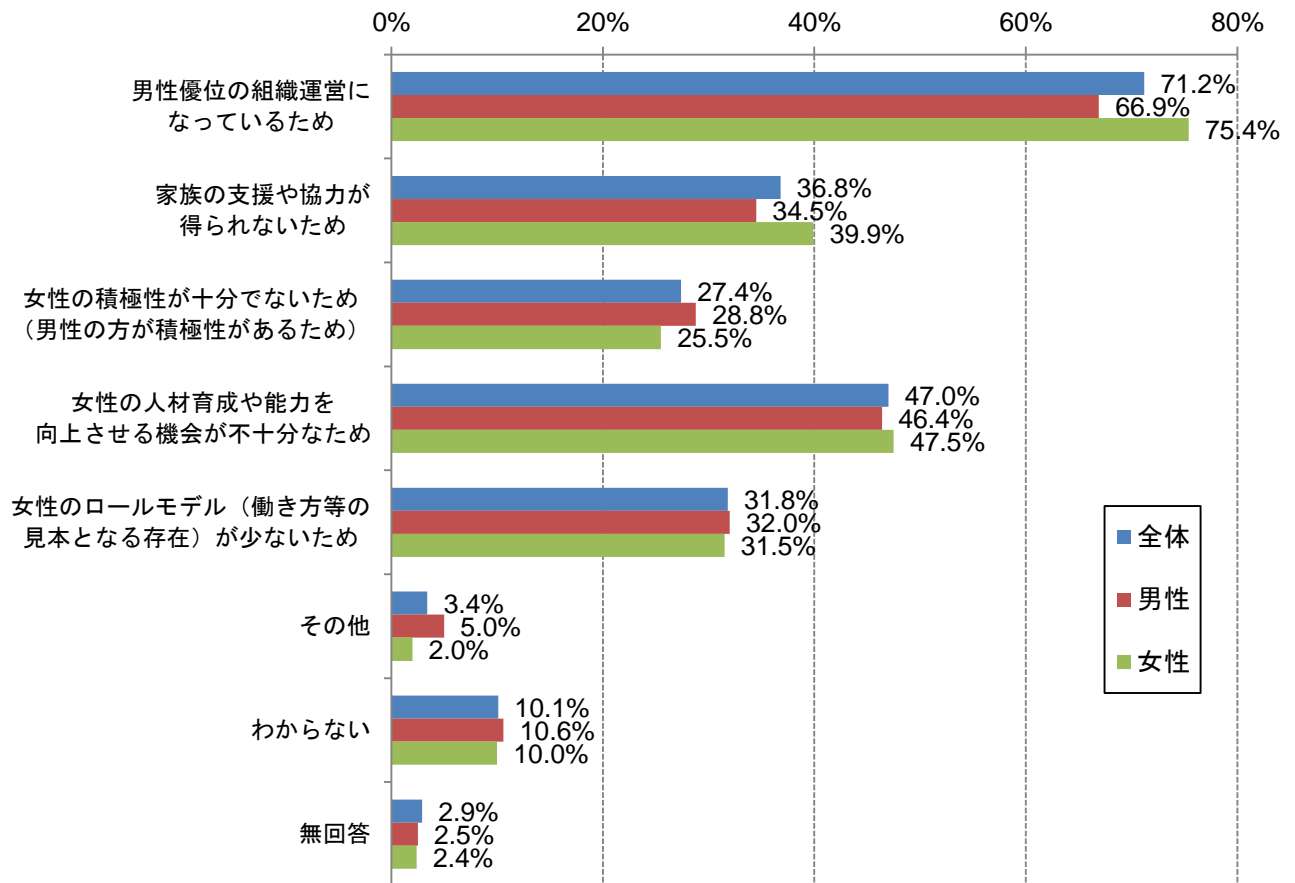


問11 あなたは、女性が出産後も離職せずに同じ職場で働き続けるために、家庭・社会・職場において必要なことは何だと思いますか。(特に当てはまると思うものを3つまで○)



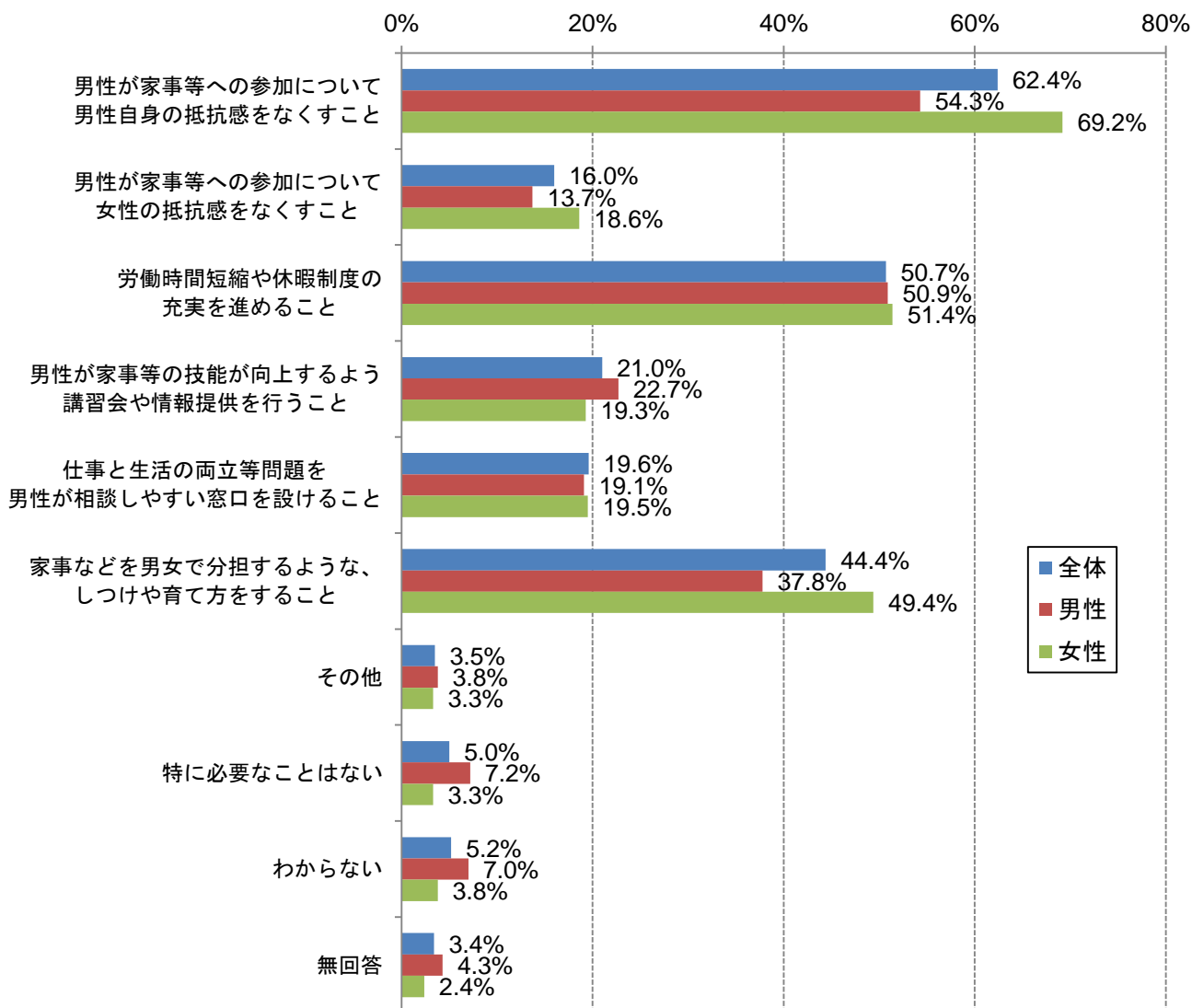
女性が出産後も離職せずに同じ職場で働き続けるために必要なことは、「保育所や学童クラブなど、子どもを預けられる環境の整備」の回答が全体で71.6%と最も多く、男女問わず子育てにおける環境の整備を望んでいることがうかがえます。また、女性から「男性の家事参加への理解・意識改革」を求める回答も多くあり、子どもの保育環境の充実に加え、職場や家庭での役割分担の意識改革の取り組みも求められていることがうかがえます。

問12 政治や企業などにおいて、政策や方針を決定する立場や指導的地位に女性が少ないという状況があります。あなたは、その理由は何だと思えますか。(特に当てはまると思うものを3つまで○)



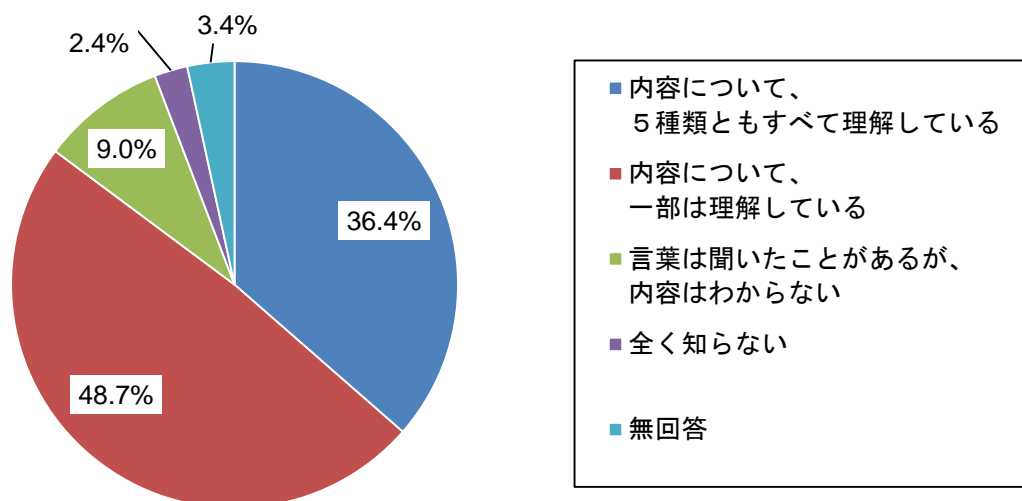
政策や方針を決定する立場や指導的地位に女性が少ない理由については、「男性優位の組織運営になっているため」が71.2%と最も多く、次いで「女性の人材育成や能力を向上させる機会が不十分なため」の47.0%となっています。このことから、男性が優位となっている構造の変革を促すとともに、女性の人材育成等が重要であると考えます。

問13 あなたは今後、男性が家事・子育て・介護・地域活動などに積極的に参画していくためには、どのようなことが特に必要だと思いますか。(特に当てはまると思うものを3つまで○)



男性が家事・子育てなどに積極的に参画していくためには、「男性自身の抵抗感をなくすこと」の回答が男性の54.3%に対し、女性は69.2%と14.9ポイントも多く感じていることがうかがえます。また、「労働時間の短縮や休暇制度の充実を進めること」との回答も半数近くあったことから、意識改革だけでなく、男性中心型労働慣行の変革やワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の実現に向けた制度の充実を図る必要があると考えます。

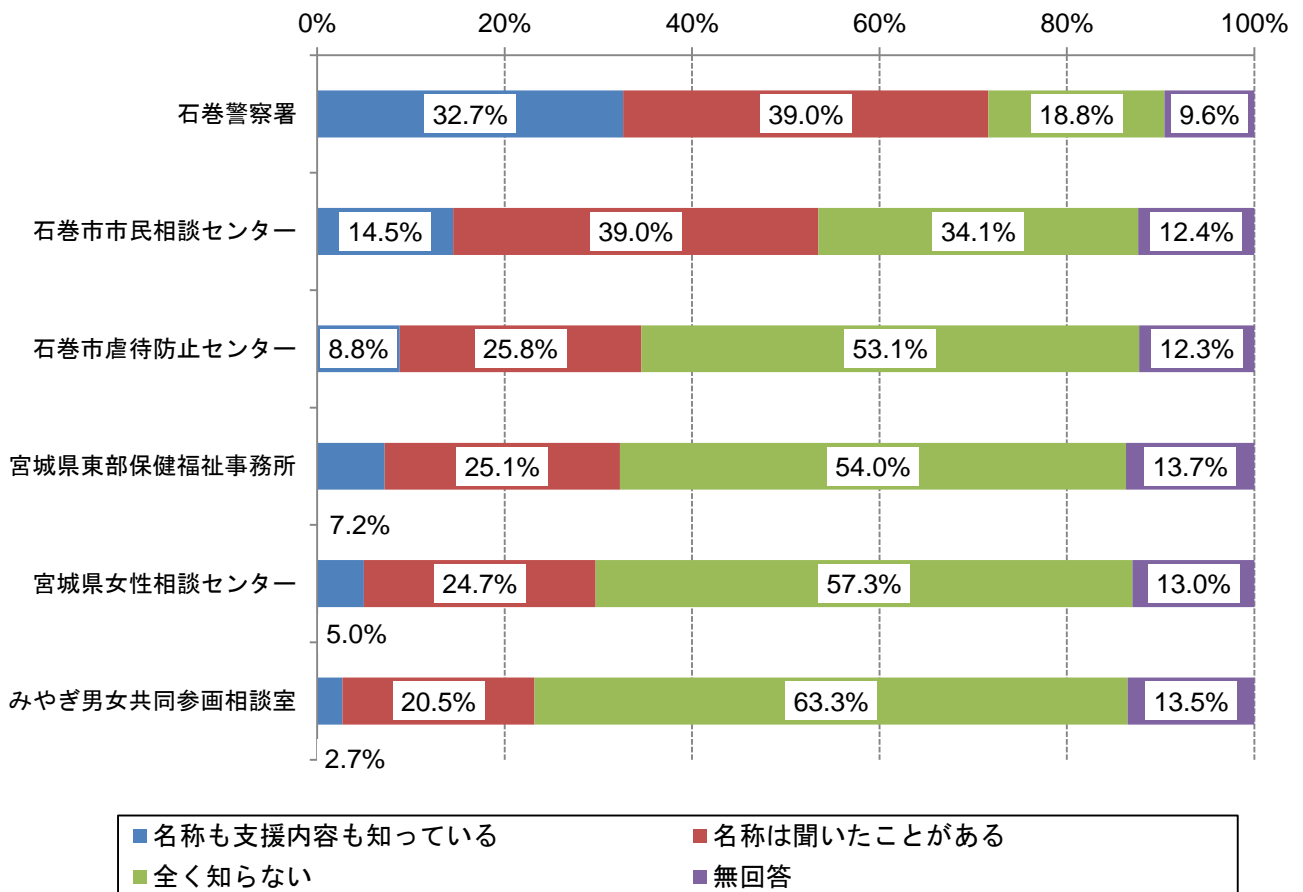
問14 あなたは、DV（配偶者等からの暴力）の内容について正しく理解していますか。（○は1つ）  
**【DVの種類・・・身体的暴力、精神的暴力、性的暴力、社会的暴力、経済的暴力】**



DV（ドメスティック・バイオレンス）について正しく理解しているかとの回答では、「5種類ともすべて理解している」が36.4%、「一部は理解している」が48.7%となっています。身体的暴力だけがDVではないことを、正しく理解していただくため、より一層の啓発に努める必要があると考えます。

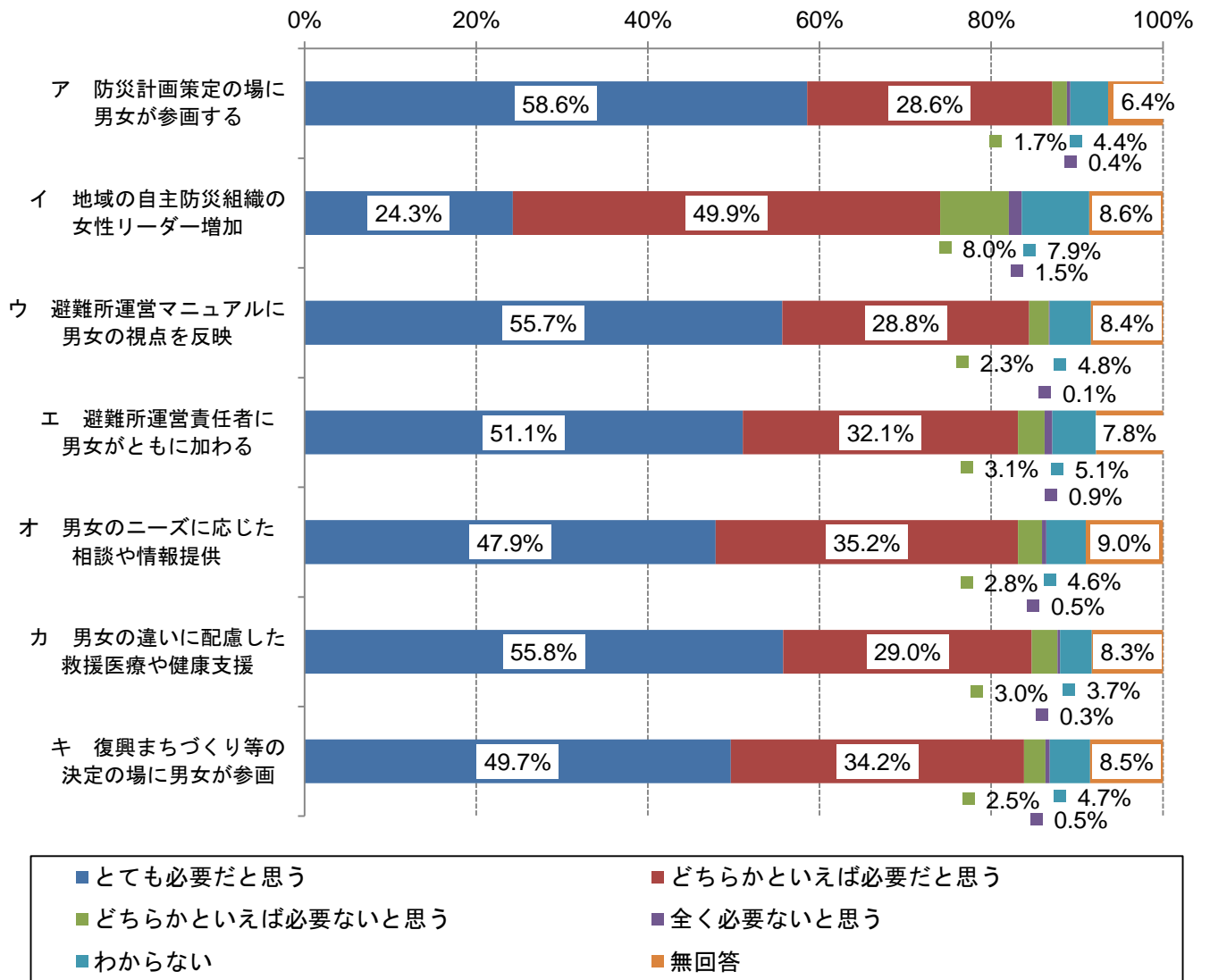
- 身体的暴力・・・殴る、蹴る、髪を引っ張り引きずり回す、タバコの火を押しつける。
- 精神的暴力・・・何でも従えという、人前で侮辱する、怒鳴りつける、外出を禁止する。
- 性的暴力・・・気が進まない性行為を強要する、避妊に協力しない。
- 社会的暴力・・・生活や人間関係に対して無視する、実家や友達の付き合いなどを制限する。
- 経済的暴力・・・生活費を渡さない、外で働くことを妨害する、洋服などを買わせない。

問15 あなたは、セクシャル・ハラスメントまたはDV（配偶者等からの暴力）被害にあった時の相談窓口（ア～カ）を知っていますか。ア～カのそれぞれについてお答えください。（それぞれ○は1つ）



セクシャル・ハラスメントまたはDVの相談窓口の認知度は、身近にある石巻警察署でも「名称も支援内容も知っている」は全体で32.7%となっています。また、石巻市市民相談センターは14.5%、石巻市虐待防止センターでは8.8%と、かなり認知度が低く、今後も相談窓口の周知徹底を図る必要があると考えます。

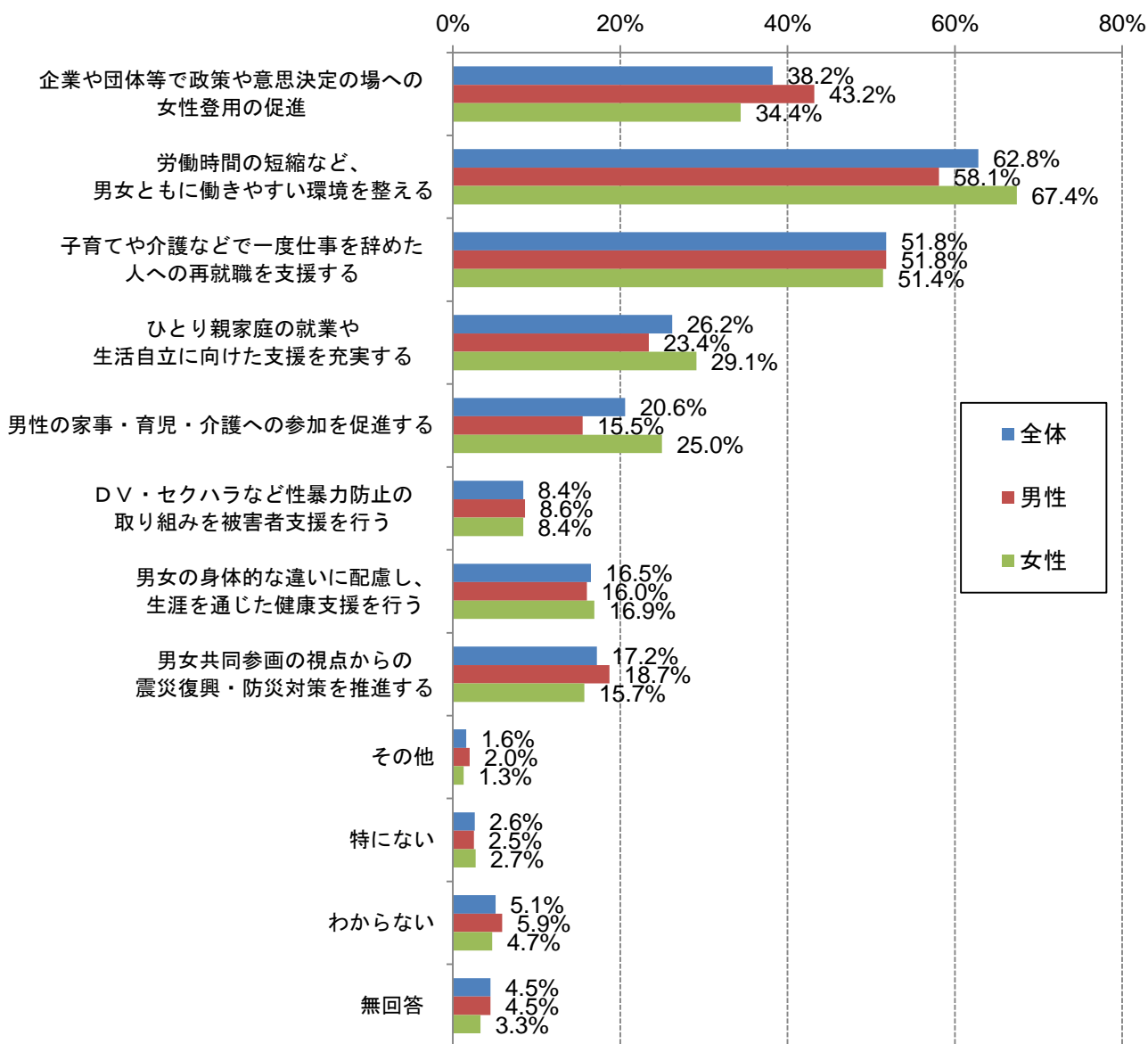
問16 東日本大震災時、男女のニーズの違いを踏まえた対策が十分に行われなかったという問題がありました。今後の災害に備えて、「性別による違い」に配慮した取り組みはどの程度必要だと思いますか。ア～キのそれぞれについてお答えください。（それぞれ○は1つ）



性別による違いに配慮した取り組みの必要性については、全ての項目において必要だと思う方が70%を超えており、震災復興が進む中、防災やあらゆる分野において、男女共同参画の視点が必要とされています。また、『防災計画の策定の場に男女がともに参画する』については、約9割の方が必要であると回答しており、施策の根底である計画の策定や意思決定の場に男女がともに参画できる体制づくりが強く求められています。

問17 男女共同参画社会(※)を実現するために、今後、石巻市はどのようなことに特に力を入れていくべきだと思いますか。(特に必要だと思うものを3つまで○)

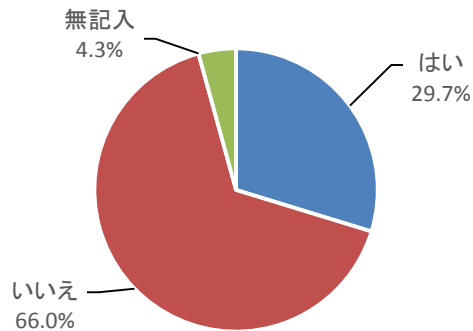
※男女共同参画社会とは、男性も女性も一人の人間として、多様な生き方を選択し、性別に関わりなく様々な分野の活動に参画する社会のこと。



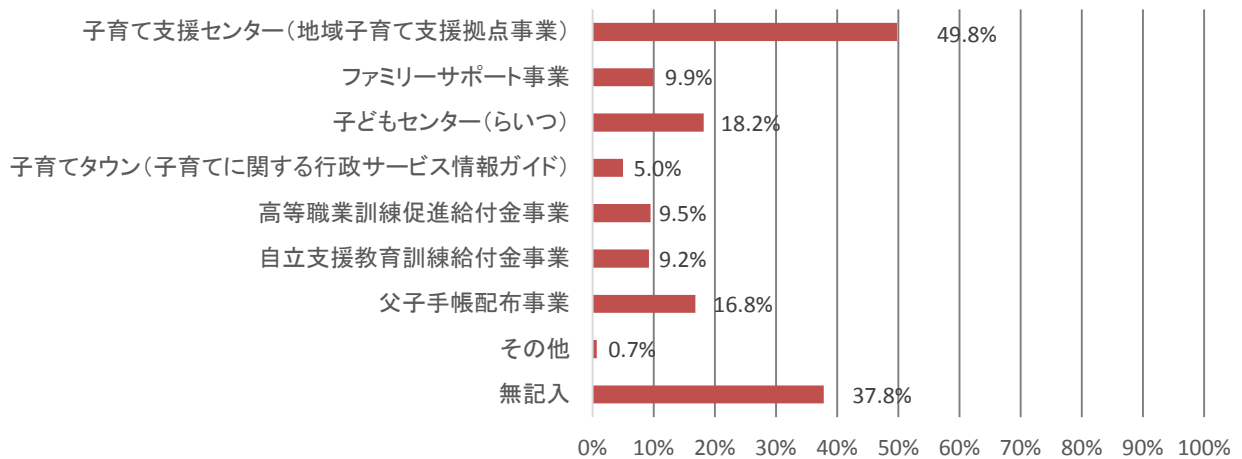
男女共同参画社会を実現するために、市が特に力を入れていくべきこととして、「労働時間の短縮や保育・介護サービスなど、男女ともに働きやすい環境を整える」が全体で62.8%となっており、特に、女性の方が9.3%ポイントも多く感じているようです。男女ともにワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の実現に向け、官民一体となって取り組んでいく必要があると考えます。

### 3 子育て支援について

問18 現在、子育てに関わる機会や、地域等で子どもに関わる機会がありますか



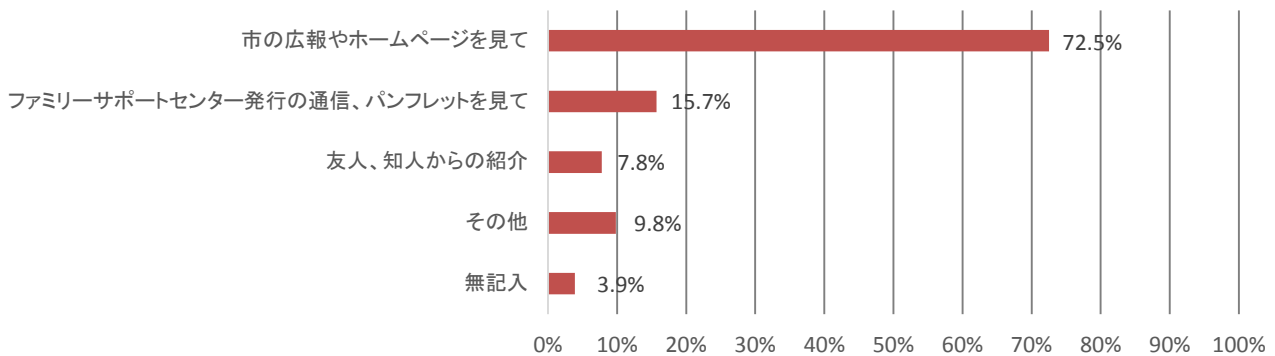
問19 次の子育て支援事業を知っていますか。当てはまるものを全て選んでください。



子育て支援事業について、子育て支援センター（地域子育て支援拠点事業）を知っている方が49.8%と最も多く、次いで子どもセンター（らいつ）18.2%、父子手帳配布事業16.8%となっており、そのほかの事業はあまり知られていないことから、各種支援事業や給付金事業等について、なお一層周知を図る必要があると考えます。



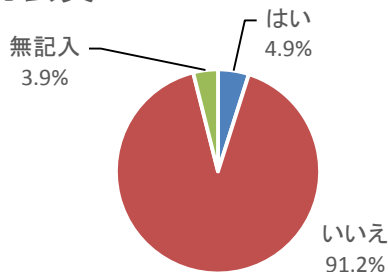
**問 2 0 ファミリーサポート事業をどこで知りましたか。当てはまるものを全て選んでください。**



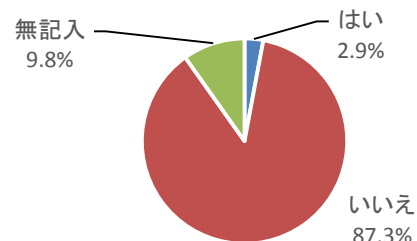
ファミリーサポート事業を知った方法として、72.5%が「市の広報やホームページ」からと回答しています。ファミリーサポートセンター発行の“ふぁみさぼ通信”やパンフレットの配布で知った人は15.7%と低く、広報の仕方を工夫する必要があると思われる結果となりました。

**問 2 1 ファミリーサポート事業は協力会員（預かる人）と利用会員（預けたい人）の相互援助の事業ですが、どちらかの会員として事業を利用したことがありますか。**

協力会員



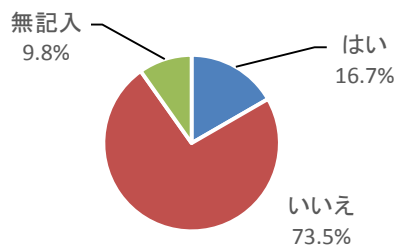
利用会員



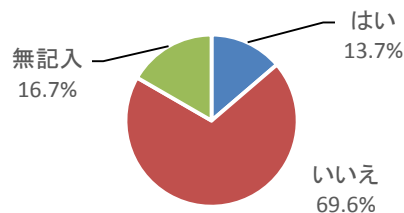
問 1 9 でファミリーサポート事業を知っていると回答した方が9.9%と認知度は低く、さらに実際に利用した協力会員は4.9%、利用会員は2.9%となっており、事業について浸透していない現状がうかがえます。今後はより一層会員を増やすための周知や、利用しやすい工夫を施していくことが必要と考えます。

問 2 2 ファミリーサポート事業の協力会員・利用会員になりたいと思いますか。

協力会員

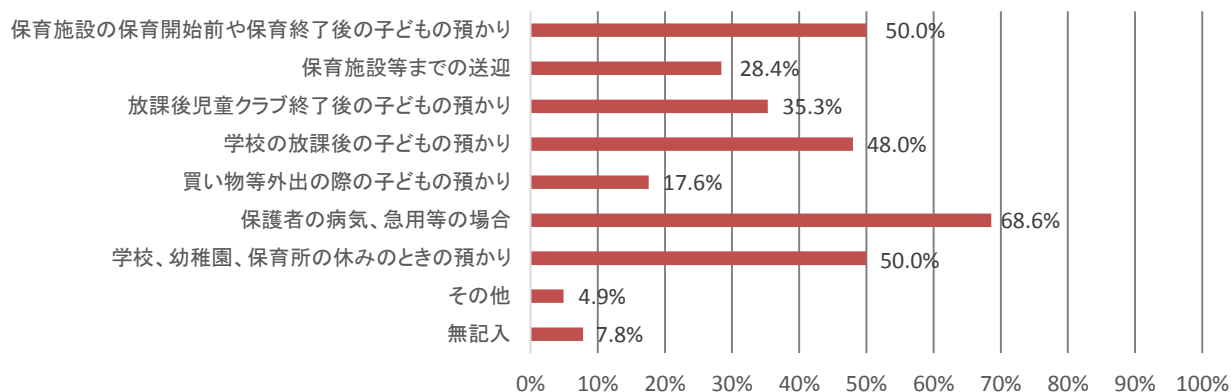


利用会員



会員になりたいと回答した方は協力会員で16.7%、利用会員では13.7%にとどまり、会員を希望しないと答えた方は両会員で70%前後となっており、事業内容の説明や相談等の丁寧な対応が必要であると考えます。

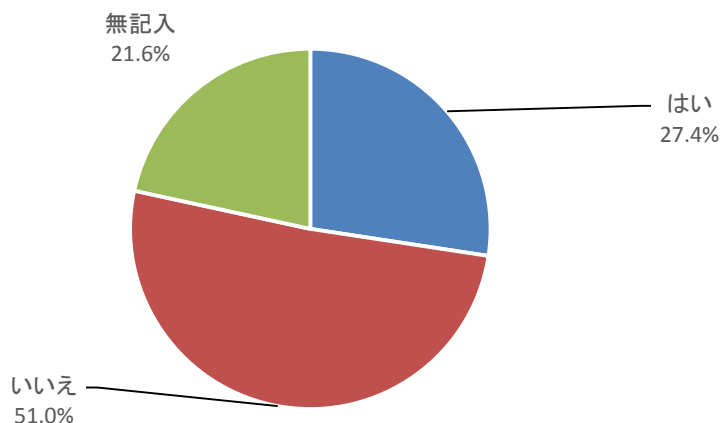
問 2 3 ファミリーサポート事業をどのような時に利用できるるとよいと思いますか。当てはまるものを全て選んでください。



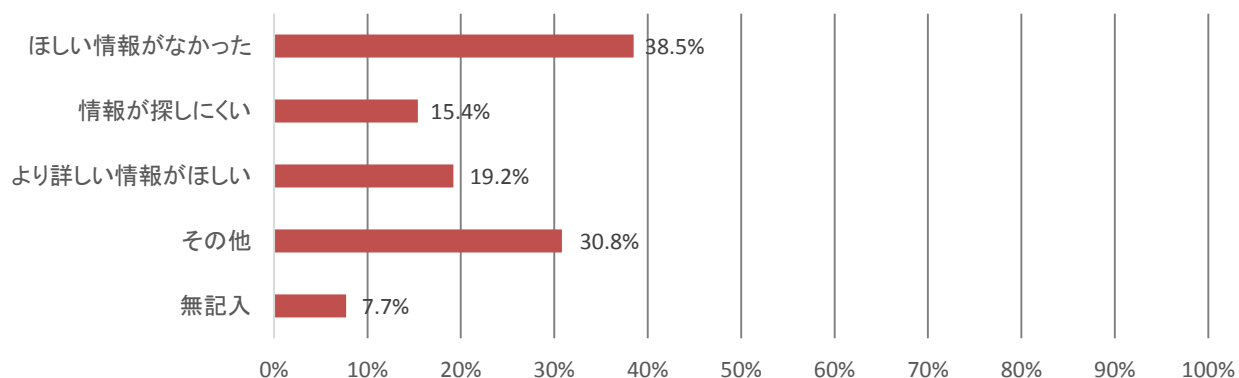
「保護者の病気、急用等の場合」が68.6%と最も多く、次いで「保育施設の保育開始前や保育終了後の子どもの預かり」「学校、幼稚園、保育所の休みの時の預かり」が各50%となっており、利用内容の周知を徹底することで、子育て支援事業として有効であると考えます。

●子育てタウン（子育てに関する行政サービス情報ガイド）についてお聞きします。

問24 子育てタウンの情報を利用したことはありますか。



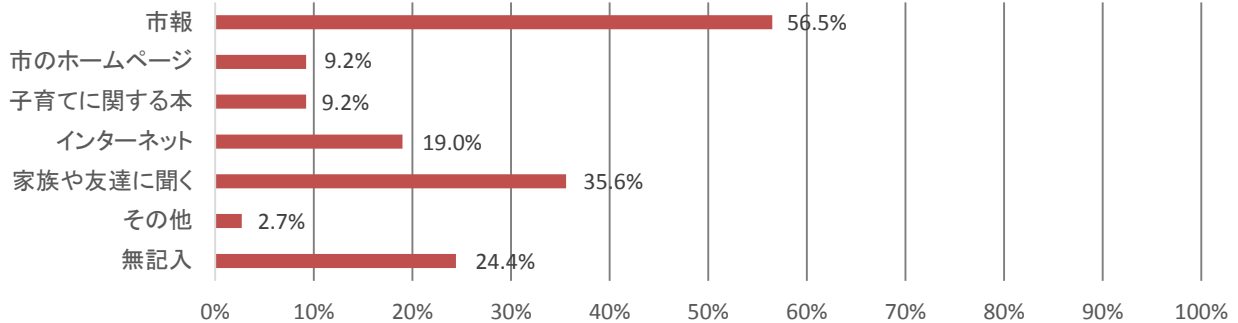
問25 問24で「2、いいえ」と回答した方にお聞きします。  
それはなぜですか。当てはまるものを全て選んでください。



問19にもあるように、子育てタウン情報を知っている方は5.0%と少なく、知っていても利用したことのない方が問24で示されているように51.0%になっています。  
理由としては「ほしい情報がなかった」が38.5%となっています。  
提供する情報の内容をさらに検討する必要があると考えます。

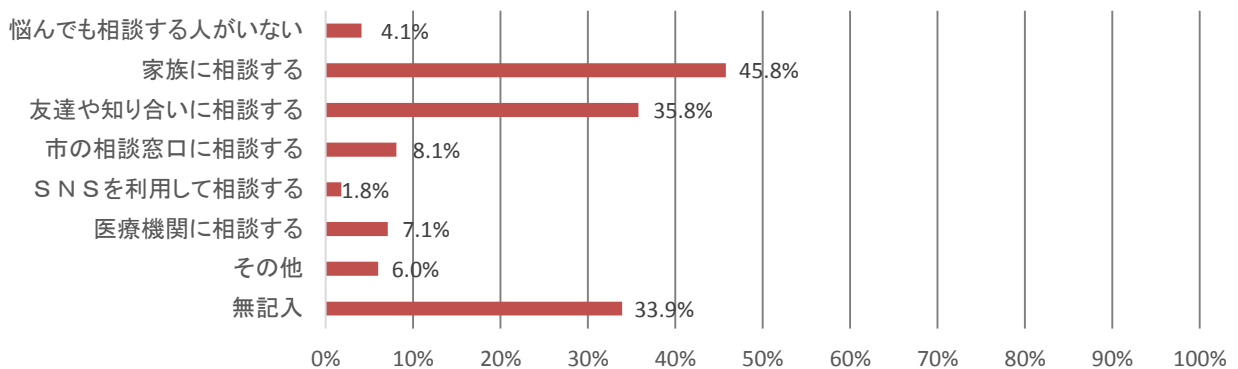
●子育て支援についてお聞きします。

問26 子育てに関する情報は何かから入手しますか。  
当てはまるものを全て選んでください。



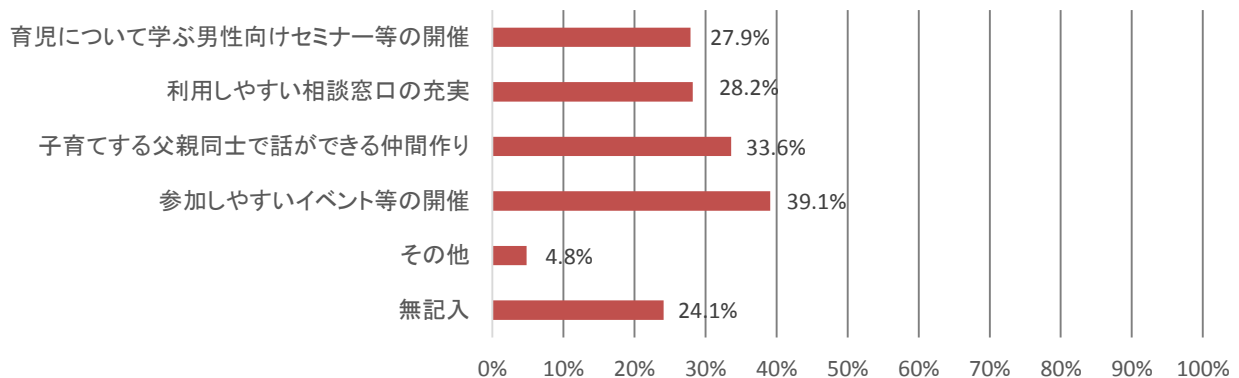
子育てに関する情報は、「市報」56.5%に次いで「家族や友達に聞く」35.6%となっており、市報から情報を得ている方が最も多いことがうかがえます。

問27 子育てに関する悩みや困ったことの相談は誰に（どこに）していますか。  
当てはまるものを全て選んでください。



子育てに関する悩みや困ったときの相談先については、「家族に相談する」45.8%、「友達や知り合いに相談する」35.8%となっており、身近な人に相談していることがうかがえます。一方「悩んでも相談する人がいない」と回答した方が4.1%おり、誰にも相談できずにいる方に対する相談窓口の周知や、相談しやすい体制作りが必要であると考えます。

問28 男性が子育てに参加しやすくするためには、どのような取り組みをしたらよいと思いますか。当てはまるものを全て選んでください。



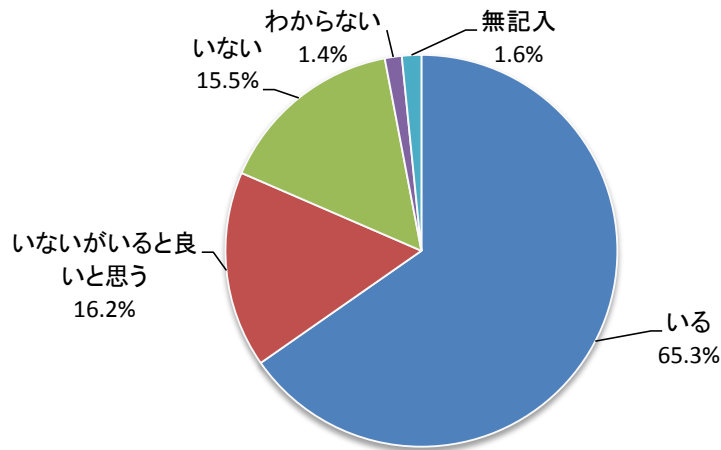
男性が子育てに参加しやすくするためには、「参加しやすいイベント等の開催」が39.1%と最も多く、次いで「子育てする父親同士で話ができる仲間作り」が33.6%となっています。様々な取り組みをすることで、父親の育児参加を期待できることがうかがえます。

また、「その他」では社会や職場の意識改革といった回答もありました。

## 4 地域包括ケアについて

### I 地域医療（かかりつけ医）についてお聞きします

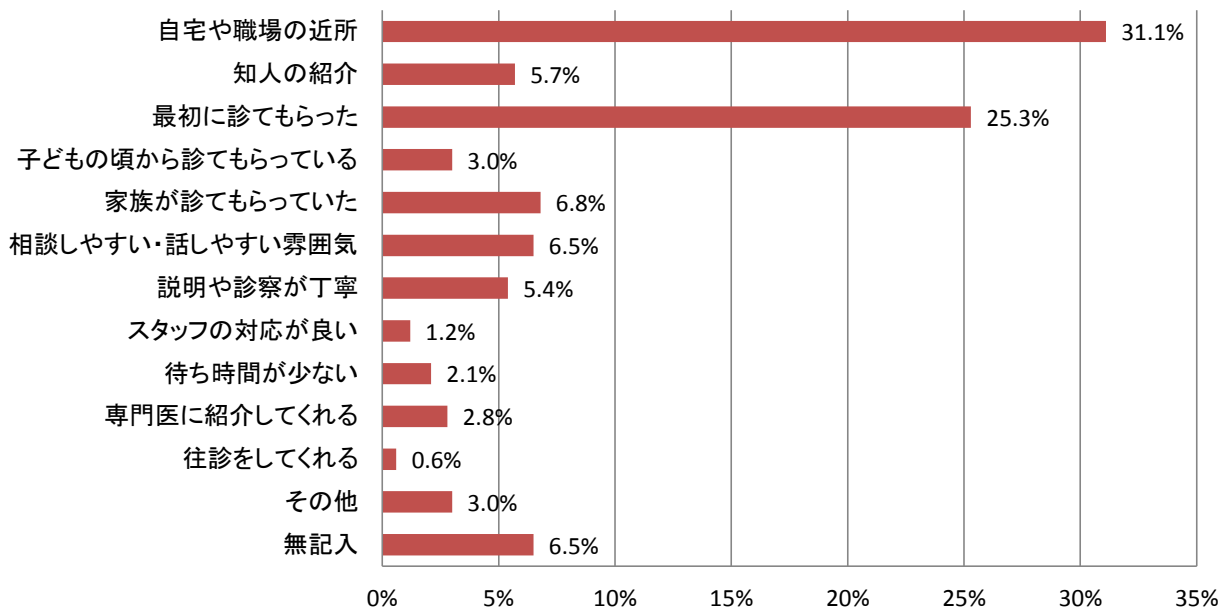
問 29 あなたにはかかりつけ医がいますか。1つ選んでください。



「いる」と答えた方が65.3%となっており、半数以上の市民の方がかかりつけ医を持っていることが分かりました。

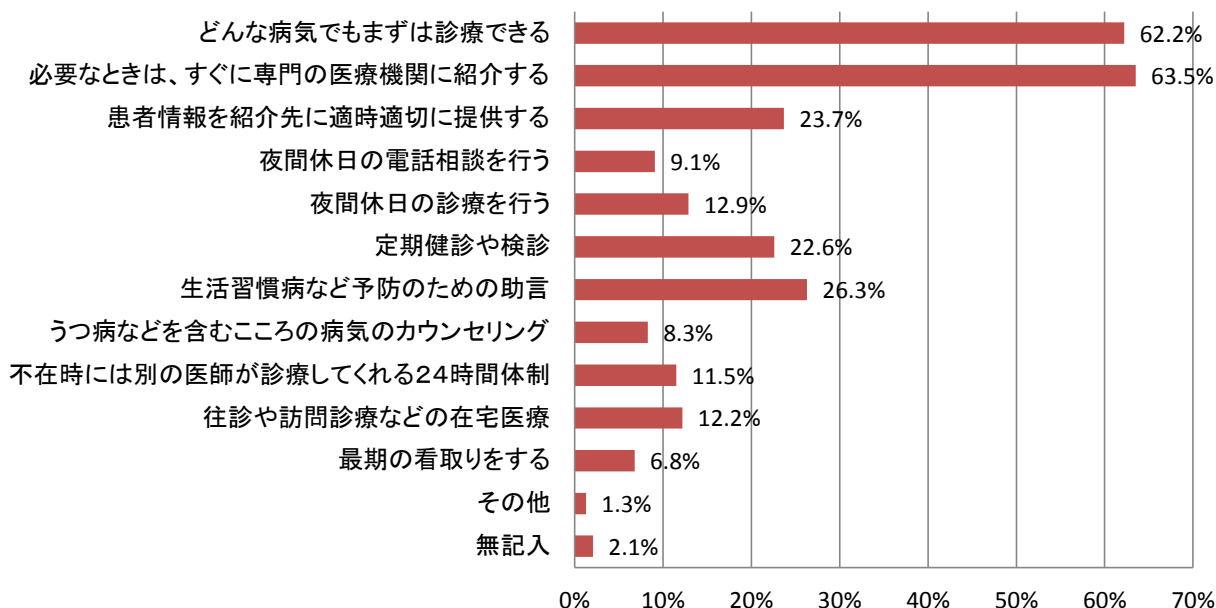
その一方で、「いないが、いると良いと思う」「いない」と答えた方が31.7%となっており、身近な地域で日常的な医療を受けたり、健康の相談等ができる医師として、かかりつけ医を持つことの必要性について、市民の方に分かりやすく普及・定着を図る必要があると考えます。

問 30 問 29 で「1. いる」と回答した方にお聞きします。  
あなたはどのようにしてかかりつけ医を決めましたか。1つ選んでください。



「自宅や職場の近所」と答えた方が31.1%で最も多く、次いで「最初に診てもらった」が25.3%となっており、利便性の良さや初診の印象がかかりつけ医を決める際に重視されている傾向がうかがえます。

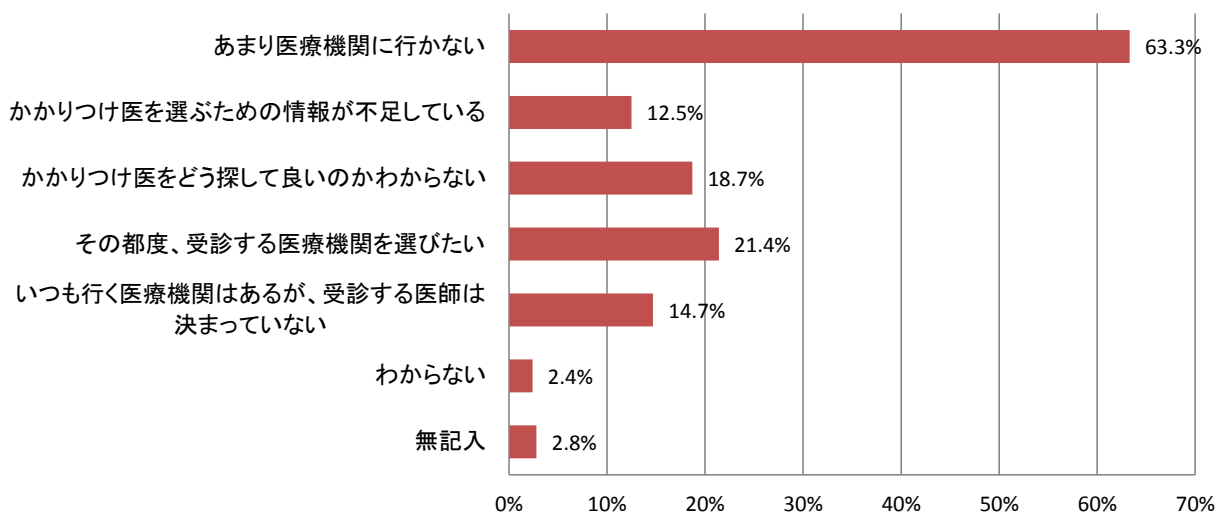
問3 1 同じく、問2 9で「1. いる」と回答した方にお聞きします。  
 あなたはかかりつけ医にどのような医療や体制を望んでいますか。  
 当てはまるものを全て選んでください。



かかりつけ医に望む医療や体制については、「必要なときは、すぐに専門の医療機関に紹介する」と答えた方が63.5%と最も多く、診療所と病院など医療機関相互や、保健・医療・福祉における連携体制の強化が必要であると考えられます。

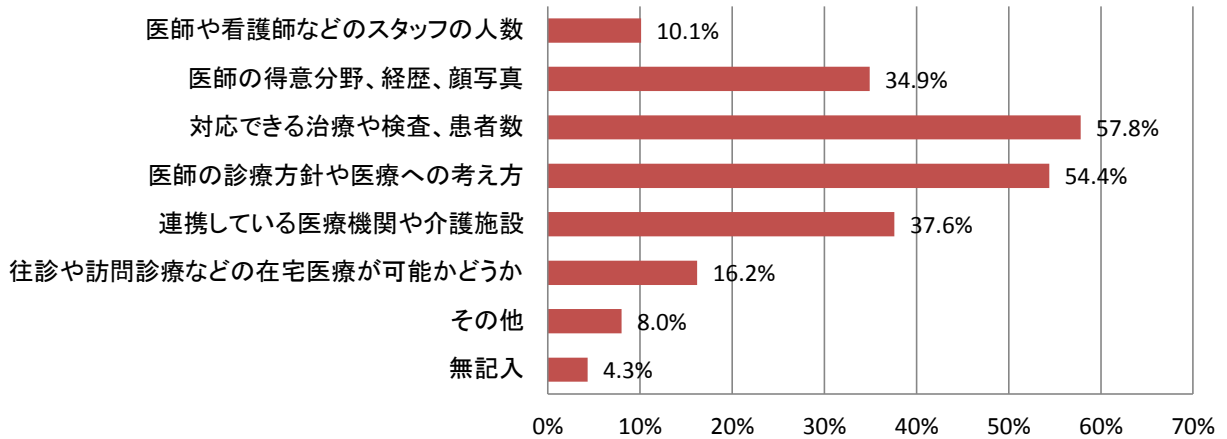
また、「どんな病気でもまずは診療できる」（62.2%）、「生活習慣病など予防のための助言」（26.3%）、「定期健診や検診」（22.6%）という回答も多く、幅広い診療や予防などの健康管理へのニーズが高いことがうかがえます。

問3 2 問2 9で「2. いないがいると良いと思う」「3. いない」と回答した方にお聞きします。  
 あなたにかかりつけ医がいないのはどうしてですか。当てはまるものを全て選んでください。



かかりつけ医がいない理由は、「あまり医療機関に行かない」が63.3%と最も多く、次いで「その都度、受診する医療機関を選びたい」が21.4%となっており、かかりつけ医がいない人の多くが現時点では必要性を感じていないことがうかがえます。

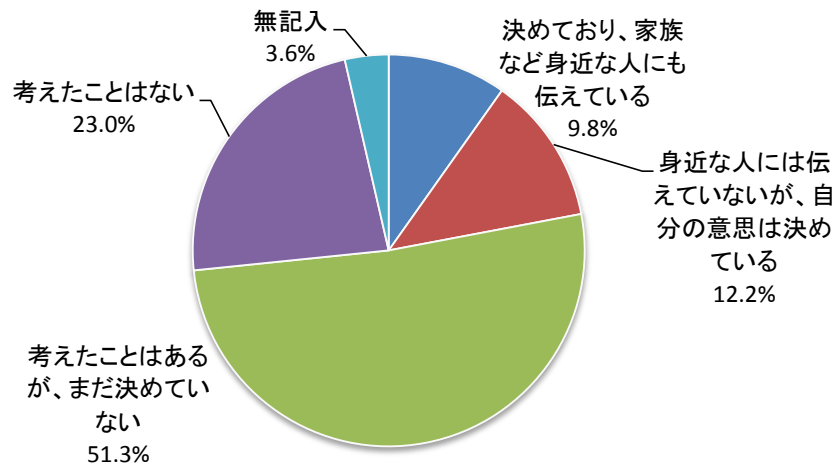
問33 同じく、問29で「2. いないがいると良いと思う」「3. いない」と回答した方にお聞きします。ご自身のかかりつけ医を探す場合、どのような情報が役立つと思いますか。当てはまるものを全て選んでください。



かかりつけ医を探す際に役立つと思う情報については、「対応できる治療や検査、患者数」（57.8%）、「医師の診療方針や医療への考え方」（54.4%）、「連携している医療機関や介護施設」（37.6%）、「医師の得意分野、経歴、顔写真」（34.9%）が上位の回答となっており、このような情報を入手しやすくすることが、かかりつけ医の普及促進につながると考えられます。市報の活用、医療資源リストやマップの作成、ホームページによる情報発信等により、医療機関の持つ医療機能の情報を市民に分かりやすく提供することが必要であると考えます。

## Ⅱ 終末期（人生の最期の迎え方）についてお聞きします

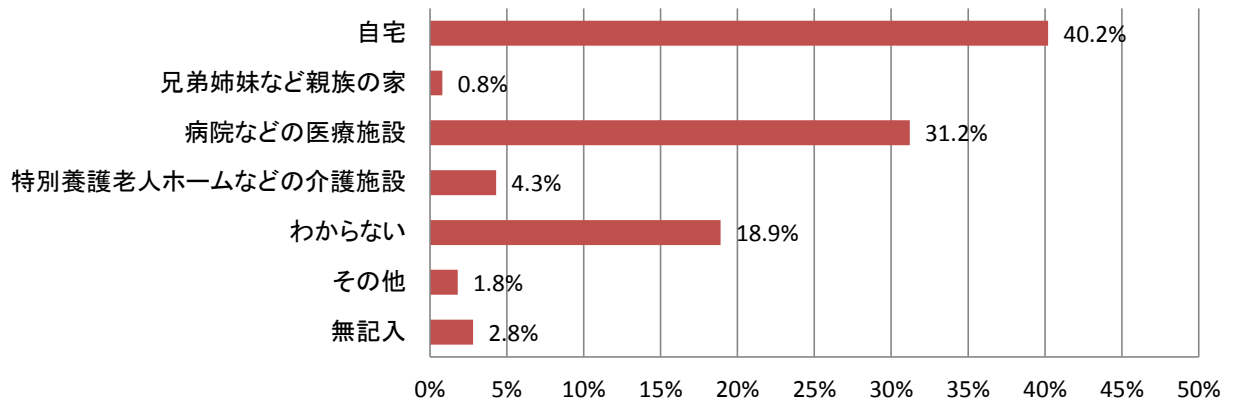
問34 あなたは人生の最期の過ごし方について考えたことがありますか。1つ選んでください。



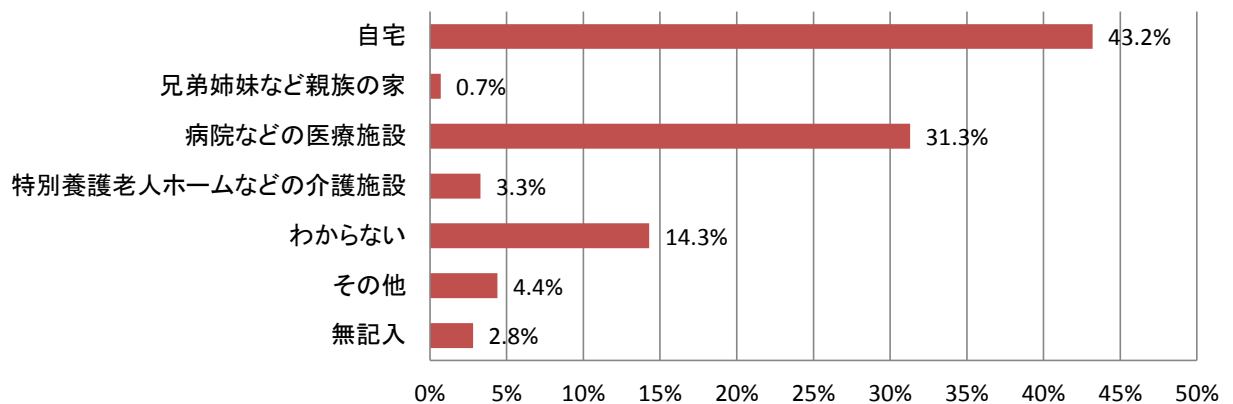
人生の最期の過ごし方について、「考えたことはあるが、まだ決めていない」と答えた方が51.3%と最も多く、「身近な人には伝えていないが、自分の意思は決めている」（12.2%）、「決めており、家族など身近な人にも伝えている」（9.8%）も含めると、市民の4人に3人が人生の最終段階に対する関心を持っていることがうかがえます。

また、その一方で、「考えたことはない」と答えた方が23.0%となっており、それぞれのライフステージに適した情報を提供すること等により、市民が主体的に考えることができる機会を確保することが必要であると考えます。

問35 万一、あなたが治る見込みがない病気になった場合、あなたは最期をどこで迎えたいですか。1つ選んでください。



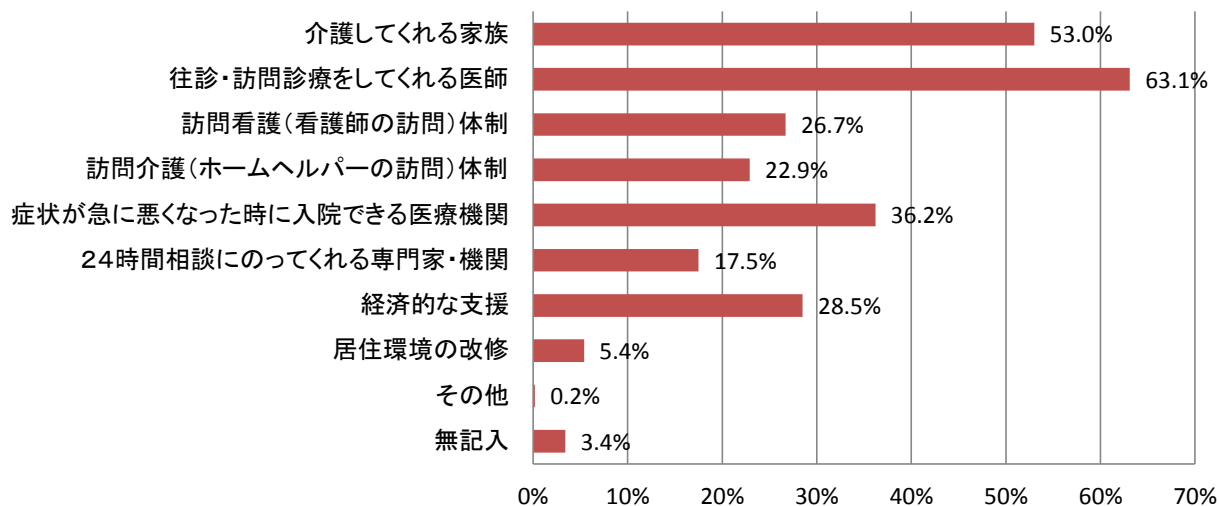
問36 万一、あなたのご家族が治る見込みがない病気になった場合、あなたは最期をどこで迎えさせてあげたいですか。1つ選んでください。



自身についても、家族についても、「自宅」で最期を迎えたい（迎えさせたい）と考えている方が約4割で最も多く、次いで「病院などの医療施設」が約3割となっています。住み慣れた環境でできるだけ長く過ごせるよう、また望む人は自宅での看取りも選択肢になるよう、在宅医療を推進していく必要があると考えます。



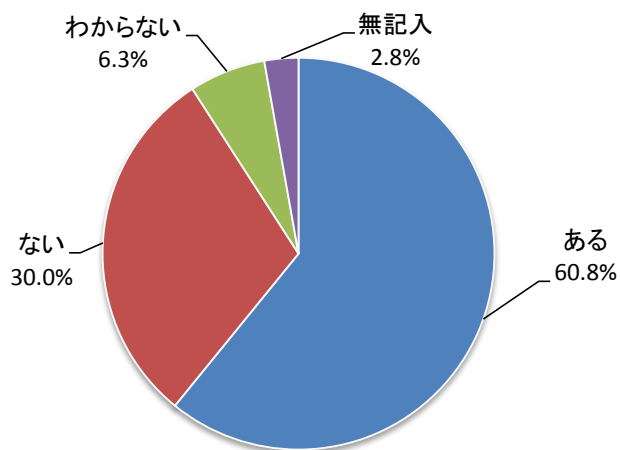
問37 問35で「1. 自宅」と回答した方にお聞きします。  
 自宅で最期まで療養するために必要だと思うことを3つ選んでください。



自宅で最期まで療養するために必要だと思うことは、「往診・訪問診療をしてくれる医師」(63.1%)、「介護してくれる家族」(53.0%)、「症状が急に悪くなった時に入院できる医療機関」(36.2%)が上位の回答となっており、こうしたニーズに応える提供体制の整備が求められていることがうかがえます。

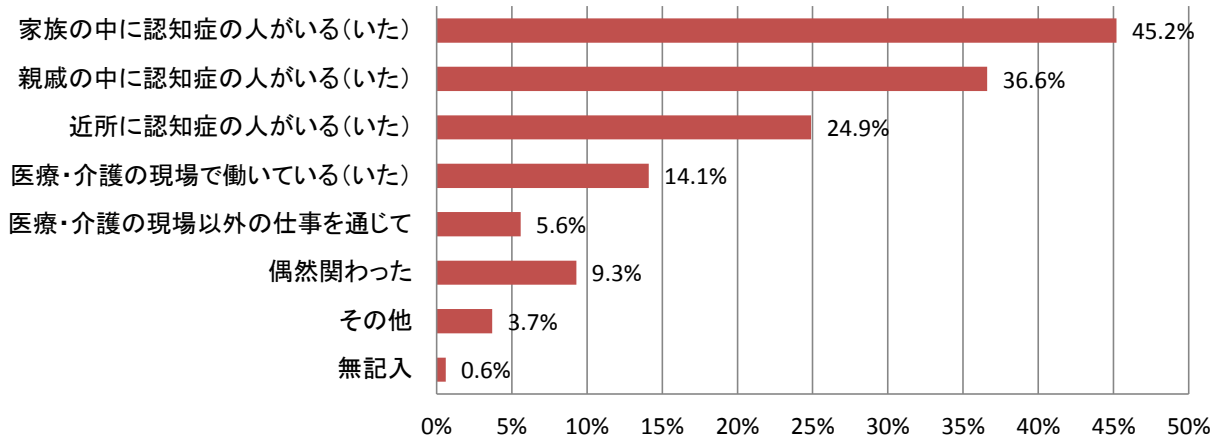
### Ⅲ 認知症についてお聞きします

問38 あなたは今まで認知症の人や認知症と思われる人と会話や声掛けなど関わりを持ったことがありますか。1つ選んでください。



認知症の人との関わりについて、「ある」と答えた方が60.8%となっており、市民の2人に1人は認知症の人や認知症と思われる人と接点があったことが分かりました。

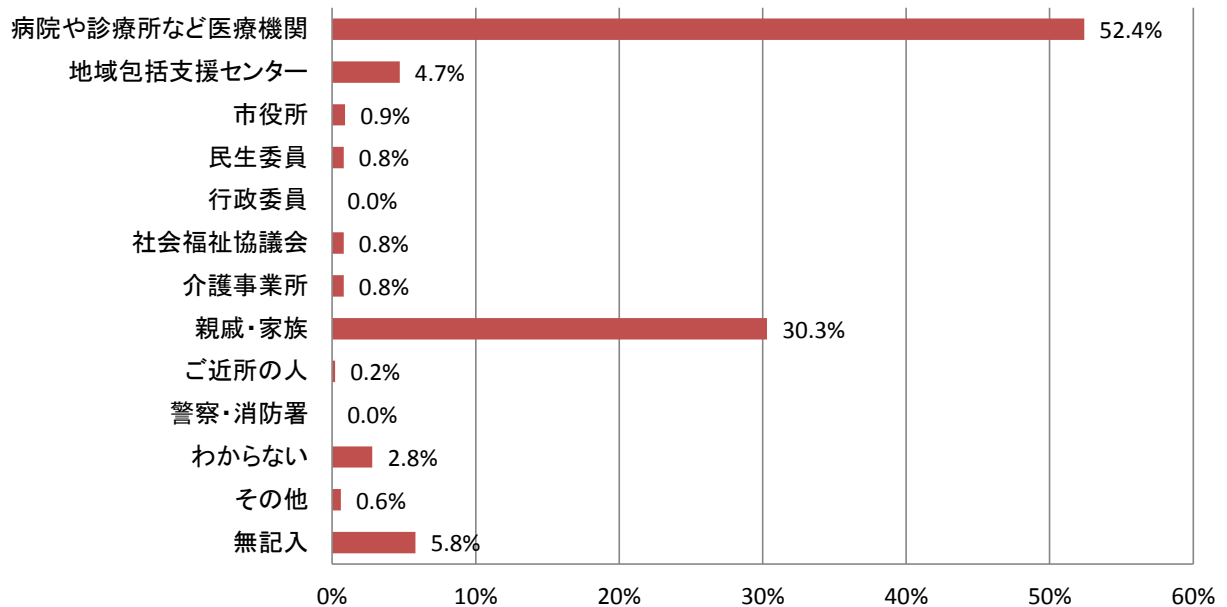
問39 問38で「1. ある」と回答した方にお聞きします。  
 あなたが認知症と思われる人と接した場面について、当てはまるものを全て選んでください。



認知症と思われる人と接した場面について、「家族の中に認知症の人がいる(いた)」が45.2%、「親戚の中に認知症の人がいる(いた)」が36.6%と高く、身内に認知症の人がいる(いた)割合が高いことが分かりました。

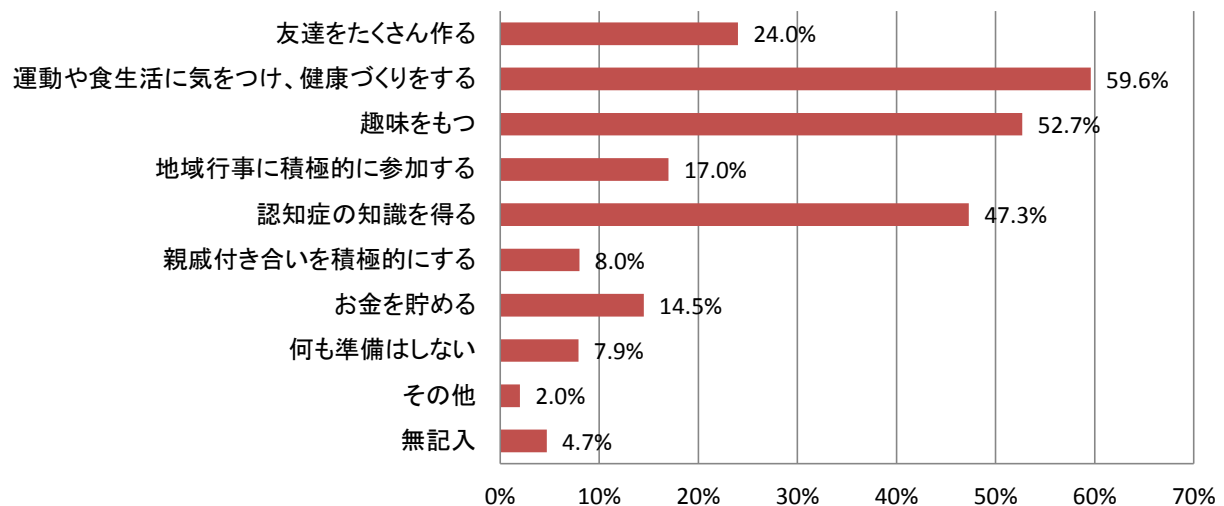
また、次いで「近所に認知症の人がいる(いた)」が24.9%と高くなっており、家族、親戚と合わせると、認知症の人との接点は、普段付き合いのある身近にあることがうかがえます。

問40 あなたご自身やあなたのご家族、知人等が認知症の疑いがあると感じた場合、あなたは最初に誰に相談しますか。1つ選んでください。



最初の相談先について、「病院や診療所など医療機関」と答えた方が52.4%と、他の選択肢に大きく差をつけ最も多くなっています。次いで「親戚・家族」と答えた方が30.3%となっており、医療機関以外の相談先として、身内に相談しようと考えている方が多いことが分かりました。

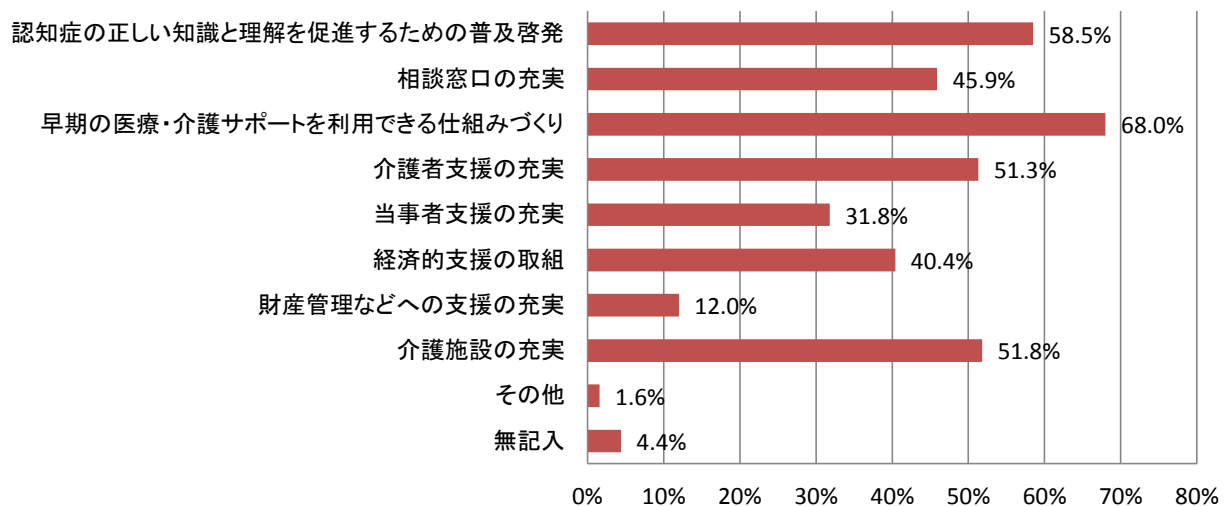
問 4 1 認知症になった時の備えとして、あなたはどんな取り組みをしたいですか。  
当てはまるものを全て選んでください。



認知症になった時の備えとして、「運動や食生活に気をつけ、健康づくりをする」と答えた方が59.6%と最も多く、次いで「趣味をもつ」が52.7%となっており、心身の健康管理をし、悪化しないように気を付けたいと思っている方が多いことがうかがえます。

また、「認知症の知識を得る」と答えた方も47.3%と多く、症状の進行や心構えに対する関心が高いことが分かりました。

問 4 2 今後増加が予想される認知症の人を地域で支える取り組みとして、必要だと思うものを全て選んでください。

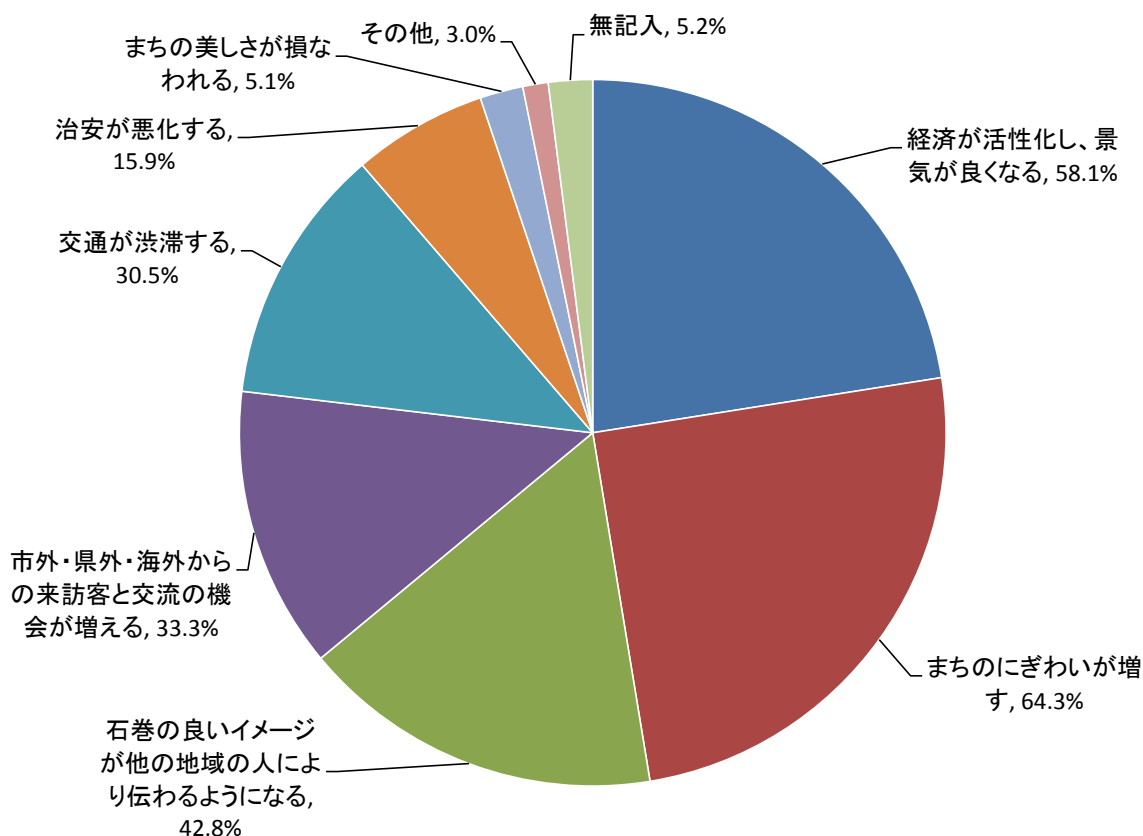


認知症の人を地域で支えるために必要だと思う取り組みとして、最も回答が多かったのは、「早期の医療・介護サポートを利用できる仕組みづくり」で68.0%でした。また、「認知症の正しい知識と理解を促進するための普及啓発」が58.5%で、本人や周囲の理解が大切であると捉えている方が多いことがわかりました。

さらに、「介護施設の充実」が51.8%となっており、自宅で生活できなくなった時の住まいが重視されていることがうかがえます。

## 5 観光に関する意識について

問43 観光客が石巻に多く訪れるようになることで、あなたの生活に変化があるとしたら、どのようなことが思い浮かびますか。当てはまるものを全て選んでください。(○は1つ)

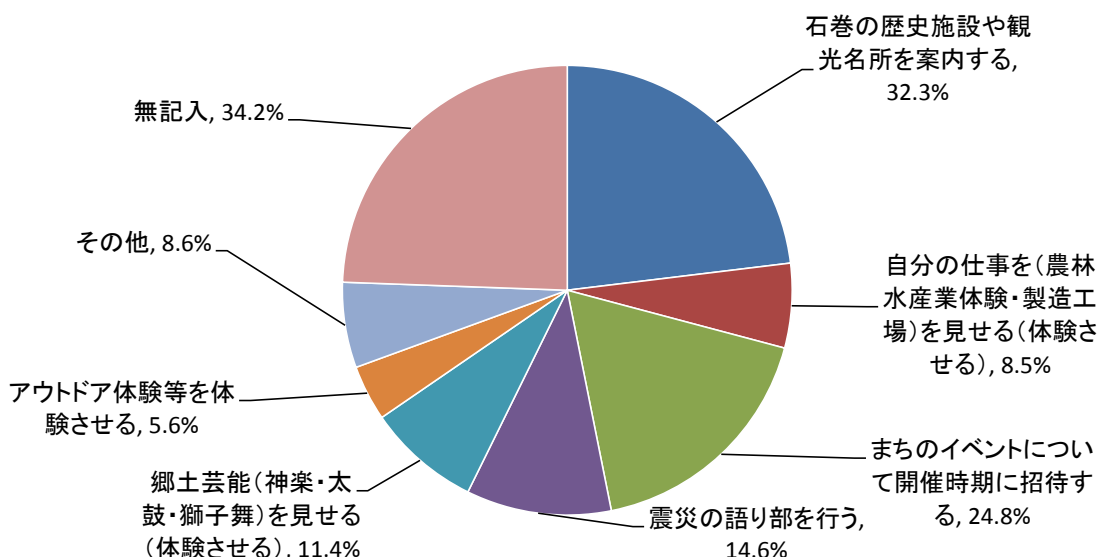


その他 (3.0%) の内容

項目	集計
・良さも悪い面も知ってもらえる 復興の遅れ！海辺の人口流出！	1
・市内のシャッター通りがなくなればよい	2
・観光都市としての自覚・競争心が芽生えるので、良い効果が生まれる。	1
・観光だけにたよらない、産業の発展を考える	1
・石巻の海産物が一番おいしいと世に広まる	1
・治安が悪くなる、交通渋滞が増える	4
・石巻の悪いイメージが伝わる	1
・観光できる場所が少ない、受入体制が未成熟	4
・市中心部は活性する、周りは蚊帳の外になりそう	1
・石巻を伝えるには外国語の習得が必要	1
・特に変化なし	10
・わからない	4
計	31

観光客の増加が及ぼす影響として、交流人口の増加によるにぎわいの創出、地域経済の活性化、交流機会の増加等ポジティブな面のイメージを持っている市民が多いという結果が出ました。しかしながら、交通の渋滞や、治安の悪化、景観を損ねるといった意見も一部見受けられる結果となっています。

問4 4 あなた自身が観光客をおもてなしできる素材はありますか（知っていますか）。  
当てはまるものを全て選んでください。

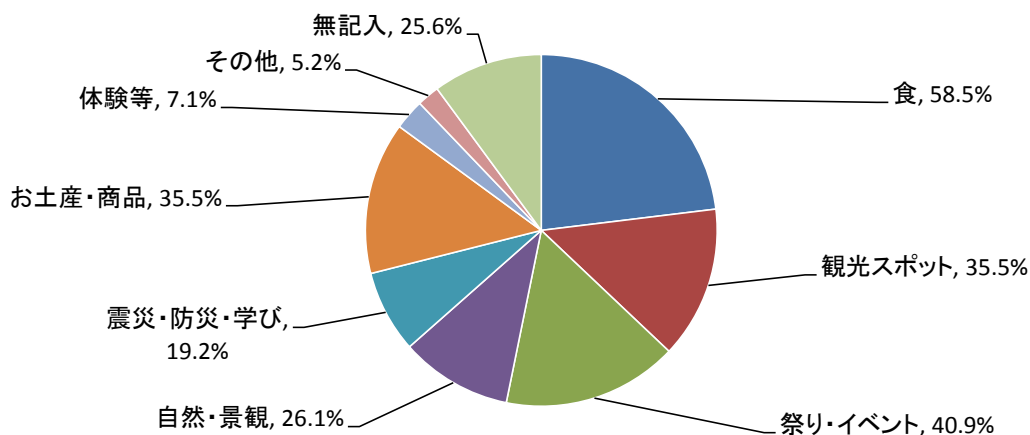


その他 (8.6%) の内容

項目	集計
・資格を活かした体験メニューの指導	1
・言葉が話せる、通訳できる	2
・食事やお酒のお供をする、美味しいものや、お店を紹介する	8
・寺のイベント	1
・自然に触れる	1
・震災の話を聞かせる	1
・観光客受入れの心構えを備えている	1
・人脈作り	1
・特になし	62
計	78

市民ひとりひとりが観光客に対してのおもてなしをする手段を有しているかどうかという設問でしたが、回答総数のうち、石巻市の歴史施設、観光名所の案内またはイベントの開催時期に招待するなどが多数を占める結果となりました。震災以前には見受けられなかったものとして、震災の語り部を行うことが150名(14.6%)回答したことが特徴的な結果となりました。また、無記入が総数の4分の1程度の結果となり、おもてなしの術を持ち合わせていない方も多数いると想像される結果となりました。

問 4 5 あなたは、市外からあなたの友人や知人が訪ねてきたら、石巻の何をおすすめしますか。当てはまるものを全て選んで、具体的に記載してください。



食 (58.5%) の内容

項目	集計
・居酒屋、飲食店	11
・海鮮、お寿司	431
・いしのまき焼きそば	36
・いちご	2
・おいしい食材	11
・かまぼこ	25
・くずかけ	1
・お米	19
・ラーメン	4
・ずんだもち	2
・お菓子	2
・牛タン	2
・日本酒	1
・知らない	1
計	548

観光スポット (35.5%) の内容

項目	集計
・サンファン	72
・石ノ森萬画館	71
・牡鹿半島	7
・シーパルピア女川	1
・つり石神社	1
・はまぐり堂	1
・上品の郷、ふたごの湯	2
・海	6
・金華山	22
・日和山	118
・田代島、マンガアイランド	4
・その他	28
計	333

祭り・イベント (40.9%) の内容

項目	集計
・川開き祭り、花火	363
・はねこ踊り	13
・リボンアートフェスティバル	1
・サンファン祭り	1
・トリコローレ音楽祭	1
・旭山	1
・鯨祭り	3
・神楽	4
・大漁まつり	1
・その他	11
計	399

自然・景観（26.1%）の内容

項目	集計
・牡鹿半島、コバルトライン	35
・サンファン	3
・トヤケ森山	4
・旭山公園	3
・海	18
・金華山	14
・上品山	11
・日和山	105
・北上川	10
・牧山	8
・網地島、田代島	9
・その他	27
計	247

震災・防災・学び（19.2%）の内容

項目	集計
・大川小	21
・南浜町、門脇小	29
・日和山	25
・被災地全般	37
・かたりべ、被災の状況	42
・まちづくり情報交流館などの施設	4
・その他	12
計	170

お土産・商品（35.5%）の内容

項目	集計
・海産物、水産加工品	320
・石巻こけし	1
・石巻やきそば	4
・地酒	6
・桃太郎だんご	2
・米	6
・雄勝すずり	1
・その他	4
計	344

体験等（7.1%）の内容

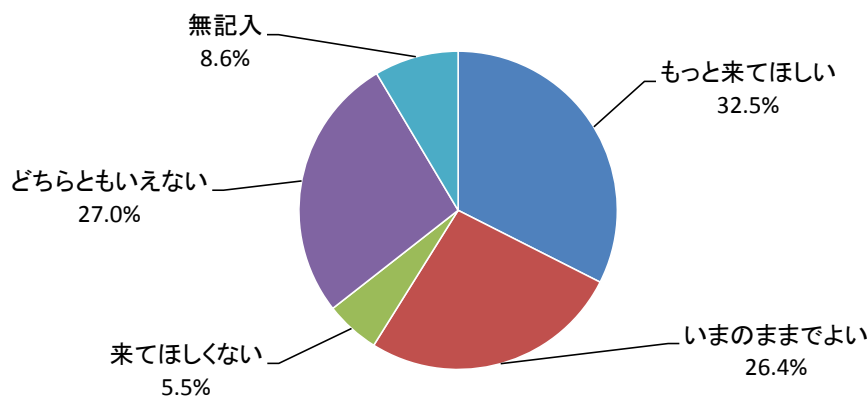
項目	集計
・震災の体験談	19
・漁業体験、農業体験	10
・カヤック、釣り、アクティビティ	18
・いしのまきに恋して	1
・手作り体験メニュー	4
・工場見学	1
・その他	10
計	63

その他（5.2%）の内容

項目	集計
・オススメなし、わからない	27
・不明回答	2
・その他	19
計	48

市外からの友人知人に対して勧める石巻の特色・特徴は何かという設問でしたが、「食」が一番多く、その次に多かったのが「観光スポット」と「お土産・商品」という結果でした。世界三大漁場のひとつ金華山沖を有する本市の特徴が出た傾向が見えました。また、問44に引き続き「震災・防災・学び」が198名（19.2%）の回答ということで、震災後の石巻の特徴を表す結果となりました。

問46 あなたは、今より多くの外国人観光客に石巻にきてほしいと思いますか。  
当てはまるものを1つ選んでください。

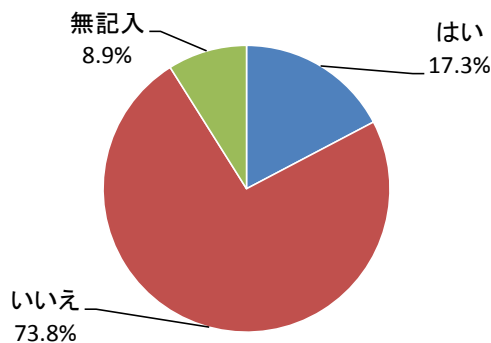


「もっと来てほしい」が全体の32.5%、「今のままでよい」と「来てほしくない」、「どちらともいえない」を合わせた割合が58.9%となり、どちらかと言うと外国人観光客の受け入れに対しては消極的な回答が上回る結果となりました。

問47 問46で選択した回答の理由をお聞かせください

- 「もっと来てほしい」
  - ・経済が活性化する。
  - ・グローバル時代であり、外人と違和感なく交流すべきである
  - ・海外の人々にも震災の復興とつめあとを見てほしい
- 「今のままでよい」
  - ・あまり外国人観光客を見かけない
  - ・あまり多くなると治安が悪くなるかと思うので
- 「来てほしくない」
  - ・マナーと治安が不安
  - ・まだ受入れが整っていない
  - ・おもてなしが十分にできない
  - ・外国語がわからないから
- 「どちらともいえない」
  - ・よく分からないため
  - ・外国人といってもいろいろ

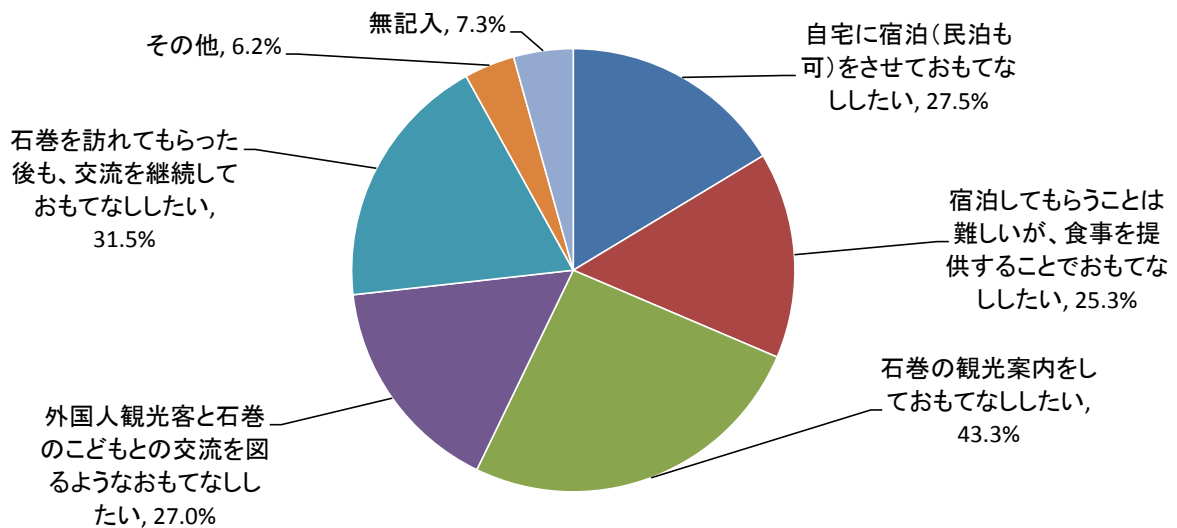
問48 あなたは、石巻市を訪れた外国人観光客を、あなた自身でおもてなししたいと思いますか。



本市を訪れた外国人を、自身でおもてなししたいと考えるかという設問ですが、「いいえ」が73.8%と大部分を占める結果となり、市民個人が外国人観光客をおもてなししたいという気持ちが少ない結果が出ました。

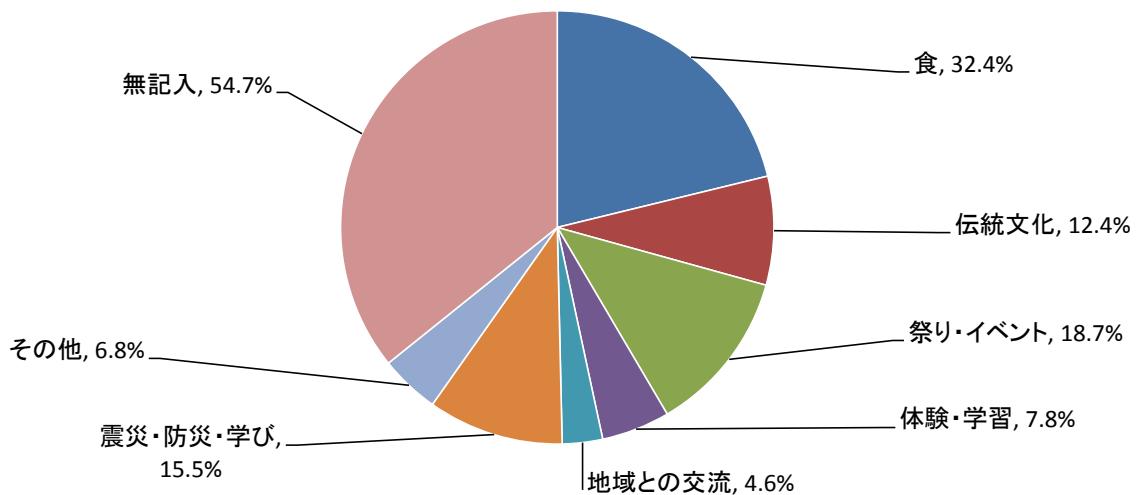


問49 問48で「1はい」を選択した方にお聞きします。  
 そのおもてなしの方法について当てはまるものを全て選んでください。



問48で「はい」を選択した方にその方法を問う設問ですが、「石巻の観光案内」が一番多い回答で、「交流を継続する」、「自宅に宿泊させる」が次いで多い回答となりました。どの項目も万遍なく回答があり、外国人旅行者へのおもてなし手法については多様な提供が可能と思われる結果が出ました。

問50 外国人観光客に対して、石巻のどのようなところが魅力・強みになると思いますか。又はどんなものを観光資源として発信していく必要があると思いますか。当てはまるものを全て選んで、具体的に記載してください。



食 (32.4%) の内容

項目	集計
・英語のメニュー作成	1
・海鮮、お寿司	246
・いしのまき焼きそば	5
・米、農産物	9
・和食	10
・ハラル食を提供できるようにする	1
・知らない	1
・その他	2
計	275

伝統文化（12.4%）の内容

項目	集計
・みこし、獅子振り、神楽、太鼓	45
・サンファン	7
・硯	9
・どんと祭り	1
・はねこおどり	6
・着物、下駄、浴衣等の日本文化	4
・花火	2
・祭り	5
・その他	13
計	92

祭り・イベント（18.7%）の内容

項目	集計
・川開き祭り、花火	140
・はねこ踊り	6
・リボンアートフェスティバル	3
・サンファン祭り	4
・ツールド東北	1
・神楽、獅子舞、太鼓	2
・その他	14
・大漁まつり	1
計	171

体験・学習（7.8%）の内容

項目	集計
・震災の体験談	11
・漁業体験、農業体験	36
・カヤック、釣り、アクティビティ	3
・いしのまきに恋して	1
・手作り体験メニュー	3
・歴史、文化、観光体験	16
・その他	2
計	72

地域との交流（4.6%）の内容

項目	集計
・被災者との交流	7
・漁業体験、農業体験	10
・盆踊り	2
・地域イベントへの参加	7
・年配者や子どもとの交流	4
・その他	6
計	36

震災・防災・学び（15.5%）の内容

項目	集計
・大川小	8
・南浜町、門脇小	3
・日和山	3
・被災地全般	19
・かたりべ、被災の状況	68
・まちづくり情報交流館などの施設	5
・その他	5
・外国語の対応・体制	2
計	113

その他（6.8%）の内容

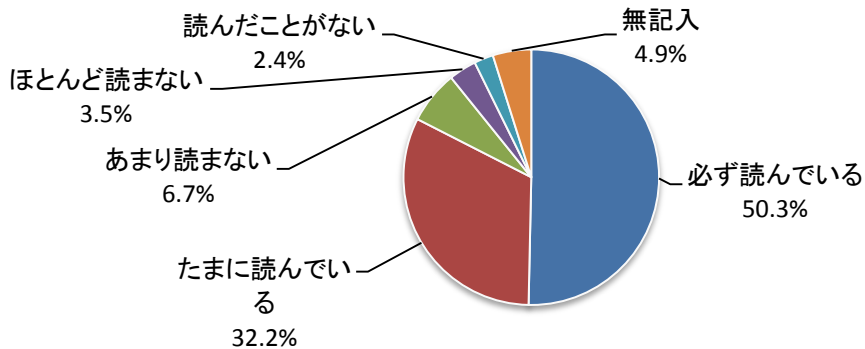
項目	集計
・オススメなし、わからない	32
・インターネット（SNS含）を通して世界中の人々への情報発信	2
・スポーツ	1
・仮設住宅	1
・その他	29
	計 65

外国人観光客に対して石巻の魅力・強みについての設問ですが、一番多かった回答が「食」ということで、問4 5同様世界三大漁場のひとつ金華山沖を有する本市の特徴が出た傾向が見えました。また、「震災・防災・学び」が160名（15.5%）で3番目に多い回答があり、外国人観光客の誘客に対して効果的なコンテンツのひとつであるという結果が見えました。

## 6 広報事業について

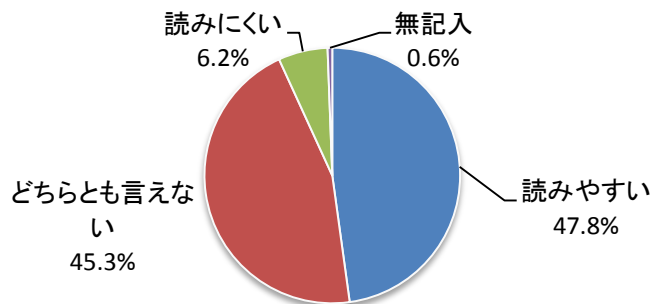
I 「市報いしのまき」についてお聞きます。

問51 「市報いしのまき」を読んでいますか。1つ選んでください。



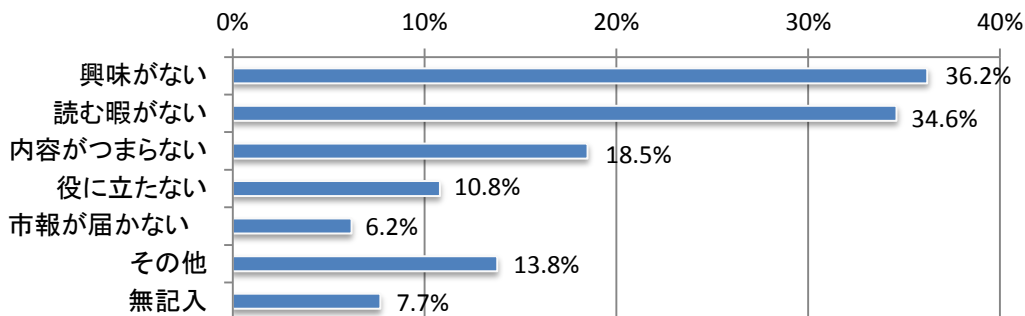
「必ず読んでいる」と「たまに読んでいる」を合わせると8割以上が市報を目にしていることになり、市政への関心と積極的に情報を取り入れようとしていることがうかがえます。

問52 問51で「1.必ず読んでいる」「2.たまに読んでいる」と回答した方にお聞きます。「市報いしのまき」は読みやすいですか。1つ選んでください。



「読みやすい（47.8%）」が最も多いものの、過半数に満たない結果となっていることから、さらに読みやすい紙面作りが必要であると考えられます。

問53 問51で「3.あまり読まない」「4.ほとんど読まない」「5.読んだことがない」と回答した方にお聞きます。その理由はなんですか。当てはまるものを全て選んでください。



「興味がない（36.2%）」が最も多く、次いで「読む暇がない（34.6%）」が多い結果となりました。興味が沸き読みたくなるような内容の掲載及び見せ方を心がけ、また、行政情報等については、時間をかけずに読むことができる簡潔な記事となるように原稿の精査を十分に行う必要があると考えられます。

## 第5章 資料

### 1 東日本大震災に伴う復旧・復興事業について

問2 問1で「はい」と答えた方に質問します。  
(復旧・復興が)進んでいると感じている主な事業は何ですか。

- ・全て、少しずつ進んでると思う。
- ・特に何かということはないですが、まだまだ時間はかかると思いますが、少しずつ色んなことが復興してきていると思います。
- ・震災時と比べると、普通に生活できている。
- ・復興住宅の建設(複数)
- ・農業関係が復旧したと思う。
- ・段々と、田んぼや畑が元に戻ってきている。
- ・今までの景観と違うから。でも、海も見えなくなり悲しくなります。

問3 問1で「いいえ」と答えた方に質問します。  
(復旧・復興が)遅れていると感じている主な事業は何ですか。

- ・インフラ整備、復旧・復興の考え方やアピール。ほかの市町に対して遅れている。今後の石巻の未来が不安
- ・石巻市全体の復興が他と比べて、遅れている。(複数)
- ・国へのはたきかけが不足(もっと積極的に)
- ・復旧は進んでいるが、復興は進んでいない
- ・人口の流出
- ・町内に人がいない
- ・転出者を呼び戻す政策
- ・地域間の格差が広がっている(複数)
- ・旧桃生郡の復興の遅れを感じる
- ・半島方面の復興が遅れているように思われます
- ・雄勝地区の復興の遅れ
- ・旧市内の生活の為、商店が不備である。
- ・居住地区だけを見ても進んでいるとはいえない。川堀の整備、側溝の悪臭
- ・以前、住んでいた所が、まったく進んでいない
- ・塩富町赤堀川近くに住んでいます。工事もまだに行きません。津波来ないか台風来ると、毎日心配しています。一日も早く安心出来る様に早急な工事をお願いします。前だおして工事行って下さい 川があふれない様毎日祈っています。
- ・障がい者のつとめる所が少ない。特に車がない者は大変
- ・退職者、高齢者の働く場がない
- ・学校保育所の施設整備
- ・万石浦小学校がおばけ校舎になっています
- ・湊に医療機関がありません
- ・コンサートや展示をする場所が旧市内にないので、見に行く機会がない
- ・市民会館などの文化センターの早期完成。遊楽館、ビッグバンは遠いです
- ・ゲートボール場
- ・危険地域の跡地の買い取り早く
- ・まだ仮設がある。集約できない
- ・漁港関係の施設
- ・公には感じますが個人的には老人は動く事が出来ず、役所へ行くのも困難です。その為、雨どいや外壁の殆んどが乾く事が無く如時迄住めるのか、いつ異変が起きるのか、気にかかります。
- ・子どもたちの遊び場が皆無に等しい
- ・東日本大震災以前と比べ、町がよりよくなったと感じられない。
- ・被災した建物の解体がされていない
- ・避難経路にも使う高盛道路やその他の避難道路
- ・わからない(複数)

問4 石巻市の将来の再生・発展のために望むまちづくりについてお聞かせください。

- ・旧市内とその他の地区の行政その他の差がないまちづくり
- ・行政がもっと市民よりであること。出来ないなら民間へ行政の委託をふやす。行政は、市民をまったく考えていないから。
- ・JR石巻駅周りで、バイパスと街中を連絡出来る、車も人も通行出来る道路に。石巻旧市街地の車走行しにくい。信号がバラバラ、案内標識少ない。街中が、車走行しやすくなれば、人も増えてくるだろうに。
- ・冠水の無い街づくり、路線の充実
- ・まず、でこぼこの道路を整備。高齢者がこわがって歩きたくなくなるようです。
- ・歩くのに大変になったので、バス等の台数増やしてほしい。
- ・歩道がない
- ・自転車でも安心できる道
- ・網地島への夏季のフェリーの便を増やしてほしい。始発（9時）にも定員オーバーでのれず、11時の便まで待つ事も
- ・郊外から市内へ車で出入りしやすい道路の整備
- ・市営住宅の建設、現在の市営住宅は古い
- ・宅地整備。山を切り崩すなど、土地の有効活用が必要と感じる。若い世代が住みたくなる都市計画づくりを。
- ・1000人以上入る施設
- ・早急に大きなコンサートホールを作ってほしい。
- ・渡波にも市民会館的なものがほしい
- ・図書館の整備・充実 放課後子ども教室のようなものの充実
- ・カフェなどを併設した多目的図書館があればいい
- ・プロスポーツの競技施設、サッカー、野球、テニスそれぞれ専用で。水泳、陸上など+屋内スポーツ施設。さらに大駐車場併設。プロや大学チームなどの合宿ができればなお良い+コンサート会場に転用できるようにすればよい⇒中高生との交流もはかれる。若者を活性化させる
- ・総合運動公園の充実（陸上競技場の整備）
- ・健康関連施設、娯楽室、談話室
- ・魚市場方面に 魚の駅を作る
- ・収入源となる事業、カジノ、競馬、競輪などの集客事業。壊れかけの船（サンファン）や萬画館では収入にならないし、活性しない。
- ・高齢者を対象としたスポーツ大会やクラブ体力増進施設、シルバー野球大会、ソフトボール大会、陸上競技
- ・イベントなどを魚市場などで行い、シャトルバスを3か所くらいから出す。
- ・孫たちと一緒に釣りなどできる場所があれば
- ・障害者、高齢者、子供が当然である町
- ・障害福祉もプラスしてほしい
- ・保育所等子育てを支援する環境とその施設の整備
- ・保健師と医療機関の連結
- ・働く場の創出、通勤できない人のために、石巻市内ばかり、（何でもですが）郡部にも目を向けて住みやすい、働きやすい、合併してよかったと思われる街づくりを考えてもらいたい。※特に高齢者には病院、買い物必需品の購入ができない市外は全てに目を向けられていない。
- ・若い人が定住できる働く場所、住居
- ・新企業の導入及び、石巻中心以外の観光の完備
- ・企業誘致・地震を生かした観光産業の構築、人と金を集める
- ・大型施設だけでない商業の場
- ・市内に人が多く来る場所がほしい
- ・一人、ひとりの自己意識の改革
- ・学校教育の充実：学力低下、不登校、いじめ等、教育問題が多いのが、本市の現状である。教育は国家百年の大計である。
- ・観光立市としての個別なスタンドプレーとまらないようなまちづくり
- ・企業が労働法を遵守すること
- ・祈念公園での集客
- ・旧市内よりほかの地域の再生および復旧に重点を置いた石巻市！！
- ・建物や公園などの物理的なものより石巻に暮らす人々の精神的な復興、安定。できればもう一度ふるさとに暮らしたい（家が建てられない地区に指定されているがやはりそこには住みたい）
- ・桜を多く植えて下さい。人が集まります
- ・子供らが住みやすいまちづくり
- ・市民税の減税
- ・次世代の子供等に代償を支払わせない自信を持って引き継げるまちづくり
- ・石巻は水産品が主力だったのに、石巻だったら、これ！という目玉がない。市場の建物だけ立派で活気がない！特産品を作る
- ・積極的な移住を推進する事業整備
- ・未来を考え、育成のできるまち
- ・立町を区画整理して中心部に集客する
- ・わからない

## 2 男女共同参画について

問8 家庭での育児や家事は、誰の役割と思いますか。

- ・80歳過ぎたら、できるものがやればいい
- ・それぞれの家族構成、事情による。(複数)
- ・どちらか出来る方がすればいい。祖父母も参加(複数)
- ・どちらでもない。出来るようにやるのがBest
- ・育児は両親、家事は家族
- ・家族が全員で協力して行うべき(複数)
- ・外で働いていない方(男でも女でもよい)
- ・共働きであればお互いにする
- ・決めつけるものではない。共同作業です。ただ、女性でなければ、男性でなければということもあります。
- ・私半分・祖母半分
- ・時間の間を見て
- ・職業的に1日1時間ほどしか子供とふれあえないので その中でできる事は全てやる。
- ・男は外で働き、女は家庭を守るという仕組みを全うできる方は何人いますか？
- ・夫はそれを手伝う!!(程度は知らない)
- ・父は父の役目、個人個人別
- ・役割と考える事がよくないと思う。

問10 女性が働くことについて、あなたはどのようにお考えですか。

- ・したい人はすればいい。家にいたい人はいればよい(複数)
- ・ずっと働き続けられればよいと思うが幼い子供がいれば難しい。
- ・その家族の状況によって決めればよいと思う(複数)
- ・その女性の意思を尊重すればよい(複数)
- ・それぞれの家庭の事情(複数)
- ・それぞれの考えで選択できること
- ・どちらでもOK
- ・なぜ、こういう質問がでるのかわからない。女性蔑視
- ・やむを得ず働く場合もあると思います。女性だからとかではなく
- ・育休後に働く
- ・育児や家事を手伝ったり助ける人がいるかいないかによる
- ・育児を優先したいが生活の為に働く
- ・家族の内容で違う、働ける環境であればした方がよい
- ・家庭の経済状況により働かなければならない方が多いと思う。(複数)
- ・家庭環境的に許されるなら多少働いた方が精神衛生上良
- ・家庭状況、個人の考えがあるため、こうすればよいというのはない
- ・環境によって働ける人は働ける方がよい
- ・環境によると思う(複数)
- ・経済力の問題だと思います
- ・結婚を機に仕事を辞め、子作り、育児に専念後、こどもが小学2年生になったら、仕事を再開。
- ・互いに苦にならない程度
- ・幸せの感じ方は人それぞれなので、一概に言えない
- ・産休、育休をもらい再び働く
- ・子どもがある無し関わらず働きたいときに働くのがよい
- ・子どもが生まれる前の仕事に戻れるか、再び働き始めるとき、別の仕事でもよいかで変わる。変わるの嫌なら働き続けるしかない
- ・子どものしつけが一番
- ・子供さんを見て預ける場所、見てくれる人がいらっしやるなら安心して働けると思う。
- ・自らの責任と信念において生活や行動に支障が出る場合には必要不必要の判断が必要
- ・収入第一主義で女性が子育てをすれば社会的に歪みがかかるから、女性の資質でケースバイケース。
- ・女性が働くこと、育児に専念することを自由に選択できるのがよい
- ・女性も男性も一人の一人人間として、その本人自身がどうしたいかが大切。周りが一方的に決める事ではないと思う。
- ・女性も働かないと食べていけないから働いている
- ・職種による。
- ・生きることの一部。あとは人の選択次第。
- ・石巻の賃金の相場では、共働きでないと経済的に生活ができない
- ・多用性男女共に認める
- ・男性の収入が十分であれば女性は、働かなくても良い
- ・働かないと生活できない(複数)
- ・働き続けられる体制ができていますか？
- ・働く時間を調整できるなら続ける。もしくは無理なら育児が一段落したら再び働く

- ・働ける状況であれば働いても良いと思う。(複数)
- ・夫の収入にもよるが、自分が働きたい仕事であれば続けることができたほうがよい
- ・夫の収入によって。女性が働くことはよいと思う
- ・夫婦で働かないで生活が維持出来る環境になるのか？(地元企業で)
- ・夫婦の話し合い、収入による
- ・本人の意思を尊重すればいいと思う。(複数)

**問11 あなたは、女性が出産後も離職せずに同じ職場で働き続けるために、家庭・社会・職場において必要なことは何だと思えますか。**

- ・3歳の壁問題の解決。3歳から就学時までの市の施設がない。(市の幼稚園は4歳から)
- ・お金
- ・この間になぜ介護という言葉が出てくるのか理解できない
- ・一定の人数の会社は保育所的なものを用意する
- ・子どもが病気しても預け先がないので、病児保育のある施設を設けてほしい
- ・子どもは母親の愛が必要。離職せず、子供との時間も取れるような社会になるよう子どもの時から教えていくしかない。
- ・子どもを育てるということへの熟考の時間。永遠なる議論もできる時間。
- ・子供との時間が大切
- ・取りやすい育児休暇
- ・状況に応じた税制優遇措置 e t c
- ・職員の人数を増やし、給料も上げる
- ・職場で人的に余裕がもてる 人員の確保
- ・職場の支援
- ・制度だけ整っても使いにくくは無意味。社会的に「取れる」権利でなければならない
- ・男女双方の育児、介護を両立する同僚の互助
- ・男性が育児に参加できるような社会のしくみ。雰囲気。(男性も育休を取りたいと思うがとりづらい)
- ・男性にも育児休暇や協力の誠意をみせて欲しい
- ・賃金を上げ終身雇用に戻す。非正規社員制度をなくす
- ・老若男女の意識改革

**問12 政治や企業などにおいて、政策や方針を決定する立場や指導的地位に女性が少ないという状況があります。あなたは、その理由は何だと思えますか。**

- ・能力、才能、行動力がないから
- ・その立場になりたい人、そのものが少ない(複数)
- ・それが常識だと思っているから。
- ・トップの地位につきたいと思う女性は少ない。ほとんどは結婚して家庭の仕事を選ぶ。経済的に足りない分だけパートに出る。それが普通として育っている
- ・もともと女性は受け身である
- ・家庭・子育て・仕事をバランスよくこなしていける働き方になっていないため
- ・家庭がある
- ・家庭における「母親の役割」にかわりがないから
- ・古い考えの男性をいつまでも審議会等へ入れさせる、システムまたはおしつけシステム
- ・高齢の政治家が多すぎる
- ・根本的な意識改革がされていないため
- ・仕事に割ける時間の割合が男性に比べ少ない事と、それに対する無意識的なリスクヘッジ
- ・社会環境
- ・社会的地位よりも生活の充実に価値がある
- ・周りの男性の理解
- ・周囲の偏見
- ・出産や育児がキャリアアップの弊害になる企業の制度が是正されないから
- ・女性のすべてが働きたがっているわけではない
- ・女性のレベルアップが大切
- ・女性は家庭を守っていく期間が長い為、指導的地位に専念できることが男性より少ない。
- ・女性は感情論で決めるところがあるから
- ・新しいことにチャレンジしないから
- ・人口を増やすことが大切。育児や子どもにかかるお金を減らすこと。そこに税金を投入せよ
- ・昔から日本に存在しているものだからだと思う。男尊女卑思想のような古い考え方にとらわれている人が多いと思う。特に年長者
- ・男が馬鹿
- ・男尊女卑の考え方をする人が多いから(複数)
- ・能力がない。適性がない。
- ・判断力が低いため
- ・門戸自体が狭いだけだと思う
- ・論理的思考力は、概して女性よりも男性の方があ。経営戦略を考える場合、論理的思考力は必須であると思う。



問13 あなたは今後、男性が家事・子育て・介護・地域活動などに積極的に参画していくためには、どのようなことが特に必要だと思いますか。

- ・おもいやり教育
- ・したければすればいい
- ・プロパガンダは、マスコミも巻き込んでそういう社会の有り様を常に伝え、浸透させていくこと
- ・やるのが当然の教育が必要不可欠
- ・環境の問題ではなく、男女問わず自身の意識の改革
- ・社会全体の意識改革
- ・企業の省力化により長期の休暇は無理
- ・企業の理解（複数）
- ・帰宅が遅いし、休みも不規則。働くのに平等な社会になってほしい
- ・個人の気持ちの問題もあると思う。
- ・互いの理解
- ・参画するための職場の理解の向上（複数）
- ・市政の改善が必要
- ・社会全体として、（国として）、男性が家事などに参加することについて、啓発、促進、浸透をはかる必要があると感じる。
- ・女性がやるのが当たり前だという決めつけをなくすこと。（複数）
- ・女性の方が家事がへただから教育が必要
- ・職場の理解をえられる法制化または罰則化がなければ無理でしょう。市独自の法則整備
- ・人を育てるとは何か考えること
- ・世の中の理解、会社の理解、うわべだけの政策はやめる
- ・生活にゆとりが必要
- ・男性が出産休暇、介護休暇取れるようになったが、会社の協力がなければ病気休暇でさえなかなか取れない。家事や子育てに参加する為に何かを犠牲にしなければいけない。
- ・男性の家事等の積極的推進について、社会全体の理解がもう少し進むこと
- ・男性は1家を守り働きづめでそんな余裕がない
- ・当人たちより親世代の人たちの意識を変える必要がある
- ・夫婦の話し合い、女性が男性にしてほしいことを求めすぎない
- ・有休がとりづらい環境にあるため、積極的に使えるようにしてほしい
- ・幼少期からの教育
- ・労働時間ではなく仕事の質で人事評価を受けられ休暇取得や残業なしの帰宅によって昇進昇給に不利益が生じないこと

問15 あなたは、セクシャル・ハラスメントまたはDV（配偶者等からの暴力）被害にあった時の相談窓口（ア～カ）を知っていますか。ア～カのそれぞれについてお答えください。

- ・みやぎ心のケアセンター
- ・石巻市市民相談センター
- ・弁護士会（複数）
- ・法テラス（複数）
- ・民間団体 イーハート
- ・友人
- ・わからない

問17 男女共同参画社会（※）を実現するために、今後、石巻市はどのようなことに特に力を入れていくべきだと思いますか。

- ・すべてが必要 むだなものは、ない
- ・共働きになる可能性があることを前提に、家族みんなで受けられる個別セミナーや講座。男性も参加して当然の環境を行政が作るべきだ
- ・子どもの医療費無料化や小児医療、産科の充実
- ・子どもの時から教える
- ・子育てのための税金を投入せよ。
- ・子育て介護などに時間をとることのできる自由度の高い先駆的な労働モデルの構築と実施
- ・市、独自の年金制度を作り、街づくりに運用、発想豊かな市議、市長、市職員求む
- ・市政の改善が必要
- ・市役所の運営の見直し
- ・社会（会社）自体が変わるしかない
- ・若い人たちの正社員化
- ・女性が自ら積極的に参画することがはじまりではないか
- ・石巻市自治体が女性登用等率先垂範する。
- ・全て女性のみ任せるとその結果を考える
- ・誰がやるべき、男女どちらかがやるべきという考えをなくすことがまずは第一だと思う。
- ・男性の意識改革
- ・保育園、小学校など、子供が病気の時でも預かってもらえるしくみ。

### 3 子育て支援について

問19 次の子育て支援事業を知っていますか。

- ・“らいつ”は聞いたことはあるがすべて知らない
- ・子供会
- ・子供食堂
- ・地区の子育てNPO法人に相談したことがある
- ・どこでやっているかわからない
- ・この様な組織が有る事さえわからない
- ・よくわからない
- ・わからない、知らない（複数）
- ・子どもがいないのでわからない（複数）
- ・一番知りたい
- ・若いお母さんに子育ての相談する場所アピールして下さい。虐待が多い

問20 ファミリーサポート事業をどこで知りましたか。当てはまるものを全て選んでください。

- ・たまたま耳にした
- ・業務上 知っていた
- ・子育て支援でのボランティアで
- ・職場（複数）
- ・新聞記事
- ・不明（忘れた）
- ・福祉関係の専門職をしていた

問23 ファミリーサポート事業をどのような時に利用できるとよいと思いますか。

- ・休日の預かり
- ・習い事の送迎
- ・条件なしでいつでも（親が希望する時にいつでも）
- ・転勤で周囲に協力者がいない夫婦が沢山いる。その様な人たちが「利用できる」と思える方法、情報提供をしてほしい。全く知られていないと思います。

問25 子育てタウンを利用したことがないのはなぜですか

- ・まだ利用する機会がない
- ・もう少し子どもが大きくなったら利用したい
- ・結婚しておらず、子どももいない為
- ・子育てが終わったから（複数）
- ・子育て世代でない
- ・私達の子育て時にはなかったから
- ・必要を感じなかった

問26 子育てに関する情報は何かから入手しますか。当てはまるものを全て選んでください。

- ・子育て支援のボランティアをしながら
- ・職場 同僚
- ・大学の講義
- ・自分流
- ・こどもがいない
- ・子育てがおわたったので、関心がない（複数）
- ・必要なし
- ・わからない（複数）

問27 子育てに関する悩みや困ったことの相談は誰に（どこに）していますか。

- ・カウンセラー
- ・育児書を大量に読んで答えを見つける。
- ・家族で相談している
- ・学校の先生に相談
- ・保育園
- ・公共の相談窓口を探す
- ・市の相談窓口相談したいと思っているが、まだしていない
- ・子育て支援センターなどのスタッフ、助産師、保健師（複数）
- ・姉妹
- ・その内容による
- ・自分で考える
- ・あてはまらない
- ・こどもがいない（複数）
- ・しない（複数）
- ・今の所ないです
- ・今は相談される側です
- ・今は二人だけなので、知らない
- ・妻を震災で亡くし、子育てに関してわかりかねる
- ・子どもがある程度の年齢になると相談しづらい
- ・子育てで悩む必要ない。
- ・子育てにかかわる機会がない
- ・子育てに携わらないのでよくわからない
- ・市はちっとも頼りにならない。
- ・専門医などの情報が少ない
- ・相談する必要がない
- ・悩んだことがない
- ・夫は相手にならない
- ・老人の為、家族に相談されない
- ・わからない（複数）

問28 男性が子育てに参加しやすくするためには、どのような取り組みをしたらよいと思いますか。

- ・「育児について学ぶ男性向けセミナー等」を会社で行えば良いと思う。
- ・男女で参加できるセミナー
- ・産婦人科または入籍時のセミナー開催すべき。子と父、父と妻、父と家族、親の責任
- ・夫婦で参加しやすいセミナーなど
- ・父子参加イベント等（日曜日）
- ・子どもの時から教える
- ・小学校の学校教育の頃から、男女共同参画社会のありかたを学び、子育てについても男女平等の意識
- ・父子家庭が母子家庭と同等の補助や支援が受けられる
- ・父親とこどものみ利用可能な場所、施設をまず1か所作ってみる。女性（母親）がいると入りづらいと
- ・男性の意識改革を促すための広報など
- ・男性の職場への理解、協力が得られるような働きかけを行政として行う。
- ・参加できる位の余裕がある職業の収入があれば
- ・ポーズだけでなく、具体的に行動を起こしてくれる職員が欲しい。
- ・あらゆる取組を時間をかけて行うこと
- ・父親の積極性を望む。
- ・男性の子育てに対する意識改革をまずすべき
- ・子育てに対することは自身の意識の問題で、母親と同じ 妊娠から、出産までの間で、病院から夫婦
- ・男性自身の意識と社会等の子育てへの理解（複数）
- ・本人の自覚
- ・社会の理解、企業の理解（複数）
- ・社会全体の意識改革への取り組み
- ・職場の子育て中の男性社員への配慮（残業の軽減、年休の分割取得など）
- ・会社および家庭の環境を改善
- ・会社の理解！母の都合が悪ければ、男性が会社を休めるような体制が必要
- ・平日は仕事のみで費やされる実態。企業への働きかけの工夫をお願いしたい。
- ・労働時間の短縮、職場の意識改革
- ・子育てに参加しやすい労働環境の整備（複数）
- ・接する機会が単純に少ないだけではないか
- ・男性の自由時間の確保
- ・老人の為、家族に相談されない
- ・男性が進んで家事をする事はない家です。
- ・わからない（複数）
- ・なし

## 4 地域包括ケアについて

### I 地域医療(かかりつけ医)についてお聞きします

問30 問29 で「1. いる」と回答した方にお聞きします。  
あなたはどのようにしてかかりつけ医を決めましたか。1つ選んでください。

- ・人間ドッグ受診を期に
- ・日赤からの紹介
- ・老人施設からの紹介
- ・他の医療機関からの紹介（複数）
- ・知人（複数）
- ・一度大きな病気にかかったことがあるため
- ・総合病院に入院した際の主治医で、その後開業した
- ・会社の健康診断で利用
- ・自分の職場が病院
- ・ずっと診てもらっている
- ・知識と人間性重視で
- ・家～職場間にあり、仕事後にいける。
- ・患者一人ひとりを大切にしてくれる先生
- ・休日も受診できる
- ・信用できるため

問31 同じく、問29 で「1. いる」と回答した方にお聞きします。  
あなたはかかりつけ医にどのような医療や体制を望んでいますか。

- ・3分間診療でなく患者の聴きたい質問にも親切に答える。
- ・きちんと話を聞いてほしい。
- ・患者の話を聞いてくれる。選択肢を与えてくれる
- ・市外ですが近くて総合病院のため
- ・診察時間
- ・待ち時間を短くしてほしい。高齢者の病院通う回数が多すぎる
- ・夜間でも見てもらえる。
- ・予約制
- ・特に望んでいない

問32 問29 で「2. いないがいると良いと思う」「3. いない」と回答した方にお聞きします。  
あなたにかかりつけ医がいないのはどうしてですか。当てはまるものを全て選んでください。

- ・いつも行くところがやめてしまった
- ・近くに医療機関が少ない
- ・そんなに親切な先生はいない。
- ・そんなに立派な医者は石巻にいない!薬の押し売りみたいな医者だけ!
- ・今まで受診した中では、信頼できる医者にあわなかった。薬ばかり多くよこして、ちっとも治らず、市販薬の方が効いた。一人の医者が個人の看者をじっくり見てくれるというのはムリだと思います。
- ・同じ医師に診てもらっているが、ゆっくり話せない。一方的で質問できない
- ・15～6年前に日赤で手術をしてからずっと日赤で受診、検査をしている。
- ・日赤に行っていました。あまり相談にならない。例、気のせいですとかの回答。食べすぎではないかとか。
- ・2～3年に1度くらいで行くときはたいてい同じ
- ・赤十字病院へ通院中
- ・かかりつけ医と紹介医の連帯が不足、だから生命に関わった残念です。
- ・症状に応じて行く病院が異なる
- ・職場に近い医療機関を利用している
- ・日本の医者も米国のように2年ごとに更新制にすればレベルが上がると思うのだが、現状は質が良いとは思わない。
- ・病院は決まっても特別なよりにしているわけではない
- ・あまり受診するような病気にならない
- ・健康だから（複数）
- ・昨年関西から来石なので"わからない"
- ・転勤が多い
- ・転入したばかり。転勤族
- ・石巻市に引っ越しばかりだから
- ・常時近くの医院に通院しているがかかりつけ医の定義に合っているか分からない。

問33 同じく、問29で「2. いないがいると良いと思う」「3. いない」と回答した方にお聞きします。ご自身のかかりつけ医を探す場合、どのような情報が役立つと思いますか。

- ・ドクターの客観的な情報
- ・医師や看護師の説明や対応の口コミ（複数）
- ・医師の評判
- ・周りの評判
- ・D r . スタッフの対応
- ・かかりつけ医になってくれる病院
- ・パソコンだけ見ない先生
- ・対応してくれる医師、病院を積極的に紹介してくれる医師
- ・医師が信頼できるかどうか
- ・医師の技術
- ・医師の能力、対応力
- ・医者の人柄
- ・患者への接し方・待ち時間・通院のしやすさ・診療時間（複数）
- ・治療実績（プラスもマイナス点も）
- ・実際に診察を受けてから決める
- ・自分の時間に合うかどうか
- ・知人がいるといやだ
- ・理解していたつもりでも、そうで無い事が多い。病気に対する（患者への責任感と抱負）
- ・ない

## II 終末期（人生の最期の迎え方）についてお聞きします

問35 万一、あなたが治る見込みがない病気になった場合、あなたは最期をどこで迎えたいですか。

- ・ホスピスや緩和ケア施設（複数）
- ・穂高岳
- ・家が望ましいが、家族の負担になるので、病院や施設になってしまうのでは
- ・海外
- ・自分にとって居ごちがよく人間的な所という前提
- ・長女の家
- ・どこでもよい
- ・家族がいればどこでも
- ・自分が一緒にいたいと思う人のそば
- ・大切な人の近く
- ・誰といるかによって場所はどこでも良い
- ・その時の状況
- ・現在の病院では難しいと聞いている。あくまで希望
- ・自殺を考えてしまうかも。
- ・夫を亡くした時点で考えが変わりつつある
- ・まだ、決めていない
- ・選べない

問36 万一、あなたのご家族が治る見込みがない病気になった場合、あなたは最期をどこで迎えさせてあげたいですか。

- ・ホスピスや緩和ケア施設
- ・湖畔
- ・静かに過ごせる特別な施設があるといい！
- ・病気により自宅か医療施設を選択
- ・人によって異なる
- ・その時の状況
- ・本人の意向に沿って決めたい（複数）
- ・本人の希望するところで可能な場所
- ・本人の希望を聞きたい。まだ考えたくありません
- ・本人の好きだった場所（思い出のある）

問37 問35で「1. 自宅」と回答した方にお聞きします。自宅で最期まで療養するために必要だと思うことを3つ選んでください。

- ・項目すべてが必要

### Ⅲ 認知症についてお聞きします

**問39** 問38 で「1. ある」と回答した方にお聞きします。  
あなたが認知症と思われる人と接した場面について、当てはまるものを全て選んでください。

- ・グループホーム、デイサービスに入所している人たち
- ・ボランティアでたまにデイサービス・特養に行く
- ・介護施設でのボランティア
- ・大学のボランティア
- ・介護体験をした際に施設で
- ・学生時に老人ホームに見学へ行ったとき
- ・看護の実習を通じて（複数）
- ・仕事で・職場の研修で
- ・自分もその類に入って来たとき々知る場面あり。人との会話が大切と思う
- ・老人会の会員
- ・友達が認知症になった
- ・親戚
- ・母親（死去）が認知症
- ・実家の父
- ・兄、姉
- ・私が認知症の診断を受ける
- ・本人が該当者

**問40** あなたご自身やあなたのご家族、知人等が認知症の疑いがあると感じた場合、あなたは最初に誰に相談しますか。

- ・ケアマネージャー（複数）
- ・宮城心のケアセンター
- ・私自身認知症の疑いがある事が私自身わかるものでしょうか
- ・相談しない。自分で解決する様に努力する。万策尽きた時に相談します。
- ・民生委員が知っていたが、何一つ助言がなかった。医療機関しか頼れなかった。各機関があり、来たが、アドバイスは社協の方だけだった。結果的には、家族で判断するほかなかった。

**問41** 認知症になった時の備えとして、あなたはどんな取り組みをしたいですか。

- ・ゲートボール
- ・施設に入り、家族の荷を軽くしたい。それには大変お金がかかるので心配
- ・家族や近所の人と良く会話するようにしている
- ・軽い労働をする
- ・畑仕事に精をだす
- ・現在がんで治療中（在宅）自分が体験していることを聞きたい人に話してあげる。
- ・高齢者シェアハウス入居
- ・子供らにまかせる
- ・取り組みをしていない
- ・趣味は37年続けている
- ・身の周りの物を整理する
- ・読書やナンプレ、ナンクロなど空いた時間に行く
- ・認知症になる前の（なった際の）自分の考えをまとめておく
- ・普段から家庭円満になるように努めておく。
- ・友達と会い、腹の底から笑う
- ・友達を作るのはいいけどたくさんはいらない
- ・一人で暮らしているのでわからない
- ・その時になってみないとわからない
- ・わからない（複数）
- ・どうしようもないだろ

問42 今後増加が予想される認知症の人を地域で支える取り組みとして、必要だと思うものを全て選んでください。

- ・いち早く気付けること。素早い対処ができること。寄り添うサポートを望む。当事者も介護者
- ・なんでも、お金は、かかります。
- ・科学者の努力 認知症発症させない為のワクチンの開発 認知症治療の為のサンプルの開発
- ・介護人員がまるで不足状態、早急に法整備をして支援をすべき。
- ・各団体判断で無駄足ばかり要し、予算が足りない、認定から外れているなどでサポートされない。
- ・近隣住民の相互理解
- ・市の検診（認知症）
- ・周囲の理解
- ・身元保証の無い方への入所、入院支援制度の充実
- ・性別や世代に関わらず地域の声かけが出来る環境づくり
- ・認知症で迷子になった場合の地域での理解と保護活動
- ・認知症の人が入れる施設が圧倒的に少ない
- ・認知症を正しく診断し、適切な治療ができる医師 ほとんどそのような医師がいない！
- ・年金で支払することができること
- ・本気になり、自分の事のように各々の分野で支えてあげて下さい。支えて下さい。
- ・老いれば必然と可能性がでてきて、4人に1人の可能性であればガンと同じように、レベルの高いそして人にやさしい医療体制が必要となる。まず人を支える医療体制が必要。早期の医療・介護サポートを利用できる仕組みづくりでも内容を云々したい。

## 6 広報事業について

### 1 「市報いしのまき」についてお聞きします。

問52 問51 で「1. 必ず読んでいる」「2. たまに読んでいる」と回答した方にお聞きします。  
「市報いしのまき」が読みにくい理由

- ・前より読みやすくなった
- ・字が小さい（複数）
- ・字が小さくて、老人には大変です。
- ・字が小さくてどこを知らせたいのか伝わらない
- ・一番よく見る子育てのページが、字が小さいし、ごちゃごちゃして読みにくい。
- ・活字が少し小さい、もう少しカラーのページが増えて欲しい。
- ・内容が多すぎる
- ・字が多く、もっと簡潔にした方がいい
- ・字数が多くピッシリとつまって読みにくい
- ・あんまりこちゃこちゃしていると思う
- ・インデックスや目次をつけてほしい
- ・大事なところは赤枠で囲ってほしい
- ・自分が必要な記事が見つけにくい
- ・少し取材の削減をしたり、テーマ、ポイントを絞ることもよいのかも。何もかもは、読み辛い。
- ・以前の形態がよい
- ・以前のようなA4サイズ？くらいの大きさが良い（複数）
- ・タブロイド判ではなくA4版に。合併前の各町の動向等も載せてほしい
- ・県政だよりのサイズにした方が、読み易いし、保管し易い（以前の方がよかった）（複数）
- ・以前のような冊子がよい。ファイリングしやすかった。今はカラーはうれしいが、以前のイメージが強く、前の広報に戻るものが震災前に戻る気がする。
- ・紙面が大きくなってから、読みにくいし、保存しにくい
- ・いつもありきたりで興味が出るものがない、退屈
- ・いつも内容が同じ
- ・イベントなどは終わってからでなく、その前に
- ・事後のことだけで、事前の広報がない
- ・つまらない行事の紹介ではない
- ・公営住宅、道路等の工事箇所が多いためもあるが図が小さいため解らない部分がある。
- ・構図がよくない
- ・合併後は広範囲なので自分の地域以外は読まないでしまう。編集する人が悪いのではなく自分が悪い
- ・合併前の地区ごとの市報が良い
- ・子どもの写真が多い。以前の市報の方が役に立っし、見やすい
- ・市議会の事を多くのせて下さい
- ・写真が見えない。
- ・縦書きと横書きが混在しているので読みにくい
- ・新聞社（商業新聞）の社員が作っているから
- ・震災後つまらなくなった
- ・説明しにくい
- ・東松島は細かく、わかりやすいものが多い
- ・読みにくいというより、自分の住居地域の情報が少ないので利活用がしにくい
- ・読むところが多すぎて、つい見ない。
- ・漠然としている。お知らせが多い。
- ・一言で言えば・マクロ視点
- ・スタンスがまだ決まっていないのでは？
- ・読者の心にしみこむような文章や内容にして下さい
- ・復興関連の頁など、ムダなスペースがある場合がある。月1回の発行（1冊にまとめて増頁）でも良いのではないかと？

問53 問51 で「3. あまり読まない」「4. ほとんど読まない」「5. 読んだことがない」と回答した方にお聞きします。その理由はなんですか。

- ・「市報いしのまき」を知らなかった。（複数）
- ・HPで確認している
- ・もっと市民が必ず見ようと思えるアピール・工夫をせよ！今のままだと足りないしゴミになるだけ
- ・家族が読んでるので、家族に聞く。
- ・興味のある所、イベントや、当番医など斜め読み
- ・今の形が嫌いだ
- ・市外で働いているし、自分にとって今のところ必要な情報がない
- ・施設にいますので、読めない（字が見えない）
- ・存在を忘れる
- ・読みづらい
- ・内容がよくわからない
- ・必要な情報はネットでとれる
- ・文字が小さくてよめない、細い字を読むのが大変
- ・目が悪い為、読むのがむずかしい（複数）





## 平成28年度 石巻市市民意識調査

石巻市では、市民の皆様の声をお聞きする広聴事業の一つとして、「市民意識調査」を実施いたします。

今回の調査については、満18歳以上の市民の中から無作為に抽出した2,700人の方をお願いしています。

なお、ご回答いただいた内容は、無記名の上、全て統計的に処理いたしますので、個々の回答内容や個人情報が特定されることは一切ございません。是非率直なご意見をお聞かせください。

調査結果は、今後の市政運営の参考とさせていただきますので、趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

平成28年9月15日

石巻市長 亀山 紘 (公印省略)

### 1 記入について

(1) ご回答は、封筒宛名のご本人をお願いします（ご本人が記入できない場合は、ご本人のお考えを家族の方等が記入しても構いません。）。

(2) 設問に対するお答えは、当てはまる番号を○印で囲んでください。また、○印の数は1つだけ選んでいただく設問と複数選んでいただく設問がありますのでご注意ください。

なお、回答の中で「その他」を選ばれた場合等、( \_\_\_\_ ) には具体的な内容を記入してください。

### 2 回答期限

ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒（切手は不要です。）に入れて、平成28年10月7日（金）までにご投函ください。

### 3 調査テーマ

- |           |          |         |
|-----------|----------|---------|
| ① 復旧・復興事業 | ② 男女共同参画 | ③ 子育て支援 |
| ④ 地域包括ケア  | ⑤ 観光     | ⑥ 広報事業  |

### 4 問合せ先

石巻市総務部秘書広報課 ☎95-1111 (内線4024、4025)

❁ あなたご自身のことについておたずねします

ア 性別

1. 男性                      2. 女性

イ 年齢

1. 18～29歳              2. 30～39歳              3. 40～49歳  
4. 50～59歳              5. 60～69歳              6. 70～79歳  
7. 80歳以上

ウ 結婚

1. している（あなたの配偶者は、1. 就業している    2. 就業していない）  
2. していない

エ 世帯構成

1. ひとり暮らし  
2. 夫婦のみの世帯で、共に65歳以上  
3. 夫婦のみの世帯で、1人が65歳以上  
4. 夫婦のみの世帯（いずれも65歳以下）  
5. 夫婦と子ども（18歳以下）世帯  
6. 夫婦と子ども（18歳以上）世帯  
7. 3世代世帯  
8. 4世代世帯  
9. その他（具体的に：\_\_\_\_\_）

オ 同居の子ども

1. いない  
2. いる  
    人数 \_\_\_\_\_人  
    年齢    1. 0～3歳（\_\_\_\_人）    2. 未就学児（\_\_\_\_人）    3. 小学生（\_\_\_\_人）  
            4. 中学生（\_\_\_\_人）    5. 高校生以上（\_\_\_\_人）

カ 居住地域

1. 石巻地区              2. 湊・渡波地区              3. 稲井地区              4. 荻浜・田代地区  
5. 蛇田地区              6. 河北地区                  7. 雄勝地区              8. 河南地区  
9. 桃生地区              10. 北上地区                  11. 牡鹿地区

キ 現在のお住まいの状況

1. 自宅（持家）    2. 借家（アパート）    3. 仮設住宅    4. みなし仮設住宅  
5. 公営住宅（市営、県営等）    6. 復興公営住宅    7. その他

ク 職業

1. 農林水産業（自営業）    2. 商工サービス業（自営業）  
3. 自由業（開業医など）    4. 農林水産業（家族従業者）  
5. 商工サービス業（家族従業者）    6. 自由業（家族従業者）  
7. 正社員・正職員    8. 派遣・契約社員    9. パート・アルバイト  
10. 団体職員    11. 公務員    12. 家事専業    13. 学生    14. 無職  
15. その他（具体的に：\_\_\_\_\_）

## 1 東日本大震災に伴う復旧・復興事業について

問1 石巻市の復旧・復興は、進んでいると感じていますか。1つ選んでください。

1. はい      2. いいえ

問2 問1で「1. はい」と答えた方に質問します。

進んでいると感じている主な事業は何ですか。当てはまるものを全て選んでください。

1. 住宅再建
2. 堤防、道路等の基盤整備
3. 学校、保育所等の施設整備
4. 医療体制の再構築
5. 総合支所、公民館等の施設整備
6. 交流や憩いの場となる公園整備
7. 産業の再生・雇用の創出
8. 地域コミュニティの再構築
9. 公共交通機関の整備
10. その他（具体的に：\_\_\_\_\_）

問3 問1で「2. いいえ」と答えた方に質問します。

遅れていると感じている主な事業は何ですか。当てはまるものを全て選んでください。

1. 住宅再建
2. 堤防、道路等の基盤整備
3. 学校、保育所等の施設整備
4. 医療体制の再構築
5. 総合支所、公民館等の施設整備
6. 交流や憩いの場となる公園整備
7. 産業の再生・雇用の創出
8. 地域コミュニティの再構築
9. 公共交通機関の整備
10. その他（具体的に：\_\_\_\_\_）

問4 石巻市の将来の再生・発展のために望むまちづくりについてお聞かせください。  
特に重要と思うものを5つ選んでください。

1. 計画された道路網の整備
2. 魅力的な集客力のある中心部商店街の再生
3. 子どもから大人まで楽しめる多目的広場
4. こころ安らぐ憩いの公園・緑地
5. 身近な医療施設
6. 高齢者にも優しいバリアフリー化
7. 安全で安心できる防災体制
8. 充実した教育の場と文化施設
9. 市内で多くの方が働く場の創出
10. 市内を循環する乗り降りしやすく、環境にやさしい公共交通機関
11. 太陽光発電や風力発電、バイオマスなどの自然エネルギーの活用
12. 互いに助け合う地域コミュニティの形成
13. 介護・医療が優先整備された医療・福祉モデル地区
14. 電力需要を調整する次世代送電網の導入など先駆的なまちづくり
15. 歴史や文化を有する美しい景観の再生
16. 中瀬などウォーターフロント周辺への新たな観光・集客施設の整備
17. 北上運河や松林など美しい景観の再生
18. その他（具体的に：\_\_\_\_\_）

## 2 男女共同参画について

「男女共同参画」についてお聞きします。

問5 あなたは、「男女共同参画社会」という言葉を知っていますか。(○は1つ)

1. 内容も知っている      2. 言葉は聞いたことがある      3. 全く知らない

問6 「男は外で働き、女は家庭を守るべき」という考え方についてどう思いますか。(○は1つ)

1. 賛成      2. どちらかと言えば賛成      3. どちらかと言えば反対      4. 反対  
5. わからない

問7 あなたの1日の家事(介護・看護・育児含む)時間はどのくらいですか。(○は1つ)

1. 30分未満      2. 30分～1時間未満      3. 1時間～2時間未満  
4. 2時間～3時間未満      5. 3時間～4時間未満      6. 4時間以上

問8 家庭での育児や家事は、誰の役割とと思いますか。(○は1つ)

1. 妻の役割  
2. 基本的には妻の役割であり、夫はそれを手伝う程度  
3. 夫も妻も同様に行う  
4. 基本的には夫の役割であり、妻はそれを手伝う程度  
5. 夫の役割  
6. どちらか、できる方がすればいい  
7. わからない  
8. その他(具体的に: \_\_\_\_\_)

問9 あなたは、男女の地位について、どちらが優遇されていると思いますか。ア～カのそれぞれについてお答えください。(それぞれ○は1つ)

	男性	どちらかと言えば男性	平等	どちらかと言えば女性	女性	わからない
ア 家庭生活では	1	2	3	4	5	6
イ 職場では	1	2	3	4	5	6
ウ 学校教育の場では	1	2	3	4	5	6
エ 町内会・地域では	1	2	3	4	5	6
オ 政治の場では	1	2	3	4	5	6
カ 社会全体では	1	2	3	4	5	6

問 10 女性が働くことについて、あなたはどのようにお考えですか。(○は1つ)

1. 子どもができて、ずっと働き続ける方がよい
2. 子どもができたら仕事をやめ、育児が一段落したら再び働く方がよい
3. 子どもができたら仕事をやめ、家事・育児に専念する方がよい
4. 結婚を機会に仕事をやめ、家事・育児に専念する方がよい
5. 女性は働かない方がよい
6. わからない
7. その他 ( \_\_\_\_\_ )

問 11 あなたは、女性が出産後も離職せずに同じ職場で働き続けるために、家庭・社会・職場において必要なことは何だと思えますか。

(特に当てはまると思うものを3つまで○)

1. 保育所や学童クラブなど、子どもを預けられる環境の整備
2. 家事、育児、介護支援サービス等の充実
3. 男性の家事参加への理解・意識改革
4. 女性が働き続けることへの周囲の理解
5. 女性が働き続けることへの女性自身の意識改革
6. 男女双方の長時間労働の改善を含めた働き方の改善
7. 職場における育児・介護との両立支援制度の充実
8. 短期間勤務制度や在宅勤務制度などの導入
9. 育児や介護による仕事への制約を理由とした昇進などへの不利益な取扱いの禁止
10. 特にない
11. わからない
12. その他 ( \_\_\_\_\_ )

問 12 政治や企業などにおいて、政策や方針を決定する立場や指導的地位に女性が少ないという状況があります。あなたは、その理由は何だと思えますか。

(特に当てはまると思うものを3つまで○)

【※石巻市の審議会・委員会等への女性委員の割合 25.5% (H28.4 現在) 目標値：40%】

1. 男性優位の組織運営になっているため
2. 家族の支援や協力が得られないため
3. 女性の積極性が十分でないため (男性の方が積極性があるため)
4. 女性の人材育成や能力を向上させる機会が不十分なため
5. 女性のロールモデル (働き方や生き方の見本となる存在) が少ないため
6. わからない
7. その他 ( \_\_\_\_\_ )

問 13 あなたは今後、男性が家事・子育て・介護・地域活動などに積極的に参画していくためには、どのようなことが特に必要だと思いますか。  
(特に当てはまると思うものを3つまで○)

1. 男性が家事などに参加することについて、男性自身の抵抗感をなくすこと
2. 男性が家事などに参加することについて、女性の抵抗感をなくすこと
3. 労働時間短縮や休暇制度の充実を進めること
4. 男性が家事などの技能を高められるよう、講習会や情報提供を行うこと
5. 仕事と生活の両立等の問題について、男性が相談しやすい窓口を設けること
6. 家事などを男女で分担するような、しつけや育て方をすること
7. 特に必要なことはない
8. わからない
9. その他 ( \_\_\_\_\_ )

問 14 あなたは、DV（配偶者等からの暴力）の内容について正しく理解していますか。(○は1つ)

【※DVの種類・身体的暴力、精神的暴力、性的暴力、社会的暴力、経済的暴力】

1. 内容について、5種類ともすべて理解している
2. 内容について、一部は理解している
3. 言葉は聞いたことがあるが、内容はわからない
4. 全く知らない

問 15 あなたは、セクシャル・ハラスメントまたはDV（配偶者等からの暴力）被害にあった時の相談窓口（ア～カ）を知っていますか。ア～カのそれぞれについてお答えください。(それぞれ○は1つ)

また、ア～カ以外の相談窓口を知っている方は、その他の欄にご記入ください。

	名称も支援内容も知っている	名称は聞いたことがある	全く知らない
ア 石巻警察署	1	2	3
イ 石巻市市民相談センター	1	2	3
ウ 石巻市虐待防止センター	1	2	3
エ 宮城県東部保健福祉事務所	1	2	3
オ 宮城県女性相談センター	1	2	3
カ みやぎ男女共同参画相談室	1	2	3

その他 (相談窓口名称を記入)

問 16 東日本大震災時、男女のニーズの違いを踏まえた対策が十分に行われなかったという問題がありました。今後の災害に備えて、「性別による違い」に配慮した取り組みはどの程度必要だと思いますか。ア～キのそれぞれについてお答えください。（それぞれ○は1つ）

	とても必要だと思う	どちらかと言えども必要だと思う	どちらかと言えども必要ないと思う	全く必要ないと思う	わからない
ア 防災計画の策定の場に男女がともに参画する	1	2	3	4	5
イ 町内会や地域の自主防災組織の女性リーダーを増やす	1	2	3	4	5
ウ 避難所の運営マニュアルに男女双方の視点を反映させる	1	2	3	4	5
エ 避難所運営の責任者に男女がともに加わる	1	2	3	4	5
オ 男女のニーズの違いに応じた相談や情報提供を行う	1	2	3	4	5
カ 男女の違いに配慮した救援医療や健康支援を行う	1	2	3	4	5
キ 復興まちづくりの内容などを決める場に男女がともに参画する	1	2	3	4	5

問 17 男女共同参画社会(※)を実現するために、今後、石巻市はどのようなことに特に力を入れていくべきだと思いますか。（特に必要だと思うものを3つまで○）

【※男女共同参画社会とは、男性も女性も一人の人間として、多様な生き方を選択し、性別に関わりなく様々な分野の活動に参画する社会のこと】

1. 企業や団体等において、政策や意思決定の場への女性の登用を促進する
2. 労働時間の短縮や保育・介護サービスなど、男女ともに働きやすい環境を整える
3. 子育てや介護などで一度仕事を辞めた人への再就職を支援する
4. ひとり親家庭の就業や生活自立に向けた支援を充実する
5. 男性の家事・育児・介護への参加を促進する
6. DV・セクハラなど性暴力防止のための取り組みを被害者支援を行う
7. 男女の身体的な違いに配慮し、生涯を通じた健康支援を行う
8. 男女共同参画の視点からの震災復興・防災対策を推進する
9. 特にない
10. わからない
11. その他（\_\_\_\_\_）



### 3 子育て支援について

「子育て支援事業」についてお聞きします。

問 18 現在、子育てに関わる機会や、地域等で子どもに関わる機会がありますか。

1. はい      2. いいえ

問 19 次の子育て支援事業を知っていますか。当てはまるものを全て選んでください。

1. 子育て支援センター（地域子育て支援拠点事業）
2. ファミリーサポート事業
3. 子どもセンター（らいつ）
4. 子育てタウン（子育てに関する行政サービス情報ガイド）
5. 高等職業訓練促進給付金事業
6. 自立支援教育訓練給付金事業
7. 父子手帳配布事業
8. その他（\_\_\_\_\_）

※問 19 で「2、ファミリーサポート事業」、「4、子育てタウン」について知っている  
と回答した方に、それぞれ（問 20 から問 25 まで）お聞きします。

【※それ以外の方は、このまま問 26 へお進みください】

●ファミリーサポート事業についてお聞きします。

問 20 ファミリーサポート事業をどこで知りましたか。当てはまるものを全て選んで  
ください。

1. 市の広報やホームページを見て
2. ファミリーサポートセンター発行の通信、パンフレットを見て
3. 友人、知人からの紹介
4. その他（\_\_\_\_\_）

問 21 ファミリーサポート事業は協力会員（預かる人）と利用会員（預けたい人）の  
相互援助の事業ですが、どちらかの会員として事業を利用したことがありますか。

- |      |       |        |
|------|-------|--------|
| 協力会員 | 1. はい | 2. いいえ |
| 利用会員 | 1. はい | 2. いいえ |

問 22 ファミリーサポート事業の協力会員・利用会員になりたいと思いますか。

- |      |       |        |
|------|-------|--------|
| 協力会員 | 1. はい | 2. いいえ |
| 利用会員 | 1. はい | 2. いいえ |

問 23 ファミリーサポート事業をどのような時に利用できるとよいと思いますか。  
当てはまるものを全て選んでください。

1. 保育施設の保育開始前や保育終了後の子どもの預かり
2. 保育施設等までの送迎
3. 放課後児童クラブ終了後の子どもの預かり
4. 学校の放課後の子どもの預かり
5. 買い物等外出の際の子どもの預かり
6. 保護者の病気、急用等の場合
7. 学校、幼稚園、保育所の休みのときの預かり
8. その他 ( \_\_\_\_\_ )

●子育てタウン（子育てに関する行政サービス情報ガイド）についてお聞きします。

問 24 子育てタウンの情報を利用したことはありますか。

1. はい
2. いいえ

問 25 問 24 で「2、いいえ」と回答した方にお聞きします。  
それはなぜですか。当てはまるものを全て選んでください。

1. ほしい情報がなかった
2. 情報が探しにくい
3. より詳しい情報がほしい
4. その他 ( \_\_\_\_\_ )

●子育て支援についてお聞きします。

問 26 子育てに関する情報は何かから入手しますか。当てはまるものを全て選んでください。

1. 市報
2. 市のホームページ
3. 子育てに関する本
4. インターネット
5. 家族や友達に聞く
6. その他 ( \_\_\_\_\_ )

問 27 子育てに関する悩みや困ったことの相談は誰に（どこに）していますか。  
当てはまるものを全て選んでください。

1. 悩んでも相談する人がいない
2. 家族に相談する
3. 友達や知り合いに相談する
4. 市の相談窓口相談する
5. SNSを利用して相談する
6. 医療機関に相談する
7. その他（\_\_\_\_\_）

問 28 男性が子育てに参加しやすくするためには、どのような取り組みをしたらよい  
と思いますか。当てはまるものを全て選んでください。

1. 育児について学ぶ男性向けセミナー等の開催
2. 利用しやすい相談窓口の充実
3. 子育てする父親同士で話ができる仲間作り
4. 参加しやすいイベント等の開催
5. その他（\_\_\_\_\_）

## 4 地域包括ケアについて

### I 地域医療（かかりつけ医）についてお聞きします

※かかりつけ医は、一般に健康のことを何でも相談でき、必要なときは専門の医療機関に紹介してくれる、身近で頼りになる医師のことです。

問 29 あなたにはかかりつけ医がいますか。1つ選んでください。

1. いる      2. いないがいると良いと思う      3. いない      4. わからない

問 30 問29 で「1. いる」と回答した方にお聞きします。

あなたはどのようにしてかかりつけ医を決めましたか。1つ選んでください。

1. 自宅や職場の近所      2. 知人の紹介      3. 最初に診てもらった  
4. 子どもの頃から診てもらっている      5. 家族が診てもらっていた  
6. 相談しやすい・話しやすい雰囲気      7. 説明や診察が丁寧  
8. スタッフの対応が良い      9. 待ち時間が少ない  
10. 専門医に紹介してくれる      11. 往診をしてくれる  
12. その他（具体的に：\_\_\_\_\_）

問 31 同じく、問29 で「1. いる」と回答した方にお聞きします。

あなたはかかりつけ医にどのような医療や体制を望んでいますか。当てはまるものを全て選んでください。

1. どんな病気でもまずは診療できる  
2. 必要なときは、すぐに専門の医療機関に紹介する  
3. 患者情報を紹介先に適時適切に提供する      4. 夜間休日の電話相談を行う  
5. 夜間休日の診療を行う      6. 定期健診や検診  
7. 生活習慣病など予防のための助言  
8. うつ病などを含むこころの病気のカウンセリング  
9. 不在時には別の医師が診療してくれる24時間体制  
10. 往診や訪問診療などの在宅医療      11. 最期の看取りをする  
12. その他（具体的に：\_\_\_\_\_）

問 32 問29 で「2. いないがいると良いと思う」「3. いない」と回答した方にお聞きします。

あなたにかかりつけ医がいないのはどうしてですか。当てはまるものを全て選んでください。

1. あまり医療機関に行かない  
2. かかりつけ医を選ぶための情報が不足している  
3. かかりつけ医をどう探して良いのかわからない  
4. その都度、受診する医療機関を選びたい  
5. いつも行く医療機関はあるが、受診する医師は決まっていない  
6. わからない      7. その他（具体的に：\_\_\_\_\_）

問 33 同じく、問29 で「2. いないがいると良いと思う」「3. いない」と回答した方にお聞きします。

ご自身のかかりつけ医を探す場合、どのような情報が役立つと思いますか。  
当てはまるものを全て選んでください。

- |                          |                    |
|--------------------------|--------------------|
| 1. 医師や看護師などのスタッフの人数      | 2. 医師の得意分野、経歴、顔写真  |
| 3. 対応できる治療や検査、患者数        | 4. 医師の診療方針や医療への考え方 |
| 5. 連携している医療機関や介護施設       |                    |
| 6. 往診や訪問診療などの在宅医療が可能かどうか |                    |
| 7. その他（具体的に：_____）       |                    |

## Ⅱ 終末期（人生の最期の迎え方）についてお聞きします

問 34 あなたは人生の最期の過ごし方について考えたことがありますか。1つ選んでください。

- |                              |
|------------------------------|
| 1. 決めており、家族など身近な人にも伝えている     |
| 2. 身近な人には伝えていないが、自分の意思は決めている |
| 3. 考えたことはあるが、まだ決めていない        |
| 4. 考えたことはない                  |

問 35 万一、あなたが治る見込みがない病気になった場合、あなたは最期をどこで迎えたいですか。1つ選んでください。

- |                     |               |              |
|---------------------|---------------|--------------|
| 1. 自宅               | 2. 兄弟姉妹など親族の家 | 3. 病院などの医療施設 |
| 4. 特別養護老人ホームなどの介護施設 | 5. わからない      |              |
| 6. その他（具体的に：_____）  |               |              |

問 36 万一、あなたのご家族が治る見込みがない病気になった場合、あなたは最期をどこで迎えさせてあげたいですか。1つ選んでください。

- |                     |               |              |
|---------------------|---------------|--------------|
| 1. 自宅               | 2. 兄弟姉妹など親族の家 | 3. 病院などの医療施設 |
| 4. 特別養護老人ホームなどの介護施設 | 5. わからない      |              |
| 6. その他（具体的に：_____）  |               |              |

問 37 問35 で「1. 自宅」と回答した方にお聞きします。

自宅で最期まで療養するために必要だと思うことを3つ選んでください。

- |                          |                       |
|--------------------------|-----------------------|
| 1. 介護してくれる家族             | 2. 往診・訪問診療をしてくれる医師    |
| 3. 訪問看護（看護師の訪問）体制        | 4. 訪問介護（ホームヘルパーの訪問）体制 |
| 5. 症状が急に悪くなった時に入院できる医療機関 |                       |
| 6. 24時間相談にのってくれる専門家・機関   |                       |
| 7. 経済的な支援                | 8. 居住環境の改修            |
| 9. その他（具体的に：_____）       |                       |

### Ⅲ 認知症についてお聞きします

認知症とは、老いに伴う病気の一つです。さまざまな原因で脳の細胞が死んでしまったり、働きが悪くなることによって、記憶・判断力の障害などが起こり、社会生活や対人関係に支障が出ている状態をいいます。

現在、65歳以上の高齢者のうち、約4人に1人が認知症の人又はその予備群と言われています。

問 38 あなたは今まで認知症の人や認知症と思われる人と会話や声掛けなど関わりを持ったことがありますか。1つ選んでください。

- |       |       |          |
|-------|-------|----------|
| 1. ある | 2. ない | 3. わからない |
|-------|-------|----------|

問 39 問38 で「1. ある」と回答した方にお聞きします。

あなたが認知症と思われる人と接した場面について、当てはまるものを全て選んでください。

- |                       |
|-----------------------|
| 1. 家族の中に認知症の人がいる（いた）  |
| 2. 親戚の中に認知症の人がいる（いた）  |
| 3. 近所に認知症の人がいる（いた）    |
| 4. 医療・介護の現場で働いている（いた） |
| 5. 医療・介護の現場以外の仕事を通じて  |
| 6. 偶然関わった             |
| 7. その他（具体的に：_____）    |

問 40 あなたご自身やあなたのご家族、知人等が認知症の疑いがあると感じた場合、あなたは最初に誰に相談しますか。1つ選んでください。

1. 病院や診療所など医療機関
2. 地域包括支援センター
3. 市役所
4. 民生委員
5. 行政委員
6. 社会福祉協議会
7. 介護事業所
8. 親戚・家族
9. ご近所の人
10. 警察・消防署
11. わからない
12. その他（具体的に：\_\_\_\_\_）

問 41 認知症になった時の備えとして、あなたはどんな取り組みをしたいですか。当てはまるものを全て選んでください。

1. 友達をたくさん作る
2. 運動や食生活に気をつけ、健康づくりをする
3. 趣味をもつ
4. 地域行事に積極的に参加する
5. 認知症の知識を得る
6. 親戚付き合いを積極的にする
7. お金を貯める
8. 何も準備はしない
9. その他（具体的に：\_\_\_\_\_）

問 42 今後増加が予想される認知症の人を地域で支える取り組みとして、必要だと思うものを全て選んでください。

1. 認知症の正しい知識と理解を促進するための普及啓発
2. 相談窓口の充実
3. 早期の医療・介護サポートを利用できる仕組みづくり
4. 介護者支援の充実
5. 当事者支援の充実
6. 経済的支援の取組
7. 財産管理などへの支援の充実
8. 介護施設の充実
9. その他（具体的に：\_\_\_\_\_）

## 5 観光に関する意識について

問 43 観光客が石巻に多く訪れるようになることで、あなたの生活に変化があるとしたら、どのようなことが思い浮かびますか。当てはまるものを全て選んでください。

1. 経済が活性化し、景気が良くなる
2. まちのにぎわいが増す
3. 石巻の良いイメージが他の地域の人により伝わるようになる
4. 市外・県外・海外からの来訪客と交流の機会が増える
5. 交通が渋滞する
6. 治安が悪化する
7. まちの美しさが損なわれる
8. その他 ( \_\_\_\_\_ )

問 44 あなた自身が観光客をおもてなしできる素材はありますか (知っていますか)。当てはまるものを全て選んでください。

1. 石巻の歴史施設や観光名所を案内する
2. 自分の仕事を (農林水産業体験・製造工場) を見せる (体験させる)
3. まちのイベントについて開催時期に招待する
4. 震災の語り部を行う
5. 郷土芸能 (神楽・太鼓・獅子舞) を見せる (体験させる)
6. アウトドア体験等を体験させる
7. その他 ( \_\_\_\_\_ )

問 45 あなたは、市外からあなたの友人や知人が訪ねてきたら、石巻の何をおすすめしますか。当てはまるものを全て選んで、具体的に記載してください。

1. 食 ( \_\_\_\_\_ )
2. 観光スポット ( \_\_\_\_\_ )
3. 祭り・イベント ( \_\_\_\_\_ )
4. 自然・景観 ( \_\_\_\_\_ )
5. 震災・防災・学び ( \_\_\_\_\_ )
6. お土産・商品 ( \_\_\_\_\_ )
7. 体験等 ( \_\_\_\_\_ )
8. その他 ( \_\_\_\_\_ )



問 46 あなたは、今より多くの外国人観光客に石巻にきてほしいと思いますか。当てはまるものを1つ選んでください。

1. もっと来てほしい
2. いまのままでよい
3. 来てほしくない
4. どちらともいえない

問 47 問 46 で選択した回答の理由をお聞かせください

問 48 あなたは、石巻市を訪れた外国人観光客を、あなた自身でおもてなししたいと思いますか。

1. はい
2. いいえ

問 49 問 48 で「1、はい」を選択した方にお聞きします。そのおもてなしの方法について当てはまるものを全て選んでください。

1. 自宅に宿泊（民泊も可）をさせておもてなししたい
2. 宿泊してもらうことは難しいが、食事を提供することでおもてなししたい
3. 石巻の観光案内をしておもてなししたい
4. 外国人観光客と石巻のこどもとの交流を図るようなおもてなししたい
5. 石巻を訪れてもらった後も、交流を継続しておもてなししたい
6. その他（\_\_\_\_\_）

問 50 外国人観光客に対して、石巻のどのようなところが魅力・強みになると思いますか。又はどんなものを観光資源として発信していく必要があると思いますか。当てはまるものを全て選んで、具体的に記載してください。

1. 食（\_\_\_\_\_）
2. 伝統文化（\_\_\_\_\_）
3. 祭り・イベント（\_\_\_\_\_）
4. 体験・学習（\_\_\_\_\_）
5. 地域との交流（\_\_\_\_\_）
6. 震災・防災・学び（\_\_\_\_\_）
7. その他（\_\_\_\_\_）

## 6 広報事業について

I 「市報いしのまき」についてお聞きします。

問 51 「市報いしのまき」を読んでいますか。1つ選んでください。

- |             |             |            |
|-------------|-------------|------------|
| 1. 必ず読んでいる  | 2. たまに読んでいる | 3. あまり読まない |
| 4. ほとんど読まない | 5. 読んだことがない |            |

問 52 問 51 で「1. 必ず読んでいる」「2. たまに読んでいる」と回答した方にお聞きします。

「市報いしのまき」は読みやすいですか。1つ選んでください。

- |                    |
|--------------------|
| 1. 読みやすい           |
| 2. どちらとも言えない       |
| 3. 読みにくい（理由：_____） |

問 53 問 51 で「3. あまり読まない」「4. ほとんど読まない」「5. 読んだことがない」と回答した方にお聞きします。

その理由はなんですか。当てはまるものを全て選んでください。

- |                    |            |             |
|--------------------|------------|-------------|
| 1. 興味がない           | 2. 読む暇がない  | 3. 内容がつまらない |
| 4. 役に立たない          | 5. 市報が届かない |             |
| 6. その他（具体的に：_____） |            |             |

**ご協力ありがとうございました。**

平成28年度 石巻市市民意識調査  
集計結果報告書

発行 石巻市総務部秘書広報課

〒986-8501 石巻市穀町1-4番1号  
☎0225-95-1111 (代表)

